

令和7年度版（令和6年度 事業実績）

元気はつらつ白書



岩手県 紫波町

元気はつらつ白書の構成

I 保健事業の体系【事業体系】
紫波町総合計画との関係 分野別保健事業の一覧
II 保健事業の報告－１【事業報告】
各種事業の目的・事業内容・結果
III 保健事業の報告－２【事業統計】
健康診査、がん検診の集計表 主な事業の実績のまとめ 等
IV 保健活動の参考資料【事業資料】
人口動態、関係組織の資料 等



各種保健事業の分析・評価



次年度以降の行動計画に反映



目次

I	保健事業の体系【事業体系】	
1	保健事業の体系	6
2	保健事業一覧	7
II	保健事業の報告－1【事業報告】	
1	母子保健事業	
	（1）妊産婦保健	
	①母子健康手帳交付	10
	②妊産婦歯科健康診査	12
	③パパママ教室	14
	④授乳相談会	16
	（2）幼児健康診査	
	①1歳6か月児健康診査	18
	②3歳児健康診査	20
	③幼児歯科健康診査	22
	（3）子育て支援	
	①BabyCome☆4～5か月広場	24
	②マタニティ・ママのほっと広場（乳幼児相談）	26
	③ぴよこちゃん教室（幼児教室）	28
	④離乳食教室	30
2	成人保健事業	
	（1）健康教育	32
	（2）健康相談	34
	（3）成人歯科健康診査	36
	（4）がん検診	
	①胃がん検診	38
	②肺がん検診	40
	③大腸がん検診	42
	④前立腺がん検診	44
	⑤子宮頸がん検診	46
	⑥乳がん検診	48
	（5）特定健康診査・特定保健指導	
	①特定健康診査	50
	②特定保健指導	52
	（6）生活習慣病重症化予防事業	54
	（7）医療用補正具購入費補助事業	56
3	栄養改善事業	
	栄養教室	58
4	元気づくり事業	
	（1）ウォーキング	60
	（2）元気はつらつメンバーズ	62
	（3）はじめてのエアロビクス	64
	（4）シニアのためのスローライフ・ヨガ	65
5	予防接種事業	
	（1）定期予防接種	
	①定期予防接種（A類疾病）	66
	②定期予防接種（B類疾病）	70
	（2）任意予防接種	72
6	町民医療事業	
	献血推進事業	74

目次

7	後期高齢者保健事業	
(1)	後期高齢者健康診査事業	76
(2)	後期高齢者歯科健康診査事業	77
(3)	高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施	78
III	保健事業の報告－2【事業統計】	
1	母子保健事業	
(1)	妊娠届	82
(2)	妊産婦一般健康診査	83
(3)	妊婦歯科健康診査	84
(4)	1歳6か月児健康診査	86
(5)	3歳児健康診査、(6) 幼児歯科健康診査	88
(7)	ぴよこちゃん教室（幼児教室）	89
2	成人検診事業	
(1)	各種検診地区別受診状況	92
(2)	特定健康診査	94
(3)	若年者健康診査、(4) 基本健康診査	95
(5)	成人歯科健康診査	96
(6)	胃がん検診	97
(7)	肺がん検診	98
(8)	大腸がん検診、(9) 前立腺がん検診	99
(10)	子宮頸がん検診、(11) 乳がん検診	100
(12)	結核検診	101
(13)	骨粗鬆症検診、(14) 肝炎ウイルス検査	102
3	栄養改善事業	
(1)	食生活改善事業	104
(2)	地区組織活動支援事業	106
5	予防接種事業	
(1)	定期予防接種	108
(2)	任意予防接種	109
7	後期高齢者保健事業	
(1)	後期高齢者健康診査、(2) 後期高齢者歯科健康診査	110
※	番号は、「II 保健事業の報告-1【事業報告】」の番号に対応	
IV	保健活動の参考資料【事業資料】	
1	人口動態	
(1)	人口	114
(2)	出生	116
(3)	死亡	118

I 保健事業の体系【事業体系】

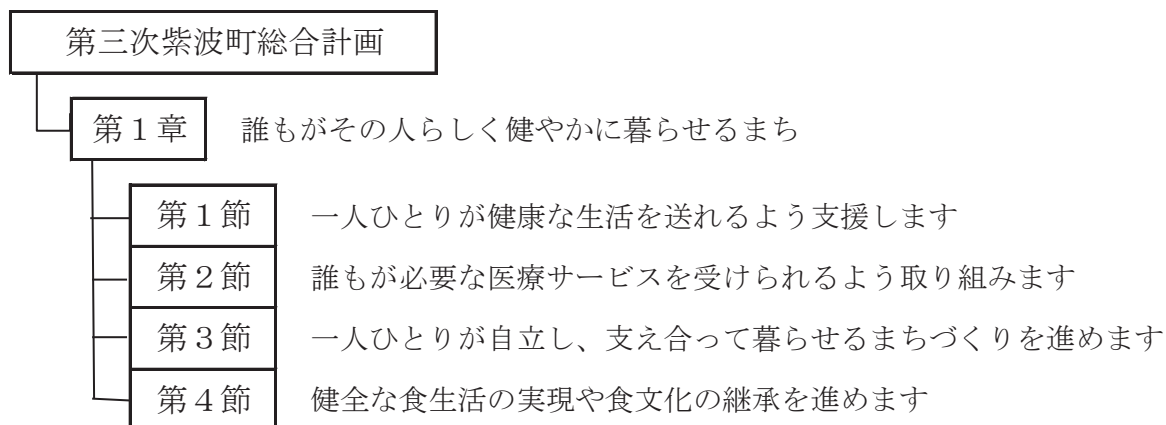
I 保健事業の体系

1 紫波町総合計画との関係

保健事業は、第三次紫波町総合計画の第1章の取り組みに位置づけられており、第三次紫波町総合計画の目的達成のため、様々な行動計画を策定し、事業を展開しています。

【主要な行動計画】

- 「第三次元気はつらつ紫波計画」
- 「第七次紫波町母子保健計画」
- 「第3期紫波町国民健康保険データヘルス計画」
- 「第9期元気はつらつ高齢者計画」



【第三次紫波町総合計画と各事業の関係】

第三次紫波町総合計画 第1章

	第1節		第2節	第3節	第4節	
乳幼児期	母子保健事業		予防接種事業	町民医療事業		
学齢期						
青年・壮年期	(妊産婦保健) (思春期保健)	元気づくり事業				
老年期	成人保健事業					

(1) 母子保健事業 ① 妊産婦保健事業 ・母子健康手帳交付 ・妊産婦一般健康診査(医療機関委託) ・妊婦歯科健康診査(医療機関委託) ・パパママ教室 ・妊産婦、新生児(乳児)訪問指導 ・授乳相談会 ② 乳幼児健康診査事業 ・乳児一般健康診査(医療機関委託) ・幼児歯科健康診査(医療機関委託) ・1歳6カ月児健康診査 ・3歳児健康診査 ③ 子育て支援事業 ・BabyCome☆4～5カ月広場 ・子育てほっと相談(乳幼児相談) ・ぴよこちゃん教室(幼児教室) ・心理相談 ・離乳食教室 ・2歳6カ月児教室	(2) 成人保健事業 ① 健康手帳交付 ② 健康教育 ③ 健康相談 ④ 健康診査 ・若年者健康診査(35～39歳) ・基本健康診査(生活保護受給者) ・肝炎ウイルス検査 ・成人歯科健康診査(医療機関委託) ・骨粗鬆症検診 ⑤ がん検診 ・胃、肺、大腸、乳、子宮頸がん ・前立腺がん ⑥ 結核検診 ⑦ 特定健康診査、特定保健指導 ⑧ 生活習慣病重症化予防事業 ⑨ 医療用補正具購入費補助事業
(3) 栄養改善事業 ① 食生活改善事業 ・栄養教室 ・地区普及講習会 ・食べ方相談会 ・食育支援教室 ② 地区組織活動支援事業 ・食生活改善推進員の活動支援 ・食生活改善推進員の研修	(4) 健康づくり事業 ① ウォーキング事業 ② 元気はつらつメンバーズ講座 ③ はじめてのエアロビクス ④ シニアのためのスローライフヨガ
(5) 予防接種事業 ① 定期予防接種事業 ・乳幼児等を対象とする予防接種(A類) ・高齢者インフルエンザ予防接種(B類) ・高齢者新型コロナウイルス感染症予防接種(B類) ・高齢者肺炎球菌予防接種(B類) ② 任意予防接種事業 ・小児インフルエンザ予防接種 ・おたふくかぜワクチン予防接種 ・带状疱疹予防接種	(6) 町民医療事業 ① 休日救急当番医制事業 ② 二次救急医療事業 ③ 市町村医師養成事業 ④ 献血推進事業 (7) 高齢者保健事業 ① 後期高齢者健康診査 ② 後期高齢者歯科健康診査 ③ 高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施

II 保健事業の報告－1 【事業報告】

Ⅱ 保健事業の報告－ 1

1 母子保健事業

(1) 妊産婦健康づくり

① 母子健康手帳交付

関連する行動計画	第七次母子保健計画
評価項目	妊娠11週以内の妊娠届出の割合
目標値 (R 6)	前年度より増加 (R 5 : 95.9%)
当該年度実績値	95.8%

安心して出産し、産後健やかに過ごすことができるよう支援します。

事業の内容

目 的	① 母子健康手帳を交付し、健やかな出産を迎えることができるよう支援する ② 個別に相談できる場を設定し、妊娠・出産に関する不安の軽減を図る ③ 岩手県周産期医療情報ネットワークシステム（いーはと一ぶ）を活用し、医療機関と連携することでハイリスク妊婦・特定妊婦の早期把握や支援を図る
対 象 者	妊婦
実施場所	保健指導室
内 容	① 妊娠の届出をした者に母子健康手帳を交付する ② 岩手県周産期ネットワークシステム加入についての同意確認 ③ 妊婦一般健康診査受診票・産婦健康診査受診票・新生児聴覚検査受診票の交付 ④ 妊娠中の健康管理に関する保健指導と相談 ⑤ 産前産後の母子支援事業の説明 ⑥ パパママ教室の案内 ⑦ 新生児産婦訪問の案内 ⑧ 出産・子育て応援給付金の案内と出産応援給付金の申込・受付

事業の結果

- 1 妊娠届出を満11週以内に出した者は95.8%でした。
- 2 19歳以下の若年妊婦への母子健康手帳交付は1件でした。

事業の分析

過去5年間の事業結果から、次のように分析します。

- 1 年齢別に届出者数を見ると、30～34歳の届出が最も多く、次いで25～29歳、35～39歳となっています。
- 2 妊娠週数別にみると、満11週以内の届出が90%以上でした。満28週以降の届出は2%以下ですが年に1～2人おり、安心・安全に出産するためにも今後も継続して早めの届出を推奨していきます。

年齢別妊娠届出者数の推移

単位：人、%

	R 2	割合	R 3	割合	R 4	割合	R 5	割合	R 6	割合
19歳以下	0	0	2	1.0	3	1.7	1	0.7	1	0.7
20～24歳	20	11.6	12	6	15	8.4	16	11.0	8	5.6
25～29歳	49	28.2	68	34	55	31.1	36	24.7	43	30.0
30～34歳	64	36.7	71	35.5	58	32.8	46	31.5	53	37.1
35～39歳	31	17.8	40	20	38	21.5	41	28.0	31	21.7
40歳以上	10	5.7	7	3.5	8	4.5	6	4.1	7	4.9

※各年度4月1日～3月31日の状況

妊娠週（月）数別妊娠届出者数の推移

単位：人、%

		R 2		R 3		R 4		R 5		R 6	
			割合		割合		割合		割合		割合
総数		174	100. 0	200	100. 0	177	100. 0	146	100. 0	143	100. 0
妊 娠 週 数	満11週以内	161	92. 5	185	92. 5	168	94. 9	143	97. 9	137	95. 8
	満12～19週	12	6. 9	12	6. 0	8	4. 6	1	0. 7	6	4. 2
	満20～27週	1	0. 6	1	0. 5	0	0. 0	0	0. 0	0	0. 0
	満28週～分娩まで	0	0. 0	2	1. 0	1	0. 5	2	1. 4	0	0. 0
	分娩後	0	0. 0	0	0. 0	0	0. 0	0	0. 0	0	0. 0

※各年度4月1日～3月31日の状況

事業の方向性

- 1 母子健康手帳の交付は妊婦が行政の行う母子保健サービスにつながる重要な機会です。母子保健サービスが適切に住民に行き届くよう、今後も早期の届け出を勧奨していきます。
- 2 妊娠届出時の面談において、支援が必要な妊婦やその家族を把握し、継続して支援をしていきます。

Ⅱ 保健事業の報告－１

１ 母子保健事業

(１) 妊産婦保健

② 妊婦歯科健康診査

関連する行動計画	第七次母子保健計画
評価項目	妊婦歯科健康診査受診率
目標値（R6）	48%
当該年度実績値	56.6%

妊娠中は心身の様々な変化やつわりの影響などから生活リズムが崩れやすく、歯周疾患が起こりやすい時期であるため、妊婦歯科健康診査を実施し、歯周疾患の予防につなげています。

事業の内容

目 的	① 歯周疾患の予防 ② 妊娠期から子どもの口腔衛生への意識を高め、乳幼児のう歯発生を予防する
対 象 者	妊婦
実施場所	町内歯科医院
内 容	① 歯科（歯周疾患）健康診査 ② う歯、歯周疾患予防に関する歯科保健指導

事業の結果

- 1 受診人数は81人で、令和6年度に母子健康手帳を交付した者のうち、56.6%が受診しました。
- 2 受診者の63%が早期受診勧奨者で、う歯や歯周疾患の発見が目立っています。

妊産婦歯科健康診査受診状況

単位：人、%

年度	受診人数	早期受診勧奨者の割合
R2	86	68.6
R3	92	66.0
R4	97	61.9
R5	87	64.4
R6	81	63.0



事業の分析

過去5年間の事業結果から、次のように分析します。

- 1 受診者のうち6割以上の人、う歯や歯周疾患のために早期受診が必要な状況です。
- 2 受診者の約半数の人に未処置歯があります。また、歯肉出血や歯周ポケットの所見が各年代で半数以上にみられています。
- 3 妊娠中のみでなく、生涯を通じた歯周疾患予防の知識を普及していく必要があります。

令和2～6年度妊産婦歯科健康診査の受診人数と所見の内訳

年齢区分	受診者数	未処置歯あり		歯肉出血所見あり		歯周ポケット所見あり	
		(人)	割合	(人)	割合	(人)	割合
20歳以下	5	2	40.0%	2	40.0%	3	60.0%
21～25歳	50	27	54.0%	31	62.0%	29	58.0%
26～30歳	149	86	57.7%	106	71.1%	81	54.4%
31～35歳	150	68	45.3%	112	74.7%	93	62.0%
36～40歳	77	37	48.1%	52	67.5%	46	59.7%
41歳以上	12	8	66.7%	7	58.3%	9	75.0%
計	443	228	51.5%	310	70.0%	261	58.9%

事業の方向性

- 1 妊娠をきっかけとして歯科健康診査や口腔衛生の大切さを再認識できるように周知します。
- 2 乳歯形成は胎児期から始まるため、妊婦の口腔衛生への意識を高めることは、乳幼児のう歯発生の予防につながります。今後も、母子健康手帳交付時に受診勧奨していきます。

Ⅱ 保健事業の報告－ 1

1 母子保健事業

(1) 妊産婦保健

③ パパママ教室

関連する行動計画	第七次母子保健計画
評価項目	親になる心の準備ができたと感じる人の割合
目標値 (R6)	妊婦100%、夫97%
当該年度実績値	妊婦100%、夫100%

妊娠や分娩、育児についての正しい知識を普及し、妊婦同士の交流の場を設ける事業であり、新たな命を育むうえでとても重要な教室です。

事業の内容

目 的	① 妊娠・分娩・育児の正しい知識の普及を図る ② 妊娠や出産に対する不安の軽減を図る ③ 親となる心構えができるように支援する
対 象 者	妊婦及びその夫
実施場所	はつらつホール
内 容	赤ちゃんを迎える生活の心構え・沐浴について 妊婦疑似体験・赤ちゃんの抱き方 講師：下川 玉枝氏（助産師） 妊娠中の食事 講師：町栄養士

事業の結果

- 1 年間5回の開催予定でしたが、そのうち1回は参加者がいなかったため、4回の開催で30名が参加しました。夫婦揃っての参加が定着しており、夫の同伴率は87.5%です。
- 2 夫の「妊婦疑似体験」は、妊婦の大変さを理解する良い機会となっており好評です。また「赤ちゃんの抱っこ体験」は、実際に乳児を抱いた経験のない参加者の不安の解消に役立っています。
- 3 沐浴指導は実演のみで実施していましたが、参加者は後で確認できるよう、動画を取りながら熱心に話を聞いていました。

事業の分析

過去10年間の事業結果から、次のように分析します。

- 1 教室は、親になる意識を高め、「夫婦で一緒に子育て」することの大切さを周知する場として機能しています。
- 2 夫の同伴率は令和元年度以降、8割を超えています。

パパママ教室の変遷と参加状況

単位：人、%

年度	年間開催回数	コース数	教室 総参加数	1回あたり 平均参加数	参加数内訳(延)				妊娠 届出数
					妊婦	受講率	夫	同伴率	
						(分母は妊娠届出数)		(分母は参加妊婦数)	
H27	10	2	75	7.5	45	22.1	30	66.7	204
H28			87	8.7	49	26.2	37	75.5	187
H29			77	7.7	44	23.4	33	75.0	188
H30			73	7.3	43	12.1	30	70.0	206
R元	8	1	60	7.5	32	14.5	28	88.0	172
R 2	7		55	7.8	29	12.0	26	89.7	175
R 3	5		31	6.2	17	8.5	14	82.4	190
R 4	4		42	10.5	22	11.5	20	90.9	192
R 5	6	1	46	7.7	24	15.0	22	91.7	160
R 6	4		30	7.5	16	11.0	14	87.5	145

※20年度からは日曜日の開催を年1回、21～23年度までは2回へ増やした。

24～30年度は、全日程を土曜日開催。令和元年度からは2コースのうち1コースのみ土曜日開催。令和3年度からは内容をまとめ1コースとして平日に実施。

※妊娠届出数は1月～12月の届出数である。

事業の方向性

- 1 妊婦とその家族が、主体的に育児ができるよう支援していきます。
- 2 参加者の満足度を今後も高めていけるよう努めます。
- 3 教室のニーズの把握に努め、適切な回数や内容を行っていきます。

Ⅱ 保健事業の報告－1

1 母子保健事業

(1) 妊産婦健康づくり

④ 授乳相談会

関連する行動計画	第七次母子保健計画
評価項目	特になし

出産後の乳房トラブルや授乳に関する不安解消の相談会です。
助産師から個別に直接授乳指導を受けることができます。

事業の内容

目 的	① 産後の乳房トラブルや授乳に関する不安を軽減する。 ② 助産師に相談し、一緒に実践することで対応方法を学ぶことができる。
対 象 者	生後4ヵ月くらいまでの乳児を育て、授乳に悩んでいる産婦。
実施場所	はつらつホール
内 容	授乳に関する個別指導（1ケース45分間の個別指導で、完全予約制）

事業の結果

- 1 年間11回実施し、20名が利用しています。
- 2 産院では、退院するまでの限られた中で授乳指導となります。そのため、在宅で授乳トラブルに至る場合があります。助産師からの専門的なアドバイスや手技を学ぶことで、母親の不安軽減につながると考えられます。

実施状況

年度	実施回数	参加数(延)
R 2	10回	18名
R 3	14回	22名
R 4	15回	36名
R 5	10回	33名
R 6	11回	23名

※R6は12回中11回の実施となった。（1回は申込者がいなかったため中止）

Ⅱ 保健事業の報告- 1

1 母子保健事業

(2) 幼児健康診査

① 1歳6か月児健康診査

関連する行動計画	第七次紫波町母子保健計画
評価項目	1歳6か月児健康診査受診率
目標値（R6）	100.0%
当該年度実績値	96.1%

1歳6か月児健康診査は、歩行等の運動発達や、言語等の精神発達が獲得される時期に行われるとても重要な健康診査です。

事業の内容

目 的	① 運動や精神発達の遅滞を早期に発見し、適切な支援を行うこと ② 生活習慣の自立、むし歯予防、栄養等の指導により、幼児期の健康の保持、増進を図ること ③ 保護者が子どもの成長を確認でき、育児不安の軽減ができるよう支援すること
対 象 者	1歳6か月児とその保護者
実施場所	はつらつホール
内 容	① 計測 ② 問診・育児相談 ③ 診察 ④ 栄養相談（希望者のみ）

事業の結果

- 1 実施回数は6回、受診者は196人、受診率は96.1%（前年度97.9%）です。
- 2 有所見者の内訳は、身体面58名（29.6%）精神面28名（14.3%）です。
7名が要精密検査対象となりました。
- 3 健診満足度は97.7%が「満足」「ほぼ満足」と回答しています。

1歳6か月児健康診査受診状況 単位：人、%

年度	対象者数	受診者数	受診率
R 2	236	233	98.7
R 3	204	195	95.6
R 4	217	209	96.3
R 5	235	230	97.9
R 6	204	196	96.1

事業の分析

過去10年間の事業結果から、次のように分析します。

- 1 受診率は概ね95%以上、有所見者割合は3割前後です。近年、有所見者の割合は増加傾向にあります。
- 2 内訳は「言語の遅れ」の所見が上位を占めています。今後も、言語の遅れや精神・運動発達について丁寧に確認する必要があります。身体面においては、「アレルギー疾患」が多い傾向です。
- 3 アレルギー疾患の所見では、食物アレルギー、気管支喘息の順に多い状況です。

1歳6か月児健康診査 有所見者

単位：％

年度	受診率	有所見者割合	所見者内訳（件数の多い順）		
			1	2	3
H27	99.6	37.9	アレルギー疾患	言語の遅れ	泌尿器
H28	96.4	29.3	アレルギー疾患	言語の遅れ	泌尿器
H29	100	34.3	言語の遅れ	泌尿器	アレルギー疾患
H30	95.4	32.0	言語の遅れ	アレルギー疾患	栄養所見
R元	94	28.9	言語の遅れ	精神発達の遅れ	整形外科
R2	98.7	28.8	言語の遅れ	アレルギー疾患	整形外科
R3	95.6	23.6	言語の遅れ	栄養所見	皮膚疾患
R4	96.3	33.0	アレルギー疾患	言語の遅れ	整形外科
R5	97.9	35.7	アレルギー疾患	言語の遅れ	運動発達の遅れ
R6	96.1	43.9	精神発達の遅れ	その他（身体面）※	栄養所見

※その他（身体面）…低出生体重児の所見が多く、次いで臍ヘルニア等。

事業の方向性

- 1 この時期は、歩行や言語等様々な発達の伸びが期待される時期であり健康診査でそれらの成長発達の状態を確認することが重要です。未受診者については、その把握に努め、受診を促します。
- 2 健康診査を通して、保護者が子どもの発達を確認できるように支援していきます。また、子どもの発達だけでなく、保護者の子育てに関する不安や悩みに対しても支援していきます。

Ⅱ 保健事業の報告- 1

1 母子保健事業

(2) 幼児健康診査

② 3歳児健康診査

関連する行動計画	第七次母子保健計画
評価項目	3歳児健康診査受診率
目標値（R6）	100.0%
当該年度実績値	92.8%

3歳児健康診査は、幼児期において、身体発育及び精神発達の面から最も重要な時期に行われる健康診査です。

事業の内容

目 的	① 発達状況や疾病の有無を診察し、歯科、視覚、聴覚、尿検査等総合的な健康診査により適切な支援を行なうこと ② 個別相談により保護者が子どもの成長と発達を確認し、不安が解消されるように支援すること
対 象 者	3歳6か月児とその保護者
実施場所	はつらつホール
内 容	① 内科診察 ② 尿検査 ③ 視覚、聴覚検査 ④ 各種相談

事業の結果

- 健康診査は6回実施し、受診者は232人、受診率は92.8%でした。
- スポットビジョンスクリーナーによる視覚検査を実施し、16名が要精密検査対象者となりました。
- アンケート調査の結果、健康診査に「満足した人」と「ほぼ満足した人」の割合の合計は96.0%でした。
また、「発達の確認ができた人」の割合は89.0%、「心配に思っていることを相談できた人」の割合は95.0%でした。

3歳児健康診査受診状況 単位：人、%

年度	対象者数	受診者数	受診率
R 2	274	261	95.3
R 3	275	262	95.3
R 4	271	251	92.6
R 5	238	226	95.0
R 6	250	232	92.8



事業の分析

過去3年間の事業結果から、次のように分析します。

- 1 既医療を見ると、毎年アレルギー疾患の所見が多く、気管支喘息、食物アレルギー、アトピー性皮膚炎を治療している幼児が多い状況です。
- 2 要観察を見ると精神面の所見が多く、個別相談での発達検査を実施したり、後日保健師によって言語や情緒面の確認を行っています。

3歳児健康診査内科診察結果有所見内訳（上位3つ）

	年度	所見		
		1位	2位	3位
要精密	R4	泌尿器疾患	言語障害	眼疾患・皮膚疾患・情緒面
	R5	眼疾患	その他（身体）	耳鼻科疾患・情緒面
	R6	眼疾患	精神発達面	
要観察	R4	情緒面	その他（精神面）	その他（身体面）
	R5	その他（精神面）	その他（身体面）	言語障害
	R6	精神発達面	その他（精神面）	情緒・行動面
既医療	R4	アレルギー疾患	その他（身体面）	その他（精神面）
	R5	アレルギー疾患	眼疾患・皮膚疾患	泌尿器疾患・情緒面
	R6	その他（身体面）	アレルギー疾患	呼吸器系疾患・皮膚疾患

※その他（身体面）…川崎病の所見が多く、次いで便秘等

※その他（精神面）…所見の多くは発達全体の遅れ。

事業の方向性

- 1 3歳児健康診査は幼児期最後の集団健康診査であり、疾患の早期発見や心身の発達を確認する大切な健康診査です。確実に受診するよう受診勧奨を行い、受診率の向上と維持に努めます。
- 2 健康診査未受診者に対しては、電話や家庭訪問で状況確認を行い、関係機関と連携しながら個々に応じた親子への支援を継続していきます。

Ⅱ 保健事業の報告- 1

1 母子保健事業

(2) 幼児健康診査

③ 幼児個別歯科健康診査

関連する行動計画	第七次母子保健計画
評価項目	むし歯のない3歳児の割合
目標値（R6）	95.0%
当該年度実績値	91.3%（受診した者のうちむし歯のない者の割合）

健康な体をつくるために、乳幼児期からむし歯予防の正しい知識を持つことが重要です。

事業の内容

目的	① 幼児期からの健康な体をつくるため、むし歯予防に対する認識の強化を図る ② 歯科保健について個別に相談できる場を提供し、正しいブラッシング方法等について学習する ③ 保護者のむし歯・歯周疾患予防の認識の強化を図る
対象者	① 1歳6か月児とその保護者 ② 2歳児とその保護者 ③ 3歳児とその保護者
実施場所	町内歯科医療機関
内 容	① 歯科健康診査 ② ブラッシング指導・フッ素塗布 ③ 各種相談

事業の結果

- 1 各集団健診の実施時期に合わせて、個別歯科健康診査の案内をしています。
- 2 令和6年度の受診率はすべての年齢で80%以上となっています。

幼児個別歯科健康診査受診状況

単位：人、%

年度	1歳6か月児		2歳児		3歳児	
	受診者数	受診率	受診者数	受診率	受診者数	受診率
R2	212	89.8	212	89.8	233	85.0
R3	178	87.3	216	81.5	219	79.6
R4	183	84.3	183	85.5	215	79.3
R5	212	90.2	194	89.4	177	74.4
R6	160	81.6	199	84.7	207	88.1

事業の分析

過去10年間の事業結果から、次のように分析します。

- 1 むし歯有病率は、年齢が高くなるほど上昇しています。1歳6か月から2歳の間で、有病率は大幅に上昇しています。離乳が完了するこの時期にお菓子やジュース類の摂取量が多くなる為だと考えられます。
- 2 年次推移をみると、1歳6か月児のむし歯有病率は横ばいですが、2歳児・3歳児のむし歯有病率は減少傾向です。
定期的な歯科健康診査の実施や規則正しい生活習慣の指導などを継続して行っている成果と考えます。

むし歯有病率の年次推移

単位：人、%

年度	1歳6か月児			2歳児			3歳児		
	受診者数	有病者数	有病率	受診者数	有病者数	有病率	受診者数	有病者数	有病率
H27	232	3	1.3	253	19	7.5	242	61	25.2
H28	215	4	1.9	238	21	8.8	263	45	17.1
H29	213	2	0.9	233	14	6.0	248	39	15.7
H30	228	1	0.4	211	15	7.1	228	31	13.6
R元	204	4	2.0	242	10	4.1	227	36	15.9
R2	212	8	3.8	212	14	6.6	233	24	10.3
R3	178	1	0.6	216	13	6.0	219	23	10.5
R4	183	0	0.0	183	6	3.3	215	21	9.8
R5	212	4	1.9	194	6	3.1	177	17	9.6
R6	160	0	0.0	199	7	3.5	207	18	8.7

事業の方向性

- 1 各集団健診などの機会を捉えて受診勧奨をしていきます。
- 2 幼児期からのむし歯予防は生涯を通じたむし歯・歯周疾患の予防につながります。幼児期から規則正しい生活習慣を整えていくことができるよう知識の普及を図っていきます。

Ⅱ 保健事業の報告－ 1

1 母子保健事業

(3) 子育て支援

① BabyCome☆ 4 ～ 5 か月広場

関連する行動計画	第七次母子保健計画
評価項目	BabyCome☆ 4 ～ 5 か月広場参加率
目標値 (R6)	100%
当該年度実績値	76.3%

4 ～ 5 か月の発達の確認を集団の場で行う事業です。また、同じ誕生月の児と保護者が交流できる貴重な機会です。

事業の内容

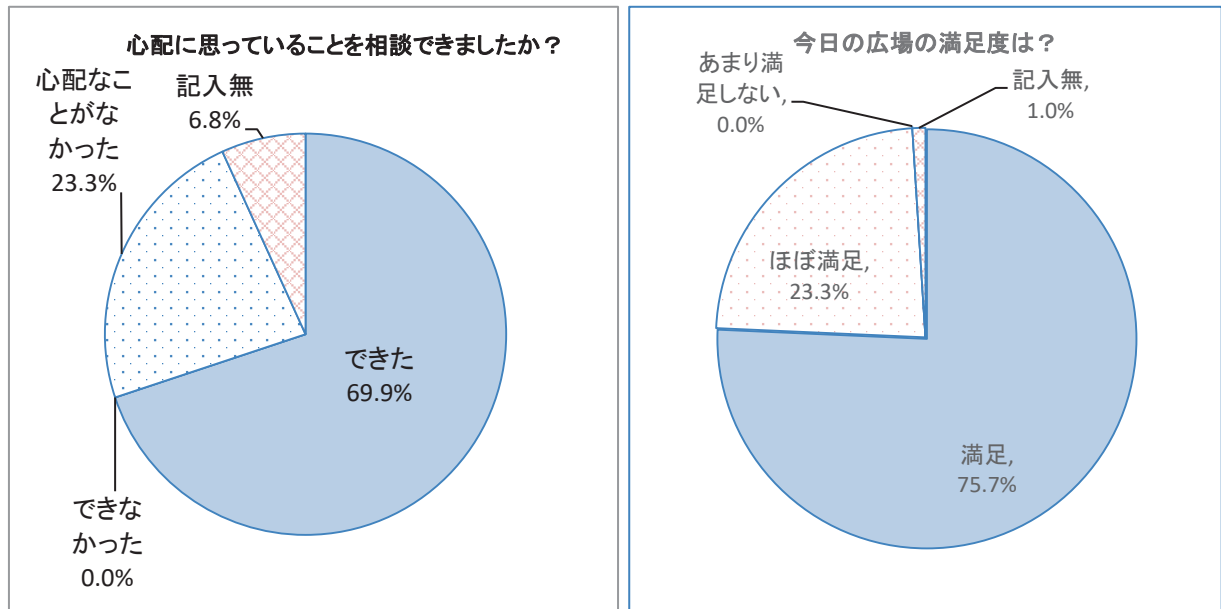
目 的	① 保護者が子どもの成長や発達を確認できる。 ② 健やかな発育を促すための親子の関わり方や育児方法、離乳食の進め方と乳幼児の事故予防について学ぶ機会とする。 ③ 親同士の交流を図ることで、育児不安を軽減できるよう支援する。 ④ 保護者自身がリフレッシュできる場とする。
対 象 者	生後 4 ～ 5 か月の乳児とその保護者
実施場所	はつらつホール
内 容	計測、離乳食の進め方について、絵本の読み聞かせ、子育て応援センターしわっせの紹介・手遊び 乳幼児の事故予防、言葉の発達について（保健師）

事業の結果

- アンケート調査の結果、広場について「満足」「ほぼ満足した」と回答した割合は、99%でした。
- 満足した理由として、「同じ月齢の赤ちゃんやお母さんが見られて心強かった」「子どもの成長を確認することができた」などがあげられました。また、離乳食についても「離乳食の進め方が確認できた」という意見が多くありました。
- 目標値には達しませんでした。令和 6 年度の参加率は 76.3% で前年度 (72.2%) と比較し、増加しました。
未参加の場合は再度案内を出し、今後も参加を促しています。

事業の分析

- 1 アンケートの結果、69.9%の保護者が心配に思っていることを相談できたと回答しています。また、相談できなかったと回答した人は0%であり、今後も相談しやすい環境を整えていきたいと思えます。
- 2 アンケートの結果、離乳食のすすめ方については81.6%が「理解できた」16.5%が「何となく理解できた」と回答しており、離乳食を学ぶ良い機会となっています。
- 3 絵本の読み聞かせについては88.3%が「楽しかった」と回答しています。乳幼児の事故予防は91.3%が「事故や予防法について知ることができた」回答しています。保護者のリフレッシュと安全意識の向上に繋がったと考えます。



事業の方向性

- 1 子どもの成長・発達を確認できるよう支援し、育児不安を軽減できるように支援していきます。
- 2 健やかな発育を促すための親子の関わり方や育児方法、離乳食の進め方、乳幼児の事故予防について学ぶ機会とします。
- 3 保護者自身がリフレッシュできる場となるように努めていきます。

Ⅱ 保健事業の報告- 1

1 母子保健事業

(3) 子育て支援

② 子育てほっと相談(乳幼児相談)

関連する行動計画	第七次母子保健計画
評価項目	特になし

妊娠中の悩みや子育ての不安や悩みを早期に解消し、より良い母子関係を築くことができるよう支援する事業です。

事業の内容

目 的	① 妊娠中の心身の悩みについて、個別相談を行い、不安を解消する場を提供すること ② 個々のニーズに応じて、計測や育児、栄養に関する個別相談を行い保護者が子どもの成長・発達を確認すること ③ 遊びや絵本の触れ合いコーナーで親子が学習できる場を提供すること ④ 親同士が交流できる場を提供すること
対 象 者	乳幼児とその保護者
実施場所	はつらつホール
内 容	身体計測、育児相談(保健・栄養)、栄養コーナー ※完全予約制で実施し、1組の利用時間は最大30分までとする。 ※午後は離乳食教室を同日開催

事業の結果

- 1 延べ参加人数は87人、実参加人数は40人です。延べ参加人数は、昨年度と比較して55人減少しました。開催回数は12回でした。
- 2 相談内容の内訳は、保健相談が84人、栄養相談が20人でした。このほかに、受付段階では相談を希望しない場合でも、実際に面接すると様々な悩みや不安を相談するケースが多くありました。
- 3 妊娠中の相談は0人でした。

事業の分析

過去10年間の事業結果から、次のように分析します。

- 1 1人当たりの平均参加回数は3回前後となっています。継続して参加する親子が多く、参加者同士の交流の場となっています。
- 2 相談内容では、体重増加に関する悩みが多く、ミルクの量や離乳食の進め方などの細やかな指導が必要となります。継続支援が必要な場合は、翌月も参加するよう勧めています。

子育てほっと相談実施状況（乳児・幼児） 単位：人、%、回

年度	参加 延人数	参加者内訳				参加 実人数	一人当たり 参加回数
		乳児		幼児			
		人数	割合	人数	割合		
H27	617	313	50.7	304	49.3	167	3.7
H28	548	302	55.1	246	44.9	137	4.0
H29	356	174	48.9	182	51.1	113	3.2
H30	266	157	59.0	109	41.0	68	3.9
R元	315	178	56.5	137	43.5	101	3.1
R 2	114	69	60.5	45	39.4	46	2.5
R 3	54	44	81.5	10	18.5	27	2.0
R 4	94	80	85.1	14	14.9	44	2.1
R 5	142	111	78.2	31	21.8	35	4.1
R 6	87	78	89.6	9	10.3	40	2.2

※R 2は、妊婦が1名参加しています。

事業の方向性

- 1 子育てについての不安や悩みを相談し、子どもの成長・発達を確認できるよう支援していきます。
- 2 母親が個々に持つ悩み・不安は多様化しており、精神面の支援が必要な方もいます。必要時、家庭訪問や電話連絡などにより支援を継続します。
- 3 同じ月齢の子どもを持つ母親同士が気軽に会話ができ、交流が図れる場にしていきます。

Ⅱ 保健事業の報告－ 1

1 母子保健事業

(3) 子育て支援

③ ぴよこちゃん教室（幼児教室）

関連する行動計画	第七次母子保健計画
評価項目	幼児教室の実施回数
目標値（R6）	12回
当該年度実績値	11回

親子の触れ合いや遊びを通じて、よりよい親子関係を築くことができるよう支援します。

事業の内容

目 的	① 親子の触れ合いや遊びを通して、子どもの心身の発達に応じた親の関わりの必要性を伝え、より良い親子関係が築けるよう支援すること ② 親同士の交流の場を設けること
対 象 者	① 心身の障害や発達の遅れのある幼児と親 ② 親子の関わりに支援が必要な幼児と親
実施場所	子育て応援センター しわっせ
内 容	① 季節行事を中心とした親子の触れ合い、成長発達を促す遊び ② 保護者の育児の悩みへの対応や知識の普及、個別面談を通じた成長発達の振り返り

事業の結果

- 1 開催回数は11回で、延べ参加人数は86人（7組の親子）、幼児の参加は1回あたり3.9人でした。令和5年度からしわっせを会場に実施しています。

幼児教室の参加理由

支援の対象	参加理由	対象数
子ども	言葉の遅れ	-
	発達全体の遅れ	6組
	多動傾向	1組
	運動発達の遅れ	-
母親(再掲)	育児不安・関わりの弱さ	5組

幼児教室卒業後の経

幼稚園入園	3人
児童発達支援利用	1人
次年度の幼児教室継続	2人
専門医療機関の受診	1人

事業の分析

過去10年間の事業結果から、次のように分析します。

- 1 幼児への発達支援に加え、保護者の関わり方や育児の悩みなどに助言・支援が必要な場合も増えています。
- 2 しわっせを会場に開催することで、教室開催日以外に広場を利用し、経験を積み重ねる機会につながっています。
- 3 対象の幼児に合わせた集団生活について、保護者と共有し、適切な社会資源の利用につなげています。

幼児教室および発達相談開催状況

単位：人

年度	幼児教室			発達相談
	開催回数	参加延人数	スタッフ数	参加延人数
H27	20	241	101	87
H28	19	276	110	96
H29	20	258	107	103
H30	18	452	88	100
R元	19	374	111	105
R 2				96
R 3	4	22	20	77
R 4	8	40	31	83
R 5	11	92	43	88
R 6	11	86	45	72

※台風のため1回中止

※コロナ対応のため中止

※コロナ対応のため年度途中から中止

※7月から再開

事業の方向性

- 1 発達支援が必要な対象者を把握し、必要な支援に早期からつなげていくことができるよう、機会を捉えて働きかけていきます。
- 2 子どもの発達と親子の関わり・触れ合いを重視した内容としていきます。母親に対して、子どもへの声かけや関わり方について具体的に伝え、支援していきます。

Ⅱ 保健事業の報告-1

1 母子保健事業

(3) 子育て支援

④ 離乳食教室

関連する行動計画	第七次紫波町母子保健計画
評価項目	なし

離乳食についての不安や悩みを解消できるよう支援する事業です。

事業の内容

目 的	① 月齢に応じた離乳食の進め方と目安量を確認する ② 薄味の大切さの理解を促す ③ 離乳食全般に関わる不安や悩みを軽減できるよう、親同士の交流の場を設ける
対 象 者	生後7～8か月頃の乳児とその保護者
実施場所	はつらつホール
内 容	① 計測 ② 離乳食の進め方についてのお話 ③ 試食 ④ 離乳食相談

事業の結果

- 1 年間12回開催し、参加人数は延べ19人でした。
- 2 不安や悩み、心配事が多い第1子の保護者の参加が約6割、第2子以上の保護者は約4割参加し、育児全般の確認をしています。
- 3 満足度については、アンケートの結果、「満足」が78.9%、「やや満足」が21.1%でした。
教室の内容については、全員が「理解できた」と回答しています。

事業の分析

過去10年間の事業結果から、次のように分析します。

- 1 参加率は、平成29年度以降20%を下回っています。
近年、インターネットでの情報収集やアプリを活用している人が多く手軽に情報を得られる環境にあります。
- 2 参加者が少人数のため、個人の進み具合に合わせた個別相談に十分な時間を確保できたことで、悩みや不安の解消につながっています。
- 3 だし汁や減塩味噌汁の試食により、薄味の大切さを実感でき、また、実物の離乳食で量や形態の確認が来ています。
- 4 同じ悩みを持つ親同士、交流が深まるきっかけにもなっており、子育ての情報交換の場にもなっています。

離乳食教室の実施状況

単位：人、%

年度	年間開催回数	対象者数	参加者数	参加率	参加保護者の状況			
					第1子	割合	第2子以上	割合
H26	12	223	56	25.1	40	71.4	16	28.6
H27	12	203	41	20.0	32	78.0	9	66.7
H28	12	201	45	22.0	26	58.0	19	42.0
H29	12	207	26	13.0	19	73.0	7	27.0
H30	12	199	38	19.0	23	59.0	16	41.0
R元	12	194	32	16.5	24	75.0	8	25.0
R 2	8	122	21	17.2	14	66.7	7	33.3
R 3	12	199	28	14.1	22	78.6	6	21.4
R 4	12	220	36	16.8	27	75.0	9	25.0
R 5	12	181	30	16.6	22	73.3	8	26.7
R 6	12	155	19	12.3	12	63.2	7	36.8

事業の方向性

- 1 離乳食期は悩みが多い時期でもあるため、悩みや不安の解消につながるよう、個々に合わせた支援ができるよう継続して実施します。
- 2 実物の離乳食での確認やだし汁と味噌汁の試飲は継続して実施します。
- 3 同じ月齢の子どもを持つ親同士が気軽に交流が図れる場にしていきます。

Ⅱ 保健事業の報告－ 1

2 成人保健事業

(1) 集団健康教育

関連する行動計画	第9期元気はっらっ高齢者計画
評価項目	開催回数、参加者数
目標値（R6）	介護予防普及啓発事業 60回、800人
当該年度実績値	86回、1,225人

健康教育

健康づくりの知識と実践方法を普及させるため、町内各地区において集団を対象に健康教育を行います。

事業の内容

目 的	生活習慣病の予防その他健康に関する事項について、正しい知識の普及を図ることにより、健康の保持増進のための行動を実践できるようにする。
対 象 者	40歳以上の町民（65歳以上は介護予防事業として実施）
実施場所	各地区公民館、自治公民館等
実施期間	通年
内 容	① 一般的な健康知識 ④ 歯周疾患予防 ② 病態別予防知識 ⑤ 栄養改善 ③ 時事健康課題 ⑥ 介護予防の知識 など

事業の結果

- 健康増進事業（40歳以上対象）として、健康教育を13回（延べ108人）実施しました。
- 介護予防事業での健康教育として、介護予防普及啓発事業を86回（1,225人）、介護予防活動支援事業を41回（612人）実施しました。

単位：回、人

区 分		内 容	対 象	回数	延参加人数
健康増進事業 (目的：生活習慣病等の予防)		栄養教室 はじめてのエアロビクス 保健推進員研修	40～64歳	13	108
介護予防事業 (目的：要介護 状態の予防など)	介護予防 普及啓発事 業	「いこいの家」等地区 事業内での、介護予防 に関する講話など	40～64歳	86	46
			65歳以上		1,179
	介護予防活 動支援事業	「いこいの家」等地区 事業内での、健康づく り全般に係る情報提供 など	40～64歳	41	23
			65歳以上		589

※健康増進事業は40～64歳が対象であるが、延べ参加人数には40歳以上の延べを計上している。

事業の分析

過去の事業結果から、次のように分析します。

- 1 健康教育は、高齢者を対象とする「いこいの家」で主に実施されています。コロナ禍以降、実施回数が減少しましたが、徐々に取り戻しつつあります。
- 2 壮年期を対象とした健康教育（健康増進事業）は、徐々に回数や参加人数が増えています。
- 3 介護予防普及啓発事業では、フレイル予防を目的として、運動機能を向上させるシルバーリハビリ体操や低栄養改善についての内容を多く実施しています。

	年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
健康増進事業	回 数	4	3	8	12	13
	参加延人数	71	12	23	90	108
介護予防普及啓発事業	回 数	52	37	57	85	86
	参加延人数	605	543	843	1,221	1,225
介護予防 活動支援事業	回 数	37	14	35	45	41
	参加延人数	500	304	507	600	612

事業の方向性

- 1 自ら健康管理できるよう、その時期や対象者に合わせた内容で健康教育を実施していきます。
- 2 今後も、地区のいこいの家や健康相談でフレイル予防等の健康教育を実施し、介護予防のための普及啓発を行います。

Ⅱ 保健事業の報告－ 1

2 成人保健事業

(2) 健康相談

関連する行動計画	第9期元気はつらつ高齢者計画
評価項目	介護予防事業の健康相談開催回数・参加者数
目標値（R6）	120回・1,700人
当該年度実績値	127回・1,837人

健康相談

町民一人ひとりが健康で元気に生活できるように健康相談を行い、自分の健康状態を確認し、健康管理を自ら行えるよう支援します。

事業の内容

目 的	心身の健康に関する個別の相談に応じ、必要な指導や助言を行い、健康管理のための行動を実践できるようにする。
対 象 者	40歳以上の町民（65歳以上は介護予防事業の一般高齢者施策）
実施場所	はつらつホール、地区公民館、自治公民館等
実施期間	通年
	① 健康増進事業における健康相談（主に65歳未満対象） ② 介護予防事業における健康相談

事業の結果

単位：回、人

事業名	回数	延べ人数		
①健康増進事業における健康相談（食べ方相談室）	3	5		
②介護予防事業における健康相談	127	65歳未満	69	1,837
		65歳以上	1,768	

※健康増進事業は40～64歳が対象であるが、延べ参加人数には40歳以上の延べ人数を計上している。

事業の分析

過去の事業結果から、次のように分析します。

- 1 健康増進事業における実施回数は少ないですが、特定保健指導や生活習慣病重症化予防事業など、検診結果に基づく対象を絞った事業に移行しています。
- 2 高齢者を対象とする健康相談は、各地区で行われている健康相談（いこいの家）等に参加した人に対し行っています。参加者の年齢は、主に70歳から90歳代です。

健康増進事業における健康相談

年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
開催回数	0	0	3	3	3
参加者数	0	0	8	7	5

介護予防事業における健康相談

単位：回、人

年度		R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
開催回数		112	58	97	98	127
参加者数	65歳未満	83	54	73	50	69
	65歳以上	1, 325	901	1, 369	1, 360	1, 768

事業の方向性

- 1 他の事業と同時に実施するなど、様々な機会を利用し、健康相談の場を設けていきます。
- 2 高齢者を中心とした健康相談では、一般的な健康状態の確認にとどまらず、介護予防の視点を持った関わりが重要になります。

Ⅱ 保健事業の報告－１

２ 成人保健事業

(３) 成人歯科健康診査

関連する行動計画	第三次元気はつらつ紫波計画
評価項目	年に１回以上、歯科健康診査を受診している人の割合
目標値（Ｒ８）	50.0%
当該年度実績値	成人歯科健康診査受診率 2.56%

成人歯科健康診査

歯周病は成人期の有病者率が高く、全身疾患や生活習慣との関係が指摘されています。歯と口腔の健康を保つために、定期的な健康診査と正しいセルフケアが重要です。

事業の内容

目的	① 歯周疾患を予防すること ② 口腔内清掃の習慣化を図ること
対象者	20歳、30歳、40歳、50歳、60歳、70歳の町民
実施場所	町内歯科医院（12か所）
実施期間	令和６年６月～令和７年１月
内容	① 歯科健康診査 ② う歯及び歯周疾患予防に関する歯科保健指導

事業の結果

- 受診者数は、60人でした。（前年度は75人）
- 11月に紫波町国民健康保険加入者の対象者へ個別に通知しました。70歳の約71%が紫波町国民健康保険加入者であり、70歳の受診者数の多さにつながっていると考えられます。
- 受診者のうち、男性の割合は38.3%、女性の割合は61.7%でした。

令和６年度 成人歯科健康診査受診状況

単位：人、%

年齢階級	対象者	受診者数	受診率	結果							
				良好な状態 定期健診の勧め		要受診		(再) 所見あり※			
								う歯		歯槽膿漏	
				人	割合	人	割合	人	割合	人	割合
20歳	271	2	0.74	2	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
30歳	266	3	1.13	1	33.3	2	66.7	2	66.7	1	33.3
40歳	389	6	1.54	4	66.7	2	33.3	2	33.3	0	0.0
50歳	485	12	2.47	3	25.0	9	75.0	3	25.0	8	66.7
60歳	458	3	0.66	1	33.3	2	66.7	0	0.0	2	66.7
70歳	474	34	7.17	11	32.4	23	67.6	5	14.7	19	55.9
合計	2,343	60	2.56	22	36.7	38	63.3	12	20.0	30	50.0

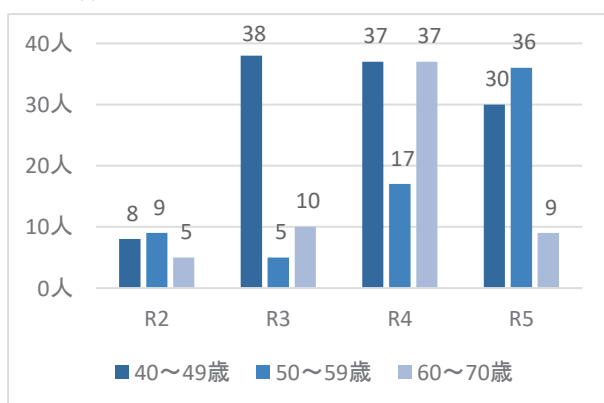
※所見の内容は重複することがあります

事業の分析

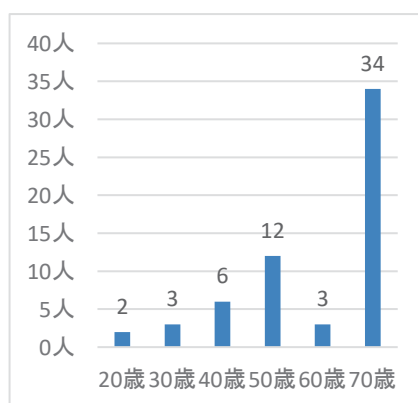
過去の事業結果から、次のように分析します。

- 1 令和6年度から健康増進法に基づいて対象者を20、30、40、50、60、70歳の節目年齢に変更していますが、受診者数は大きく変わりませんでした。
- 2 70歳の受診者が最も多く、若年者の受診者数が少ない傾向です。
- 3 男女別にみると受診総数の半数以上を女性が占めています。

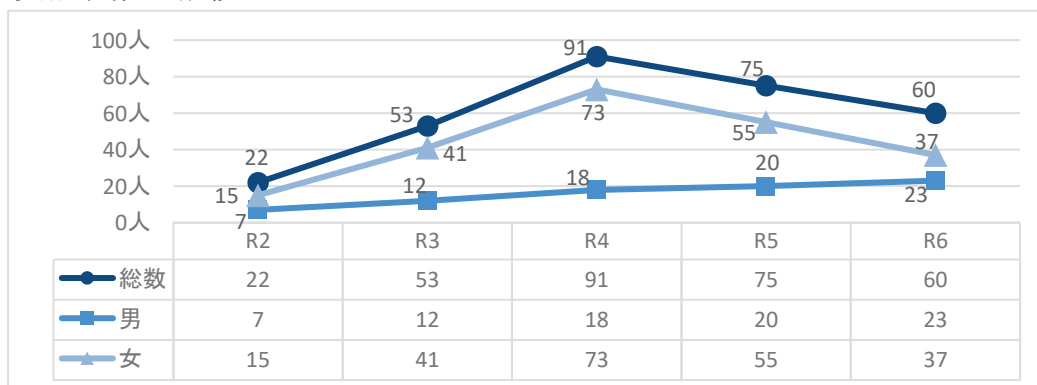
年齢階級別受診者数（R2～R5）



対象年齢別受診者数（R6）



受診者数の推移



事業の方向性

- 1 岩手県医療等ビッグデータ（R4年度）によると、定期歯科健診を受けている人の割合が町は24.7%と県値（22.3%）を上回っています。成人歯科健康診査が定期的な歯科健診のきっかけとなるように受診勧奨をしていきます。
- 2 受診者の有所見者の割合が高いことから、若い年齢のうちから自分の口腔衛生に関心を持ち正しい行動が身に付くよう、様々な機会を利用して啓発していく必要があります。

Ⅱ 保健事業の報告-1

2 成人保健事業

(4) がん検診

① 胃がん検診

関連する行動計画	第三次元気はつらつ紫波計画
評価項目	胃がん検診受診率
目標値 (R8)	50.0%
当該年度実績値	5.8%

胃がんは、食生活や生活習慣等の変化により、罹患率や死亡率は減少傾向を示しています。がんの部位別の罹患数は、男性・女性ともに4番目に多いがんです。

参考：がんの統計2025（国立がん研究センター）

事業の内容

目 的	胃がんの早期発見・早期治療により死亡率を減少させること
対 象 者	40歳以上の町民
実施場所	はつらつホール
実施期間	6～7月（10日間）、11月（3日間） ※R5年度と同日数
内 容	胃エックス線検査

事業の結果

- 1 受診者数は1,258人で、前年度より増加しました。
- 2 初めて検診対象となる40歳の人に、40歳は検診を無料で受けられることを周知し、13人が受診しました（受診率3.4%）。
- 3 受診率は5.8%とコロナ禍での受診率低下から回復傾向ですが、目標値に比べると低い水準で推移しています。
- 4 精密検査の受診率は93.1%で、昨年度より2ポイント低下しました。

胃がん検診受診状況

単位：人、%

年度	対象者数 (a)	受診者数 (b)	受診率 (b)/(a)	要精検数 (c)	精検受診数 (d)	精検受診率 (d)/(c)	がん発見者数 (e)	がん発見率 (e)/(b)
R2	21,547	787	3.7	44	35	79.5	1	0.13
R3	21,574	691	3.2	27	18	66.7	0	0
R4	21,548	1,118	5.2	57	49	86.0	2	0.18
R5	21,515	1,239	5.8	41	39	95.1	2	0.16
R6	21,520	1,258	5.8	29	27	93.1	2	0.16

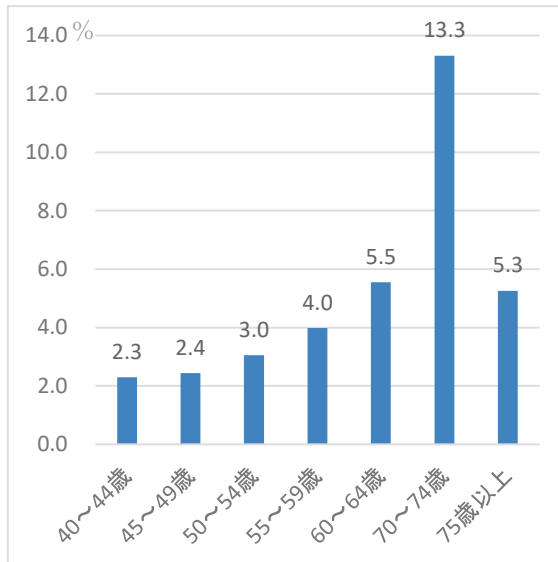
※ がん発見者数は、年度を越えて診断名が確定することもあり、前年の白書に計上した数字と異なる場合もある

事業の分析

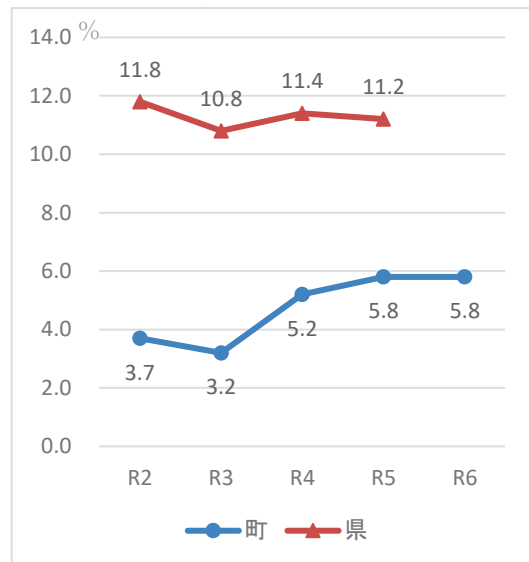
事業結果から、次のように分析します。

- 1 受診率は新型コロナウイルス感染症流行状況の変化、個別の受検票の郵送や全戸配布等の周知により、回復傾向にあります。県全体に比べると低い値です。
- 2 40歳は無料で検診が受けられる体制をとっていますが、40歳代の受診率が低い傾向にあります。
- 3 他のがん検診に比べ、受診率は低い傾向です。過去5年の精密検査の受診率は上昇傾向です。

年齢階級別受診率（令和6年度）



受診率の推移



※R6の県の受診率は作成時未公開

事業の方向性

- 1 受診率向上の為、受診しやすい検診体制の確保に努めます。
また、継続受診者を増やす取り組みとして、過去3年以内の検診受診歴のある人に受検票を送付するなどの周知方法の工夫を継続していきます。
- 2 精密検査を確実に受診するよう、引き続き受診勧奨を行います。

Ⅱ 保健事業の報告－1

2 成人保健事業

(4) がん検診

② 肺がん検診

関連する行動計画	第三次元気はつらつ紫波計画
評価項目	肺がん検診受診率
目標値（R8）	60.0%
当該年度実績値	3.7%

肺がんは、部位別がん死亡数で最も多く、罹患数は大腸がんに次いで2番目に多くなっています。肺がんの最も重要な危険因子は、喫煙と言われています。岩手県は男性の喫煙率が高い上位5県に入っています。

参考：がんの統計2025（国立がん研究センター）、がん情報サービス

事業の内容

目 的	肺がんの早期発見・早期治療により死亡率を減少させること
対 象 者	40歳以上の町民 ※令和6年度から、65歳以上は肺がん検診か結核検診のどちらか一方を選択して受診可とした。
実施場所	はつらつホール、地区公民館
実施期間	5～6月（25日間）、11月（3日間）
内 容	胸部X線撮影、喀痰検査（50歳以上希望者）

事業の結果

- 1 受診者数は804人、受診率は3.7%です。
- 2 初めて検診対象となる40歳の人に、40歳は検診を無料で受けられることを周知し、42人が受診しました（受診率10.9%）。
- 3 喀痰検査の受診者数は42人、要精密検査になった人はいませんでした。
- 4 精密検査の受診率は92.3%でした。

肺がん検診受診状況

単位：人、%

年度	対象者数 (a)	受診者数 (b)	受診率 (b)/(a)	要精密検査 (c)	精密検査 受診数 (d)	精密検査 受診率 (d)/(c)	がん 発見者数 (e)	がん 発見率 (e)/(b)	喀痰検査 受診者数
R2	11,235	278	2.5	7	6	85.7	1	0.36	2
R3	11,163	855	7.7	27	26	96.3	0	—	3
R4	21,548	3,372	15.6	118	110	93.2	4	0.12	30
R5	21,515	3,457	16.1	107	93	86.9	5	0.14	32
R6	21,520	804	3.7	26	24	92.3	0	—	42

※がん発見者数は、年度を越えて診断名が確定することもあり、前年度の白書に計上した数字と異なる場合もある。

※年度によって対象者が異なるため、受診率を比較する際は注意が必要

R2・R3：40～64歳対象（65歳以上は結核検診の対象）

R4・R5：40歳以上対象（上限なし）

R6：40歳以上を対象とし、65歳以上は肺がん検診と結核検診のどちらか一方を選択

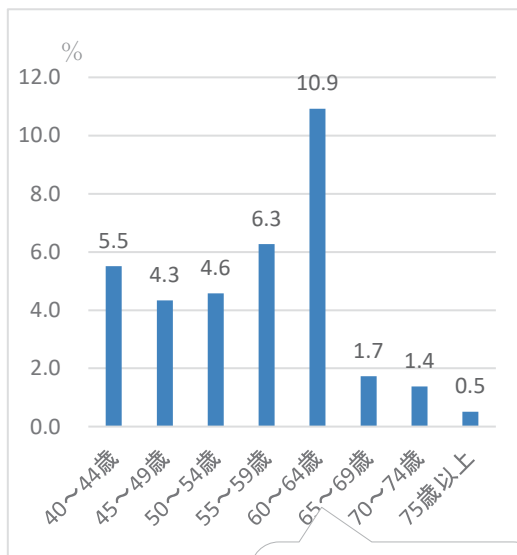
※喀痰検査は、R4から喫煙指数を問わず、肺がん検診受診者のうち50歳以上の希望者を対象としている

事業の分析

事業結果から、次のように分析します。

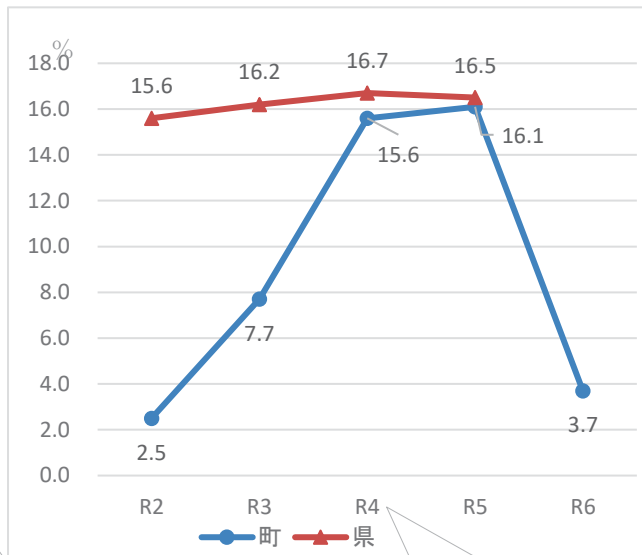
- 1 年齢階級別受診率をみると、45～54歳の年代で低くなっています。
受診を特に推奨する年代であるため、より一層の受診勧奨が必要です。
- 2 令和6年度から肺がん検診・結核検診の対象者を見直したことにより、
肺がん検診としての受診率は大幅に低く出ています。
- 3 元気はつらつアンケートの結果から、喫煙率は低下傾向にあり、禁煙を
希望する人の割合は増加しています。がん検診の受診勧奨とあわせて、
禁煙に関する取り組みも実施していく必要があります。

年齢階級別受診率（令和6年度）



65歳以上は結核検診か肺がん検診のどちらか一方を受診
2,755名が結核検診を受診している

受診率の推移



※R6の県の受診率は
作成時未公開

対象年齢を40～64歳から40歳以上に拡大
自己負担額なしから自己負担額500円に変更

事業の方向性

- 1 対象の年代に検診の重要性について周知し、受診勧奨を行います。
- 2 肺がんの発生と喫煙は密接に関係しています。そのため、喫煙習慣改善に関する啓発活動を今後も継続していきます。

Ⅱ 保健事業の報告－ 1

2 成人保健事業

(4) がん検診

③ 大腸がん検診

関連する行動計画	第三次元気はつらつ紫波計画
評価項目	大腸がん検診受診率
目標値 (R8)	50.0%
当該年度実績値	13.9%

大腸がんは日本人が最も多く罹患するがんです。死亡率は肺がんに次ぎ2番目に高くなっています。生活習慣や食生活の変化から、近年、大腸がんが急増しています。

多くの場合、早期発見・早期治療によりほぼ完治することが可能ながんです。

参考：がんの統計2025（国立がん研究センター）

事業の内容

目 的	大腸がんの早期発見・早期治療により死亡率を減少させること
対 象 者	40歳以上の町民
実施場所	はつらつホール、地区公民館
実施期間	5～6月(25日間)、11月（3日間）
内 容	便潜血反応検査（2日法）

事業の結果

- 1 受診者数は2,991人、受診率は13.9%です。
- 2 初めて検診対象となる40歳の人に、40歳は検診を無料で受けられることを周知し、37人が受診しました（受診率9.6%）。
- 3 精密検査の受診率は76.2%で、昨年度より減少しました。
がんの発見者数は6人でした。

大腸がん検診受診状況

単位：人、%

年度	対象者数 (a)	受診者数 (b)	受診率 (b)/(a)	要精検数 (c)	精検受診数 (d)	精検受診率 (d)/(c)	がん発見者数 (e)	がん発見率 (e)/(b)
R 2	21,547	2,066	9.6	119	104	87.4	7	0.34
R 3	21,574	2,824	13.1	155	119	76.8	11	0.39
R 4	21,548	2,846	13.2	157	135	86.0	15	0.53
R 5	21,515	2,833	13.2	131	108	82.4	6	0.21
R 6	21,520	2,991	13.9	168	128	76.2	6	0.20

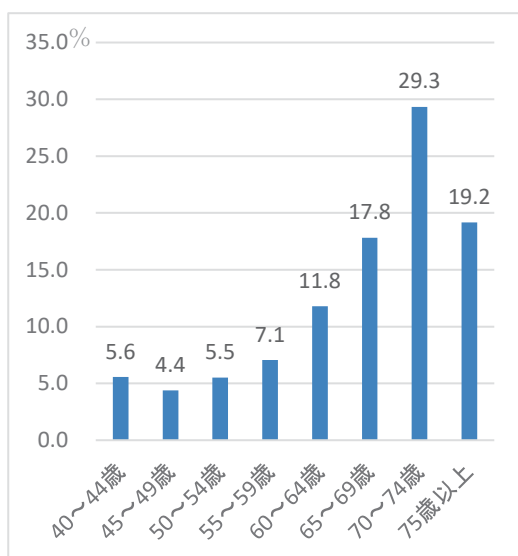
※がん発見者数は、年度を越えて診断名が確定することもあり、前年の白書に計上した数字と異なる場合もある。

事業の分析

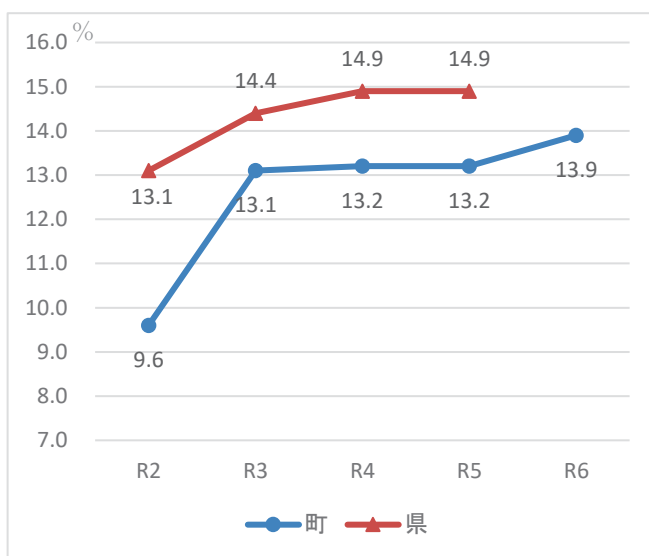
事業結果から、次のように分析します。

- 1 本年度も前年度受診者に大腸がん検診容器を配布しました。申し込みの負担を軽減することで受診率の向上につながったと考えます。年代別の受診率は40歳代後半が4.4%と最も低く、受診勧奨が必要です。
- 2 精密検査の受診率は前年度から6.2ポイント低下し、他のがん検診と比較しても低い結果となりました。早期発見・治療のために、精密検査の受診も必要であることを引き続き周知していく必要があります。

年齢階級別受診率（令和6年度）



受診率の推移



※R6の県の受診率は作成時未公開

事業の方向性

- 1 若い世代にも検診の必要性を理解してもらい、年に1度は検診を受診してもらえるよう、周知を図っていきます。
- 2 大腸がんの年齢階級別罹患率は50歳から高まるため、50歳以上の年代に対しても引き続き受診勧奨をしていく必要があります。

Ⅱ 保健事業の報告－ 1

2 成人保健事業

(4) がん検診

④ 前立腺がん検診

関連する行動計画	なし
----------	----

前立腺がんは、男性の部位別罹患数で最も多く、がん罹患全体の16.4%を占めます。特に60歳以上で罹患率が大きく増加しています。

前立腺がん検診は国の定める「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」対象外です。

参考：がんの統計2025（国立がん研究センター）

事業の内容

目 的	前立腺がんの早期発見・早期治療につなげるため
対 象 者	50歳以上の町民（男性）
実施場所	はつらつホール、地区公民館
実施期間	5月～6月（25日間）、11月（3日間）
内 容	血液検査(PSA検査)

事業の結果

- 1 受診者数は596人、受診率は7.6%で、一定水準のまま推移しています。
- 2 精密検査の受診率は72.0%で、他のがん検診と比較して低い水準です。
- 3 令和6年度は前立腺がんが5人発見されました。

前立腺がん検診受診状況

単位：人、%

年度	対象者数 (a)	受診者数 (b)	受診率 (b)/(a)	要精検数 (c)	精検受診数 (d)	精検受診率 (d)/(c)	がん発見者数 (e)	がん発見率 (e)/(b)
R 2	7,763	246	3.2	16	13	81.3	1	0.41
R 3	7,798	652	8.4	29	21	72.4	2	0.31
R 4	7,802	661	8.5	24	14	58.3	－	0.00
R 5	7,836	616	7.9	29	21	72.4	6	0.97
R 6	7,878	596	7.6	25	18	72.0	5	0.84

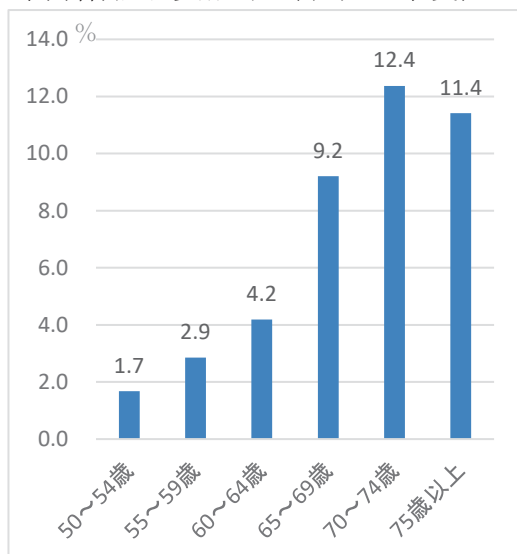
※がん発見者数は、年度を越えて診断名が確定することもあり、前年度の白書に計上した数字と異なる場合もある。

事業の分析

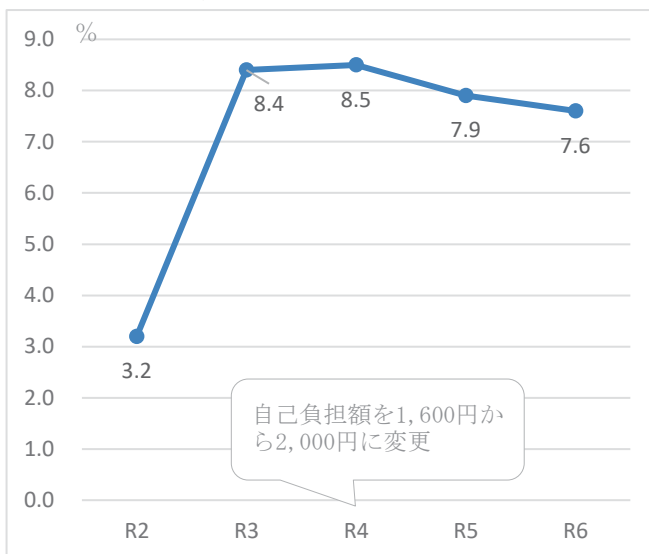
事業結果から、次のように分析します。

- 1 年齢階級別の受診率をみると、65歳以上で受診率が高くなり、70～74歳では12.4%となっています。
- 2 受診率の推移をみると、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた令和2年度と比較して高い値で推移しています。
- 3 毎年、検診のみ受診し、精密検査対象となっても検査を受けない人が数名みられます。

年齢階級別受診率（令和6年度）



受診率の推移



※「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」の対象ではないため、県の受診率なし

事業の方向性

- 1 男性のがん罹患数として最も多いがんですが、国の定める「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」の対象ではないため、実施については検討していく必要があります。
- 2 精密検査を受けない人への対策を検討していく必要があります。

Ⅱ 保健事業の報告－1

2 成人保健事業

(4) がん検診

⑤ 子宮頸がん検診

関連する行動計画	第三次元気はつらつ紫波計画
評価項目	子宮頸がん検診受診率
目標値（R8）	50.0%
当該年度実績値	13.9%

子宮頸がんは、ヒトパピローマウイルスの感染が主な原因とされ、20～30歳代に罹患者が増えています。早期は自覚症状がないので検診が重要です。

参考：がんの統計2025（国立がん研究センター）

事業の内容

目 的	子宮頸がんの早期発見・早期治療により死亡率を減少させること
対 象 者	20歳以上の奇数歳の女性
実施場所	はつらつホール
実施期間	1月（9日間）
内 容	子宮頸部細胞診

事業の結果

- 1 総受診者数は1,075人で、奇数歳受診者は1,059人でした。
受診率は13.9%で昨年度に比べて0.2ポイント上昇しています。
- 2 新規対象者となる21歳の人に無料クーポンを送付し、13人が受診しました（受診率13.0%）。
- 3 精密検査の受診率は92.3%で、昨年度より15.4ポイント上昇しました。

子宮頸がん検診受診状況

単位：人、%

年度	対象者数 (a)	受診者数 (b)	受診率 ※1	要精検数 (c)	精検受診者数 (d)	精検受診率 (d)/(c)	がん発見者数 ※2、※3 (e)	がん発見率 (e)/(b)
R2	14,414	962	14.7	12	10	83.3	0	0
R3	14,516	1,055	13.9	14	11	78.6	0	0
R4	14,414	1,053	14.6	14	13	92.9	0	0
R5	14,316	908	13.7	13	10	76.9	2	0.2
R6	14,235	1,075	13.9	13	12	92.3	0	0

※1 前年度の受診者と当該年度の受診者の合計から計算（2年に1回の受診間隔のため）

受診率＝〈前年度（b）＋当該年度（b）〉/当該年度（a）×100

※2 子宮頸部がんのみ計上、子宮体部がんは含まない

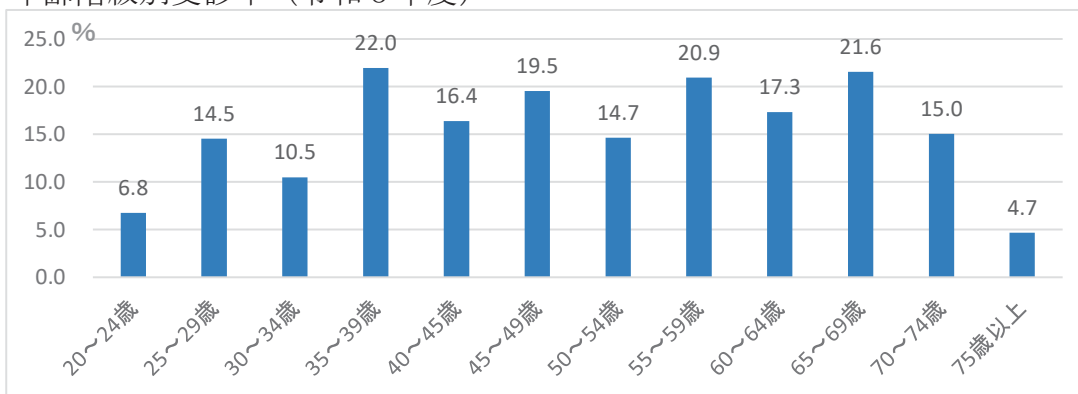
※3 がん発見者数は、年度を越えて診断名が確定することもあり、前年の白書に計上した数字と異なる場合もある

事業の分析

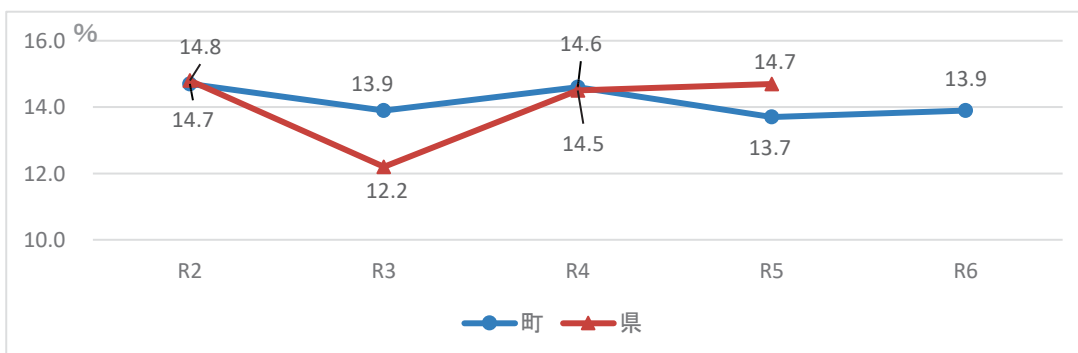
事業結果から、次のように分析します。

- 1 年代によって受診率にばらつきはありますが、最も高いのは35～39歳、次いで65～69歳となっています。
- 2 20～24歳の受診率が低い状況です。新規対象者には、無料となるクーポンを発行していますが、利用率は低いです。
受診しやすい検診体制の整備が必要と思われます。

年齢階級別受診率（令和6年度）



受診率の推移



※R6の県の受診率は作成時未公開

事業の方向性

- 1 検診案内を個別通知したことで、対象者全員に周知することができ、検診受診の動機づけに効果的であったと考えられます。
今後も継続して受診勧奨をしていきます。
- 2 若年層や未受診者に対して、子宮頸がん検診の重要性の周知を行うとともに、受診ハードルが下がるように案内を工夫していきます。

Ⅱ 保健事業の報告－ 1

2 成人保健事業

(4) がん検診

⑥ 乳がん検診

関連する行動計画	第三次元気はつらつ紫波計画
評価項目	乳がん検診受診率
目標値 (R8)	50.0%
当該年度実績値	16.6%

乳がんは女性に一番多いがんで、40歳代後半～60歳代後半で罹患率が増加しています。日本人女性のおよそ9人に1人が生涯で乳がんにかかる危険性があります。

参考：がんの統計2025（国立がん研究センター）

事業の内容

目 的	乳がんの早期発見・早期治療により死亡率を減少させること
対 象 者	30歳以上の奇数歳の女性
実施場所	はつらつホール
実施期間	1月（9日間）
内 容	乳房X線撮影検査（30歳代は、超音波検査）

事業の結果

- 1 総受診者数は1,196人、奇数歳受診者は1,174人でした。
総受診率は16.7%で、昨年度に比べて0.7ポイント上昇しています。
- 2 新規対象者となる41歳の人に無料クーポン券を送付し、41人が受診しました（受診率22.3%）。
- 3 精密検査の受診率は83.3%で、がんの発見者数は5人でした。

乳がん検診受診状況

単位：人、%

年度	対象者数 (a)	受診者数 (b)	受診率 ※1	要精検数 (c)	精検受診者 (d)	精検受診率 (d)/(c)	がん発見者数 ※2 (e)	がん発見率 (e)/(b)
R2	11,465	869	17.0	19	16	84.2	2	0.2
R3	11,570	946	15.7	24	21	87.5	4	0.4
R4	11,562	986	16.6	22	20	90.9	4	0.4
R5	11,521	866	16.0	13	12	92.3	4	0.5
R6	11,514	1,047	16.6	15	12	80.0	4	0.4

30歳代超音波検査受診状況

単位：人、%

年度	対象者数 (a)	受診者数 (b)	受診率 ※1	要精検数 (c)	精検受診者 (d)	精検受診率 (d)/(c)	がん発見者数 ※2 (e)	がん発見率 (e)/(b)
R2	1,673	155	17.6	2	2	100.0	1	0.6
R3	1,689	128	17.0	5	5	100.0	2	1.6
R4	1,656	159	17.6	2	1	50.0	0	0.0
R5	1,651	132	15.8	0	—	—	—	—
R6	1,638	149	17.0	3	3	100.0	1	0.7

※1 前年度の受診者と当該年度の受診者の合計から計算（2年に1回の受診間隔のため）

受診率＝〈昨年度（b）＋当該年度（b）〉/当該年度（a）*100

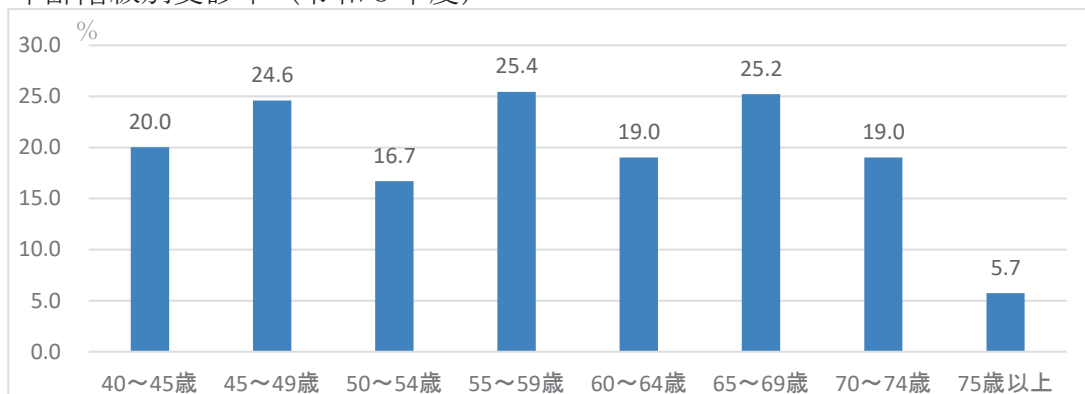
※2 がん発見者数は、年度を越えて診断名が確定することもあり、前年の白書に計上した数字と異なる場合もある

事業の分析

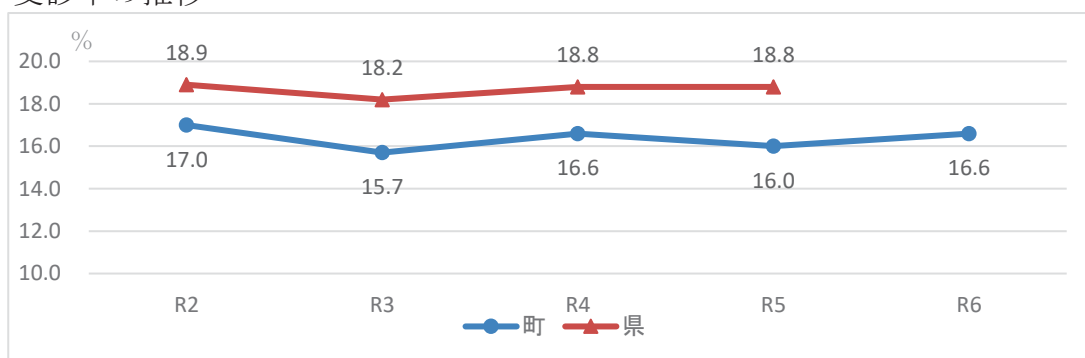
事業結果から、次のように分析します。

- 1 受診率が最も高いのは、55～59歳、次いで65～69歳です。
- 2 乳がんは、30歳代から各年代で発見されています。受診推奨年代の60歳代までは積極的に受診勧奨を行う必要があります。30歳代は受診推奨年代に含まれませんが、引き続き受診勧奨を勧めていきたいと考えます。

年齢階級別受診率（令和6年度）



受診率の推移



※R6の県の受診率は作成時未公開

事業の方向性

- 1 対象者への個別案内を継続し、さらに受診勧奨年代の40～60歳代への周知を重ねていきます。
- 2 検診時期や日程など受診しやすい検診体制の確保に努めます。
- 3 乳がん検診の普及啓発に併せて、ブレスト・アウェアネスの大切さについても周知していきます。
- 4 30歳代の乳がん検診は「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」では実施対象とされていませんが、若年で乳がん罹患する人も増えていること、また乳がん検診と同日に実施している子宮頸がん検診の受診啓発にもつながることから実施を継続しています。

Ⅱ 保健事業の報告－1

2 成人保健事業

(5) 特定健康診査・特定保健指導

① 特定健康診査

関連する行動計画	紫波町国民健康保険第3期データヘルス計画
評価項目	特定健康診査受診率
目標値（R6）	54.00%
当該年度実績値	51.27%

特定健康診査の結果をもとに、自分の生活習慣を見直し改善していくことが生活習慣病の予防につながります。

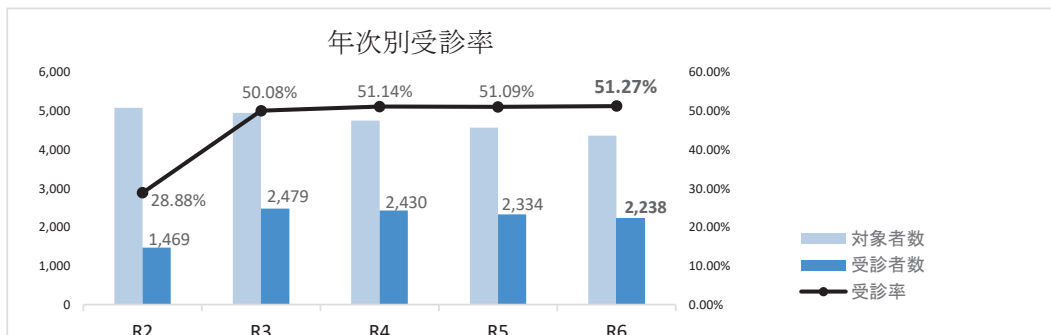
事業の内容

目 的	メタボリックシンドロームや生活習慣病を早期発見し、早期対策に結びつけること	
対 象 者	40～74歳の国民健康保険加入者	
実施場所	＜集団＞はつらつホール、地区公民館 ＜個別＞契約医療機関	
実施期間	＜集団＞5～6月（25日間）、11月（3日間） ＜個別＞7～12月	
内 容	＜必須項目＞	
	① 服薬歴・喫煙習慣の状況等 ② 理学的検査（身体診察） ③ 身体計測（腹囲・BMI等） ④ 血圧測定 ⑤ 肝機能（AST・ALT・γ-GTP） ⑥ 脂質検査（中性脂肪・HDL-C・LDL-C） ⑦ 血糖検査（空腹時血糖・ヘモグロビンA1c） ⑧ 尿検査（尿糖・尿タンパク） ⑨ 腎機能検査（血清クレアチニン）	＜詳細項目＞ ① 貧血検査 ② 心電図検査 ③ 眼底検査 ※集団では全員実施、個別では医師が必要と認めた場合に実施 ※集団では、推定塩分摂取量測定も追加実施

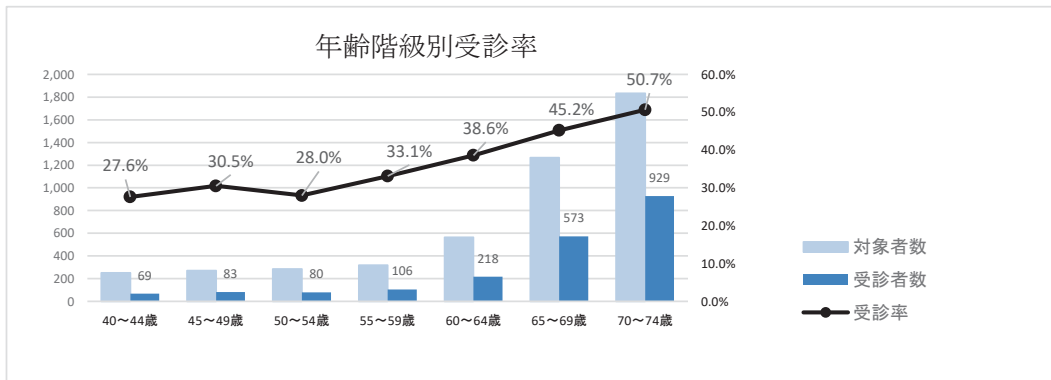
事業の結果

1 令和7年3月末時点における受診者は2,238人、受診率は51.27%でした。

（集団・個別・人間ドック・データ提供含）



※ R6 データは令和7年3月末時点のデータ（それ以前のデータは最終確定データ）



※年度末年齢75歳を除く

事業の分析

過去5年間の事業結果から、次のように分析します。

- 1 受診率は新型コロナウイルス感染症の影響を受けた令和2年度以外は、50%以上を維持しています。
- 2 集団健診受診者のうち、腹囲高値は3割以上で微増傾向にあります。
ヘモグロビンA1c高値は2割、血圧高値は6割前後となっています。

メタボリックシンドローム診断基準該当者の割合

単位：人

年度	受診 総数	腹囲	BMI	空腹時血糖	ヘモグロビンA1c	中性脂肪	HDL-C	血圧
		男≥85 女≥90	25以上	110mg/dl以上	6.0%以上	150mg/dl以上	40mg/dl未満	収縮期≥130 又は拡張期≥85
R2	476	154 (32.4%)	176 (37.0%)	19 (4.0%)	77 (16.2%)	141 (29.6%)	11 (2.3%)	269 (56.5%)
R3	2,331	779 (33.4%)	768 (32.9%)	93 (4.0%)	501 (21.5%)	822 (35.3%)	78 (3.3%)	1,469 (63.0%)
R4	2,339	781 (33.4%)	783 (33.5%)	65 (2.8%)	466 (20.0%)	794 (33.9%)	84 (3.6%)	1,440 (61.6%)
R5	2,344	822 (35.1%)	774 (33.0%)	77 (3.3%)	490 (20.9%)	788 (33.6%)	91 (3.9%)	1,389 (59.3%)
R6	2,213	789 (35.7%)	730 (33.1%)	50 (4.2%)	177 (20.4%)	74 (28.5%)	19 (3.2%)	794 (56.3%)

*判定値は、メタボリックシンドローム診断基準であり、特定保健指導対象者選定基準とは異なります。

*集団健診受診者のみのデータ、年度内資格異動者も含みます。

*BMI値は、メタボリックシンドローム診断基準にはないが、参考資料として掲載。

事業の方向性

- 1 生活習慣病やメタボリックシンドロームの早期発見と予防のための特定健康診査について、住民に広く周知し、受診率の向上につなげます。
- 2 未受診者対策として、過去の健診受診状況の分析を行い、対象者の受診状況に応じた受診勧奨通知を行います。（町民課と連携）
- 3 特定健康診査を実施することで、脳血管疾患や糖尿病性腎症のリスクの高い対象者を抽出し、生活習慣病重症化予防事業へつなげます。

Ⅱ 保健事業の報告－1

2 成人保健事業

(5) 特定健康診査・特定保健指導

② 特定保健指導

関連する行動計画	紫波町国民健康保険第3期データヘルス計画
評価項目	特定保健指導実施率
目標値（R6）	30.00%
当該年度実績値	10.92%

健康のための行動変容の方向性を自ら導き出し、将来、生活習慣病に移行させないように支援します。

事業の内容

目 的	① 生活習慣病に移行させないこと ② 健康のために自己管理ができるように支援すること	
対 象 者	特定健康診査の結果、選定・階層化により積極的支援・動機づけ支援となった人	
実施場所	はつらつホール	
実施期間	通年	
内 容	岩手県予防医学協会に業務委託して実施 対象者の希望日時に合わせ、個別面接・指導による支援を実施	
	＜積極的支援＞	＜動機づけ支援＞
	初回面談 電話支援（1～2回） レター支援（1～2回） 個別面談 終了時評価	初回面談 終了時評価

事業の結果

- 1 特定保健指導の対象者は293人で、そのうち積極的支援が68人（3.04%）、動機づけ支援は225人（10.05%）でした。
- 2 春の検診で対象となった人と、追加検診で対象となった人の一部に対して実施しました。役場会場では、受診当日に初回面談の分割実施を行いました。
- 3 春の集団検診で対象となった人への特定保健指導の名称を「お体メンテナンス相談会」として申込み制で実施しました。積極的支援2人、動機付け支援11人の参加があり、前年度より減少しました。

特定健康診査受診者数と特定保健指導該当者の割合

単位：人、%

特定健康診査 受診者数			特定保健指導該当者 (積極的支援+動機付け支援)			積極的支援 該当者			動機付け支援 該当者		
全体	男	女	全体	男	女	全体	男	女	全体	男	女
2,238	975	1,263	293	184	109	68	42	26	225	142	83
割合	43.57	56.43	13.09	18.87	8.63	3.04	4.31	2.06	10.05	14.56	6.57

特定保健指導の実施率

単位：人、%

合計			積極的支援			動機づけ支援		
該当者	実施数	実施率	該当者	実施数	実施率	該当者	実施数	実施率
293	32	10.92	68	7	10.29	225	25	11.11

※令和7年3月末時点のデータ

※特定保健指導該当者のうち、年度内に国保資格異動がない者の人数を基に算出

事業の分析

過去３年間の事業結果から、次のように分析します。

- 1 実施率は、11～12%で推移していますがデータヘルス計画の目標値には届いていません。
- 2 データヘルス計画では特定保健指導未終了者０人を目標としていますが、毎年数名の未終了者がいます。

特定保健指導実施率と終了者数

単位：人、％

年度	積極的支援				動機づけ支援				合計			
	対象者	参加者	終了者	実施率	対象者	参加者	終了者	実施率	対象者	参加者	終了者	実施率
R 4	76	9	3	3.95	243	38	38	15.64	319	47	41	12.85
R 5	57	10	5	8.77	260	30	30	11.54	317	40	35	11.04
R 6	68	12	9	13.24	225	38	33	14.67	293	50	42	14.33

※R 6 の対象者は令和 7 年 3 月末時点、参加者・終了者・実施率は令和 7 年 6 月末時点のデータ

※特定保健指導該当者のうち、年度内に国保資格異動がない者の人数を基に算出

事業の方向性

- 1 多くの人が参加しやすく、参加者が途中脱落しないような指導方法について、業務委託先と協議、連携していきます。
- 2 第４期特定健診・特定保健指導のアウトカム評価導入に伴い、より効果的な保健指導が必要になります。

Ⅱ 保健事業の報告－1

2 成人保健事業

(6) 生活習慣病重症化予防

生活習慣病重症化予防事業

関連する行動計画	紫波町国民健康保険第3期データヘルス計画
評価項目	受診勧奨割合
目標値（R6）	90.00%
当該年度実績値	85.00%

紫波町国民健康保険データヘルス計画と保険者努力支援制度の糖尿病性腎症重症化予防に基づき、適切な受診や保健指導利用で健診有所見者を減少、脳血管疾患の発症率減少、人工透析患者の増加抑制を目的に取り組んでいます。

事業の内容

目 的	① 糖尿病合併症や脳血管疾患等への重症化を予防する ② 血糖・血圧の有所見率を減少させる
対 象 者	以下のいずれかに該当した人 ① 特定健康診査受診者のうち、糖尿病性腎症に該当する者で生活習慣病治療をしていない者 ② 特定健康診査受診者のうち、糖尿病基準に該当する者で生活習慣病治療をしていない者 ③ 特定健康診査未受診者のうち、糖尿病治療歴がある者で生活習慣病治療をしていない者 ④ 特定健康診査受診者のうち、Ⅱ度高血圧に該当する者で生活習慣病治療をしていない者
実施期間	通年
	・医療機関未受診者への訪問 ・訪問後の受診状況確認（レセプト確認）

事業の結果

- 1 対象者の85.00%に訪問による受診勧奨を行い、半数以上に対して保健指導を行うことができました。
- 2 受診勧奨後、医療機関を受診した者は少なく、データヘルス計画目標値（受診勧奨後の受診割合60.00%）に達しませんでした。

実施状況（令和6年度）

単位：人、%

		②血糖未受診者 (糖尿病基準に該当)		③糖尿病治療中断者		④血圧未受診者 (Ⅱ度高血圧に該当)		計	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
対象者数		8		9		23		40	
訪 問	受診勧奨	6	75.00	7	77.78	21	91.30	34	85.00
	保健指導	4	50.00	8	88.89	14	60.87	26	65.00
医療機関受診者数		3	37.50	0	0.00	4	17.39	7	17.50

※①血糖未受診者のうち糖尿病性腎症に該当する対象者はなし

事業の分析

過去5年間の事業結果から、次のように分析します。

- 1 これまではその年度の5～6月に実施した特定健康診査結果に基づいて対象者を抽出していましたが、令和6年度からは前年度の全特定健康診査受診者から対象者を抽出しました。
- 2 過去5年を平均すると、約8割に受診勧奨、7割へ保健指導を実施し受診につながったのは3割弱です。
- 3 家庭訪問により実際に対象者の状況を聞き取ることによって、レセプト情報だけでは確認できなかった状況を確認することができ、対象者の状況に応じた保健指導ができました。

単位：人、％

年度	対象者数	訪問				医療機関受診者数	
		受診勧奨実施者	割合	保健指導実施者	割合	人数	割合
R 2	51	44	86.27	42	82.35	7	13.73
R 3	86	81	94.19	68	79.07	29	33.72
R 4	99	76	76.77	65	65.66	50	50.51
R 5	65	35	53.85	38	58.46	7	10.77
R 6	40	34	85.00	26	65.00	7	17.50
平均	68.20	54.00	79.21	47.80	70.11	20.00	25.24

※R2は総合検診の延期に伴い、前年度事業対象者のうち令和2年3月時点で医療機関未受診者に対して事業を実施

※R6は追加検診や個別特定健診の受診者も対象とするためにR5年度の健診結果から対象者抽出

事業の方向性

- 1 対象者自身が「受診が必要」と自覚してもらえるような働きかけが重要であり、受診勧奨や保健指導方法を検討する必要があります。
- 2 生活習慣病の重症化予防は医療機関を受診し、治療が開始になっても生活習慣の見直しが不可欠です。かかりつけ医と連携を図り、治療開始後の保健指導を町でフォローするなど、受診後の取り組みについて検討が必要です。

Ⅱ 保健事業の報告－ 1

2 成人保健事業

(7) 医療用補整具購入費補助事業

医療用補整具購入費補助事業

がん治療に伴う外見変化により医療用補正具を必要とするがん患者の
治療と仕事の両立等の社会参加や療養生活を支援します。（R4年度開始）

事業の内容

対 象 者	がんの治療による頭髮の脱毛により、全頭用の医療用ウィッグを購入した人
補助内容	補助対象となる経費に1/2を乗じた額（上限：20,000円） ※補助対象者一人につき1回限り
実施期間	通年（購入日から1年以内に購入したもの）

事業の結果

単位：人、円

年度	人数	補助対象金額	町補助額
R4	8	1,159,240 (1人平均 144,905)	154,000 (1人平均 19,250)
R5	14	2,492,300 (1人平均 178,021)	280,000 (1人平均 20,000)
R6	14	1,841,020 (1人平均 131,501)	248,000 (1人平均 17,714)

Ⅱ 保健事業の報告－ 1

3 栄養改善事業

栄養教室

関連する行動計画	第三次元気はつらつ紫波計画
評価項目	なし

栄養教室

食を通じた健康づくりボランティアとして健全な食生活を実践し、町民の健康づくりを推進する食生活改善推進員を養成します。

事業の内容

目 的	食生活改善推進員を養成すること
対 象 者	地域で食生活改善推進員として活動できる人
実施場所	水分公民館
実施期間	令和6年7月～12月
内 容	① 回数 6 回 ② 講座内容 ア 紫波町における健康づくりの実践 イ 食生活改善推進員と地区組織活動 ウ 食品衛生と食環境 エ 食生活の現状と課題、生活習慣病予防 オ 年代別の食育 カ 栄養の基礎知識 キ 軽運動（筋力アップ） ク 調理実習（減塩の基本は「だし」、郷土料理、バランス食、フレイル予防の食事、生活習慣病予防の食事）

事業の結果

令和6年度は受講者4名で全員が修了し、食生活改善推進員となりました。

栄養教室実施結果	
栄養教室参加者数	4 人
栄養教室修了者数	4 名
栄養教室修了率	100%
食生活改善推進員加入率	100%

事業の分析

過去10年間の事業結果から、次のように分析します。

- 1 参加者数は減少傾向にあり、平成29年度以降10人を下回っている。
- 2 講座修了率と協議会への加入率は、共に平均で9割以上となっている。

栄養教室実施状況

単位：人、%

年度	参加者数	修了者数	修了率	食改協(※) 加入者数	加入率
H27	7	7	100%	7	100%
H28	15	12	80%	11	92%
H29	7	7	100%	7	100%
H30	8	8	100%	6	75%
R元	6	5	83%	5	100%
R 2	—	—	—	—	—
R 3	—	—	—	—	—
R 4	3	2	67%	1	50%
R 5	6	6	100%	6	100%
R 6	4	4	100%	4	100%
計	56	51	91%	47	92%

開催中止
開催中止

※食生活改善推進員協議会

事業の方向性

- 1 協議会は会員数が年々減少している。その理由として、会員の高齢化と養成講座受講者の減少によるものと考えられる。より多くの町民に受講してもらえよう、毎年開催し会員増につなげる。
- 2 養成講座の開催場所は中央部、東部、西部と毎年変えて実施する。
- 3 カリキュラムは講義と調理実習を組み合わせ、地域で健康づくり活動において必要な栄養・食生活に関する基礎知識を学べる内容とする。

Ⅱ 保健事業の報告－ 1

4 元気づくり事業

(1) ウォーキング事業

関連する行動計画	第三次元気はつらつ紫波計画
評価項目	歩行または同等の身体活動（仕事、家事、農作業を含む）を 1日に合計1時間以上している人の割合
目標値（R8）	90%
当該年度実績値	他のアンケートで実績値を確認するため調査対象外

【参考】

ウォーキング事業実施状況

単位：回、人

年度	事業の種類	参加者数
H27	元気はつらつウォーク（5）、冬季ウォーキング教室（2） 正しい歩き方教室（1）	309
H28	元気はつらつウォーク（5）、冬季ウォーキング教室（1） 正しい歩き方教室（1）	237
H29	元気はつらつウォーク（5）、正しい歩き方教室（1）	252
H30	元気はつらつウォーク（3）、正しい歩き方教室（1）	115
R元	元気はつらつウォーク（4）、正しい歩き方教室（1）	97
R 2	元気はつらつウォーク（1）、正しい歩き方教室（1）	39
R 3	開催中止 ※新型コロナウイルス感染症のため	－
R 4	開催中止 ※荒天のため	－
R 5	元気はつらつウォーク（1）	17
R 6	元気はつらつウォーク（1）	4

() 内は実施回数

事業の分析

令和6年度の参加者は元気はつらつウォークの4名のみだった。

紫波町スポーツ協会主催のスポレクフェスタにおいて開催したが、スポレク全体の参加者数も前年度比約53%となっている。

事業の方向性

ウォーキング事業への参加者の高齢化による体力低下等を考慮し、内容等を検討していきます。

手軽にできるウォーキングの楽しさと、自主的に運動をすることの大切さをウォーキング事業以外の場でも伝えていきます。



Ⅱ 保健事業の報告－１

４ 元気づくり事業

（２）元気はつらつメンバーズ講座

関連する行動計画	第９期元気はつらつ高齢者計画
評価項目	参加実人数
目標値（Ｒ６）	15人
当該年度実績値	9人

元気はつらつメンバーズ講座

「自分の健康は、自分で作り、維持する」という意識をもった『元気はつらつメンバー』を養成し、主体的に健康づくりができる人やその家族を増やしていきます。令和３年度はコロナ禍のため、開催を中止しましたが、令和４年度以降、参加者数は10人前後となっています。

【参考】

元気はつらつメンバーズ講座実施状況

年度	事業の種類	実施回数	受講人数	延受講人数
Ｒ２	総合コース	4	17	55
	エクササイズコース	2	14	14
Ｒ３	開催中止※	－	－	－
Ｒ４	総合コース	5	5	15
Ｒ５	総合コース	6	13	63
Ｒ６	総合コース	6	9	48

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業を中止

事業の分析

今までの事業結果から、次のように分析します。

- 1 参加者の多くは60～70代の女性です。参加者同士の交流も自然と図られており、満足度も高く、楽しく講座を学ぶ機会となっています。
- 2 令和4年度は、コロナ禍の状況で参加人数は非常に少ない状況でしたが令和5年度以降は参加人数が10人前後となっています。
- 3 健康づくりの知識の普及や楽しい仲間づくりを通し、介護予防にも繋がる主要な講座です。



事業の方向性

- 1 健康づくりのための専門的な知識を、総合的に学べる講座として、広く町民に周知していきます。
- 2 介護予防も含む、第二次元気はつらつ紫波計画の7つの領域に基づいた講座内容を、引き続き計画していきます。
- 3 参加者の自主活動を促し、健康づくりへの意識の高まりが、家庭や地域に広がることを目指します。
- 4 習慣的な運動の機会に加え、心の健康の大切さも講座を通して周知していきます。

Ⅱ 保健事業の報告－１

(3) はじめてのエアロビクス

関連する行動計画	第三次元気はつらつ紫波計画
評価項目	参加実人数
目標値（R8）	20人
当該年度実績値	10人

事業の内容

目 的	簡単で楽しい運動実践の場を提供することで、心身のリフレッシュや達成感を味わっていただき、運動への意欲・習慣へのステップアップの1つに繋げていく。
対 象 者	紫波町在住者（年齢制限なし）
内 容	初心者向けのエアロビクス（有酸素運動）

事業の結果

- 1 参加者は50代～70代の女性であり、6日間の開催期間で延55人の参加がありました。
- 2 都合のため1～2回の欠席がある方も数名いたが、9割の方が最後まで楽しく参加していました。
- 3 回を重ねるごとに身体の動きもスムーズになり、講師の動きについていけるようになっていました。また、参加者同士の交流も見られていました。

事業の方向性

- 1 肌寒く自宅に籠りがちとなり、身体活動も低下しやすい秋から冬場に教室の開催を計画します。
- 2 開始3か月目から参加者の動きがスムーズになり、運動の楽しさを実感できているため、開催回数を検討します。
- 3 習慣的な運動の機会を提供し、参加者が自主に家庭や地域で運動することを目指します。

Ⅱ 保健事業の報告－１

(４) シニアのためのスローライフ・ヨガ

関連する行動計画	第９期元気はつらつ高齢者計画
評価項目	参加実人数
目標値（Ｒ６）	20人
当該年度実績値	30人

事業の内容

目 的	運動不足となる冬期間に、ゆったりとした空間の中でヨガを体験し、心身のリラクゼーションを図る。また、介護予防（運動機能低下や閉じこもり予防）の一環とする。
対 象 者	紫波町在住者（概ね65歳以上）
内 容	ヨガの実技

事業の結果

- 1 令和５年度からの新規事業です。定員に対し、予想を上回る申し込みがあったため、令和６年度より午前、午後の２部制として実施した。
- 2 参加者は58～83歳の高齢者であり、６日間の開催期間で延149人の参加があった。
- 3 参加者から事業終了後もヨガを継続するという声が聞かれた。

事業の方向性

- 1 高齢者の運動機能低下や閉じこもり予防等、介護予防のために、今後も楽しく無理なく続けられる運動等を企画していきます。
- 2 令和６年度は２部制として開催したが、定員以上の申し込みがあったため参加者の選定方法を変更し、より多くの方に参加機会を提供できるようにしていきます。
- 3 習慣的な運動の機会を提供し、参加者が自主に家庭や地域で運動することを目指します。

Ⅱ 保健事業の報告－ 1

5 予防接種事業

(1) 定期予防接種

関連する行動計画	なし
----------	----

①定期予防接種（A類疾病）

定期予防接種は、予防接種法に基づき実施するものです。感染症の蔓延予防のためには、地域内の接種率を一定レベル以上に保ち、免疫水準を維持することが重要です。

事業の内容

目 的	感染症の蔓延を防ぐとともに、感染症の発症や重篤化を予防すること		
実施場所	契約医療機関（個別接種）		
実施期間	通年実施		
内 容 (対象者)	種 類		望ましい接種時期
	ロタ	(ロタリックス)	(2回接種) 生後6週以上24週未満
		(ロタテック)	(3回接種) 生後6週以上32週未満
	ヒブ		(初回) 生後2カ月以上7カ月未満 (追加) 初回終了後7カ月以上13カ月未満
	小児用肺炎球菌		(初回) 生後2カ月以上7カ月未満 (追加) 生後12カ月以上15カ月未満
	B型肝炎		生後2カ月以上9カ月未満
	五種混合		(初回) 生後2カ月以上12カ月未満
	四種混合		(初回) 生後2カ月以上12カ月未満
	不活化ポリオ		(追加) 初回終了後12カ月以上18カ月未満
	B C G		生後5カ月以上8カ月未満
	麻しん・風しん混合		(1期) 生後12カ月以上24カ月未満 (2期) 小学校就学前の1年間(5歳～6歳)
	水痘		(1回目) 生後12カ月以上15カ月未満 (2回目) 1回目終了後6カ月以上12カ月未満
	日本脳炎		(1期初回) 3歳～4歳(1期追加) 4歳～5歳(2期) 小学4年生
	二種混合		小学6年生
	子宮頸がん予防		中学1年相当年齢(女子のみ)
	風しん第5期		昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれ(男性のみ)

事業の結果

- 1 日本脳炎の特例対象者について、平成7年4月2日～平成19年4月1日生の対象者については、20歳未満まで継続となっています。
- 2 子宮頸がんワクチンが令和4年4月1日から積極的勧奨が再開されました。対象者には個別通知にて周知しました。また、キャッチアップ接種の最終年度であり、正規対象者に比してキャッチアップ対象者の接種開始が多い結果となりました。(正規：115名、キャッチアップ：211名)
- 3 令和6年度から五種混合ワクチンの定期接種が開始となりました。また、四種混合ワクチンの製造・販売が中止となりました。

事業の分析

過去5年間の予防接種事業結果から、次のように分析します。

- 1 1歳児を対象とする麻しん風しん混合ワクチン1期接種率は、90%以上の高い接種率で推移していますが、令和4年度は1期が82.9%に落ち込みました。就学前に接種する2期の接種率は、90%以上の接種率で経過していましたが令和6年度は80%台へ落ち込みました。
- 2 麻しん風しん混合ワクチンが高い接種率を維持している理由として、平成24年度までの「麻しん排除計画（5年間）」や平成25年度からの「麻しんに関する特定感染症予防指針」に基づく接種勧奨の強化が挙げられます。

令和6年度の2期の接種率が低下した理由として、風しんが流行が落ち着いたことで保護者の関心が低下したことやワクチンの供給が不安定になったことが考えられます。

単位：％

年度	麻しん風しん混合ワクチン接種率	
	1期	2期
R2	111.9	97.8
R3	84.8	100.4
R4	82.9	98.0
R5	98.2	95.8
R6	101.9	88.2

※ 接種率が100%を超える理由

対象者は各種類毎に定めており、ほぼ標準的接種期間としているが、接種者は、予防接種法の定められた年齢までとしている。また、通年接種である。

事業の方向性

- 1 予防接種の種類が増加と共に、接種間隔が複雑となり、対象者への分かりやすい丁寧な周知が必要です。また、協力医療機関に対しては、今後も安全な実施、接種率向上のために適切な情報提供を行っていきます。
- 2 令和6年度に、麻しん風しん混合ワクチン、子宮頸がんワクチンの製造及び供給が不安定になったため、令和6年度の対象者に対する経過措置が令和7年度に行われます。対象者への周知や情報提供を行い、予防接種希望者が接種できるように取り組んでいきます。
- 3 令和3～4年度にかけて、様々なワクチンの接種率が低下していましたが、接種率向上に向けて、今後も町内の保育施設等と連携し、予防接種の必要性を周知していきます。

【子宮頸がん予防ワクチンの勧奨再開】

ヒトパピローマウイルス（HPV）による子宮頸がん等の病気を予防する子宮頸がんワクチン接種は、副反応の問題等から平成25年度から令和3年度まで積極的な接種勧奨は差し控えされていました。

他方、子宮頸がんワクチン接種による副反応等への調査も進み、性能の高い子宮頸がんワクチンの新型ワクチンが開発され、世界においてワクチン接種は推進されてきました。

これらを受け、国では子宮頸がんワクチン接種の有益性と安全性の検討を行い、令和4年度から積極的勧奨が再開されました。

また、積極的勧奨の差し控えにより、定期種接の対象年齢期間内において子宮頸がんワクチン予防接種の接種機会を逃した平成9年度生まれから平成18年度生まれまでの女性に対し、令和4年度から令和6年度まで予防接種を受けることができるキャッチアップ接種が開始されました。

その他、平成9年度から平成18年度生まれまでの女性が対象年齢を過ぎてから自費で接種した際にその分の予防接種費を支給する取り組みも合わせて開始されました。

【子宮頸がん予防接種接種状況の推移】

年度	対象者		接種者			備考
	人数	対象学年 (出生年度)	1 回目	2 回目	3 回目	
R 元	184	中 1	7	5	4	
R 2	144	中 1	25	17	14	
R 3	558	中 1 ～高校 1 年生	38	41	33	
R 4	943	中 1 ～平成 9 年度生まれ	221	188	130	積極的勧奨の再開、 キャッチアップ接種 実施
R 5	493	中 1 ～高 1	240	135	8	↓ ワクチンの種類が 2 価・4 価に加え、新 たに 9 価ワクチンが 開始となる。
	830	高 2 ～平成 9 年度生まれ	186	117	38	
R 6	770	中 1 ～高 1	115	108	68	
	931	高 2 ～平成 9 年度生まれ	211	194	180	

※ 対象者は女性に限る。

Ⅱ 保健事業の報告－ 1

5 予防接種事業

(1) 定期予防接種

関連する行動計画	なし
----------	----

②定期予防接種（B類疾病）

B類の定期予防接種は、個人の感染症予防に重点をおいている予防接種で、接種を受ける法律上の義務がなく、接種者自らの意思で希望する者が対象となっている予防接種です。

事業の内容

目 的	感染症の発症や重篤化を予防すること	
実施場所	契約医療機関（個別接種）	
実施期間	① 高齢者用肺炎球菌ワクチン予防接種	令和6年4月～令和7年3月
	② 高齢者インフルエンザ予防接種	令和6年10月～令和7年1月
	③ 高齢者新型コロナウイルス感染症予防接種	令和6年10月～令和7年1月
内 容 (対象者)	① 高齢者用肺炎球菌ワクチン予防接種 助成額：5,000円（生活保護世帯は 全額公費負担） 対象 ^{※1} ： （1）接種日に65歳の者 （2）60歳以上65歳未満で身体障害者手帳1級に該当する者 ^{※2} ② 高齢者インフルエンザ予防接種 助成額：2,200円（生活保護世帯は、全額公費負担） 対象： （1）65歳以上の高齢者 （2）60歳以上65歳未満で身体障害者手帳1級に該当する者 ^{※2} ③ 高齢者新型コロナウイルス感染症予防接種 助成額：11,800円（内訳：町 3,500円 国 8,300円） （生活保護世帯は、全額公費負担） 対象：高齢者インフルエンザ予防接種と同様	

※1 過去に接種歴のある者は、対象外である。

※2 心臓、じん臓、若しくは呼吸器の機能に自己の身の日常生活が極度に制限される程度の障がいがある者及びヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に日常生活がほとんど不可能な程度の障がいがある者。

事業の結果

高齢者用肺炎球菌ワクチン予防接種は、接種者111人（接種率24.2%）でした。

高齢者インフルエンザ予防接種は、接種者数5,649人（接種率54.0%）でした。

高齢者新型コロナウイルス感染症予防接種は、接種者数2,156人（接種率20.6%）でした。

事業の分析

過去の事業結果から、次のように分析します。

- 1 高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種は、令和6年度から65歳の者のみが対象となったため接種者数は低下しましたが接種率が例年と同水準でした。
- 2 令和6年度から高齢者コロナウイルス感染症予防接種が定期予防接種の対象となりました。接種者数は2,156人であり、高齢者インフルエンザ予防接種と比較し、半数以下の接種者数となりました。また、接種者の大半は高齢者インフルエンザ予防接種も接種していました。

高齢者用肺炎球菌ワクチン予防接種年齢別接種率

単位：％

年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
接種率	27.2	25.6	20.4	26.7	24.2

事業の方向性

- 1 高齢者肺炎球菌予防接種は対象者へ個別通知を行い周知したことでこれまでと同水準の接種率となりました。今後も対象者への個別通知や広報等にて周知を行います。
- 2 平成30年度から広域的予防接種事業が開始となり、県内にある広域的予防接種事業参加医療機関でも予防接種が可能です。
- 3 令和7年度から带状疱疹予防接種が定期予防接種に位置付けられたため、高齢者の定期予防接種について広く周知を行い、協力医療機関、対象者へ情報提供を行います。

Ⅱ 保健事業の報告－ 1

5 予防接種事業

(2) 任意予防接種

関連する行動計画	なし
----------	----

任意予防接種

各種感染症の重症化や合併症を予防するため、接種費用の一部を助成しています。

事業の内容

目 的	感染症の発症や重篤化を予防すること	
実施場所	契約医療機関（個別接種）	
実施期間	① 小児インフルエンザ予防接種	令和6年10月～令和7年2月
	② おたふくかぜワクチン予防接種	令和6年4月～令和7年3月
	③ 帯状疱疹予防接種	令和6年4月～令和7年3月
内 容 (対象者)	① 小児インフルエンザ予防接種 助成額：1回 2,200円（生活保護世帯は、全額公費負担） 対 象：生後6カ月～中学校3年生	
	② おたふくかぜワクチン予防接種 助成額：1回 4,000円（生活保護世帯は、全額公費負担） 対 象※：1歳～2歳未満 （過去に接種歴のある者、過去に罹患したことのある者は対象外）	
	③ 帯状疱疹予防接種 助成額：生ワクチン 1回 4,000円 不活化ワクチン 2回 1回あたり10,000円 （生活保護世帯は、全額公費負担） 対 象：50歳以上で助成を一度も受けたことがない方	

事業の結果

- 1 小児インフルエンザ予防接種は、延べ接種者数3,570人（うち1回目接種率51.5%）でした。
- 2 おたふくかぜワクチン予防接種者数は154人でした。
- 3 令和5年11月から、新規事業として帯状疱疹予防接種事業を開始しました。
令和6年度の接種者数は生ワクチン60人、不活化ワクチン延べ535人でした。
また、それぞれのワクチンの選択比率は生ワクチン20.5%、不活化ワクチン79.5%でした。

事業の分析

過去の事業結果から、次のように分析します。

- 1 小児インフルエンザワクチン予防接種者は、令和4年度に減少していましたが、令和5年度及び令和6年度は2,000人を超えています。1回目接種率は、約5割であり、令和3年度から約1割減少しています。
- 2 帯状疱疹予防接種は、令和5年度と比較して一月当たりの接種開始者（生ワクチン及び不活化ワクチン1回目接種者）は半数程度に減少しました。

○ 各任意予防接種の接種人数

単位：人

		小児インフルエンザ		おたふくかぜ	帯状疱疹		
年度	1 回目	2 回目	生ワクチン		不活化ワクチン		
					1 回目	2 回目	
R 2	2, 744	1, 919	205	—	—	—	
R 3	2, 243	1, 695	160	—	—	—	
R 4	1, 966	1, 434	217	—	—	—	
R 5	2, 138	1, 522	208	67	201	69	
R 6	2, 113	1, 455	154	60	232	303	

事業の方向性

- 1 感染症予防対策として住民のニーズが増大していることから、他の任意予防接種についても、メディアや製薬会社等からの情報収集を行っていきます。
- 2 帯状疱疹予防接種事業は、令和7年度から定期予防接種の対象となることから、令和7年度末で終了となります。住民や協力医療機関への情報提供を行い、混乱なく接種できるようにします。

Ⅱ 保健事業の報告－ 1

6 町民医療事業

献血推進事業

関連する行動計画	なし
----------	----

献血推進事業

岩手県内で必要とされる輸血用血液を医療機関に安定的に供給できるよう、関係機関と連携し、効率的な献血の実施を行います。

また、献血の正しい知識や必要性について、理解していただくための普及啓発を行います。

事業の内容

目 的	①効率的な献血を行うこと
	②献血に関する正しい知識、必要性の普及を図ること
対 象 者	一般住民
実施場所	紫波町役場・盛岡南ショッピングセンター ナックス・紫波警察署 紫波消防署・日詰商店街・サンビレッジ紫波（産業まつり） イオンスーパーセンター紫波古館店
実施期間	令和6年4月～令和7年3月

事業の結果

年間実施回数は、13回となっています。

536人の方から献血協力の申し出があり、うち480人に献血をしていただきました。

単位：人

実施日	受付数	200cc	400cc	献血者	不適
4月28日	35	1	29	30	5
5月22日	45	0	41	41	4
6月26日	25	2	20	22	3
7月11日	33	0	30	30	3
7月15日	43	0	35	35	8
8月17日	47	1	43	44	3
9月25日	54	0	50	50	4
10月19日	36	1	32	33	3
11月10日	42	0	37	37	5
1月5日	43	1	37	38	5
1月21日	58	0	52	52	6
2月16日	39	0	35	35	4
3月16日	36	0	33	33	3
計	536	6	474	480	56

事業の分析

過去5年間の献血実績の推移より、次のように分析します。
献血への協力者数は少しずつ増えていますが、若い世代の献血協力者が少なく、今後の安定供給に支障をきたすおそれがあります。

単位：人

年度	受付数	200cc	400cc	献血者	不適
R 2	479	9	409	418	61
R 3	497	9	418	427	70
R 4	507	6	432	438	69
R 5	540	3	488	491	49
R 6	536	6	474	480	56

事業の方向性

町内の各種団体と協力し、献血の必要性の周知を図っていき、献血を呼びかけていきます。

Ⅱ 保健事業の報告－１

７ 後期高齢者保健事業

(１) 後期高齢者健康診査事業

関連する行動計画	なし
----------	----

後期高齢者健康診査の結果をもとに、自分の生活習慣を見直し改善していくことが生活習慣病の予防につながります。

事業の内容

目 的	生活習慣病の早期発見による重症化予防、健康の保持増進をすること
対 象 者	75歳以上の後期高齢者医療保険加入者
実施場所	<集団>はつらつホール
実施期間	<集団> 5～6月（25日間）、11月（3日間）
内 容	<必須項目> ① 服薬歴・喫煙習慣の状況等 ② 理学的検査（身体診察） ③ 身体計測（身長・体重・BMI） ④ 血圧測定 ⑤ 肝機能（AST・ALT・γ-GTP） ⑥ 脂質検査（中性脂肪・HDL-C・LDL-C） ⑦ 血糖検査（空腹時血糖・ヘモグロビンA1c） ⑧ 尿検査（尿糖・尿タンパク） ⑨ 高齢者の質問票

事業の結果

令和6年度における受診者数は1,325人で、令和5年度（1,196人）より129人増えています。

単位：人、％

年度	後期高齢者健康診査受診状況						
	被保険者 (a)	対象者数 (b)	受診者数(c)	男	女	受診率(c/a)	受診率(c/b)
R2	5,162	4,691	444	217	227	8.6	9.5
R3	5,137	4,504	947	452	495	18.4	21.0
R4	5,276	4,663	1,100	538	532	20.8	23.6
R5	5,423	5,003	1,196	562	634	22.1	23.9
R6	5,609	5,217	1,325	614	711	23.6	25.4

【出典】岩手県後期高齢者医療広域連合保健事業の概要（令和6年度実績）より

対象者（b）は被保険者から対象除外者を差し引いた人数

事業の分析

受診者数は年々増加しており、受診率も上昇傾向にあります。
年齢階級別にみると、80歳以上の人を受診者の6割を占めています。

事業の方向性

できるだけ長く健康で自立した生活を送るため、年1回の健康診査を勧奨し、生活習慣病の早期発見や重症化予防につなげていく必要があります。

※ 本事業には行動計画は策定されていませんが、県の策定した岩手県後期高齢者保健事業計画に県全体の目標値等が定められています。目標値等は次のとおりです。

評価項目	後期高齢者健康診査受診率
目標値（R6）	31.4％（岩手県後期高齢者医療広域連合第3期保健事業実施計画より）
当該年度実績値	30.8％（岩手県後期高齢者医療広域連合保健事業の概要（令和6年度実績）より）

Ⅱ 保健事業の報告－１

７ 後期高齢者保健事業

(２) 後期高齢者歯科健康診査

関連する行動計画	第９期元気はつらつ高齢者計画
評価項目	後期高齢者歯科健康診査受診者数
目標値（R6）	100人
当該年度実績値	58人

後期高者歯科健康診査

健康で丈夫な歯を１本でも多く保ち、かつ、オーラルフレイルを予防するためには、定期的な歯科健康診査が重要です。

事業の内容

目 的	① 歯周疾患とオーラルフレイルを予防すること ② 口腔内清掃の習慣化を図ること
対 象 者	年度内に76歳になる町民
実施場所	県内歯科医療機関
実施期間	令和６年６月～令和６年12月
内 容	① 歯科健康診査 ② う歯及び歯周疾患予防等に関する歯科保健指導

事業の結果

令和６年度の受診者数は58人（前年度は71人）でした。

単位：人、％

年度	対象者数	受診者数			受診率
		総数	男	女	
R2	342	41	21	20	12.0
R3	281	35	14	21	12.5
R4	446	56	30	26	12.6
R5	519	71	33	38	13.7
R6	501	58	28	30	11.6

事業の分析

受診者数は、令和２年度以降、１割程度で推移しています。令和６年度は、過去５年間で最も受診率が低く、11.6％でした。

事業の方向性

- フレイル予防の３本柱（身体活動、栄養・口腔機能、社会参加）の１つである栄養・口腔機能を維持するためにも、定期的な歯科健康診査が必要です。
- オーラルフレイル（口腔内の感覚・咀嚼・嚥下・唾液分泌の機能低下）の予防や改善のためにも、歯科健康診査や早期治療の大切さを周知していく必要があります。

Ⅱ 保健事業の報告－１

７ 後期高齢者保健事業

(３) 高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施

関連する行動計画	第９期元気はつらつ高齢者計画
評価項目	ポピュレーションアプローチ：実施地区数 ハイリスクアプローチ：訪問件数
目標値（Ｒ６）	ポピュレーションアプローチ：９地区 ハイリスクアプローチ：２５件
当該年度実績値	ポピュレーションアプローチ：９地区 ハイリスクアプローチ：（健康状態不明者）２２件 （低栄養）３件

事業の内容

ポピュレーションアプローチ（通いの場等の集団への支援）

目的	フレイル予防等の健康相談や健康教育をし、参加者のフレイル状態等を把握し、状況に応じた状況に応じた保健指導等を行う。また、フレイルやフレイル予防について普及啓発を行い、認知度を高めていく。
実施方法	各地区で開催されている「いこいの家」又は「健康相談」にて、フレイル予防の普及啓発や運動・栄養・口腔機能向上の健康教育を年１回実施する。
実施期間	令和６年８月～令和７年３月

ハイリスクアプローチ（高齢者に対する個別的支援）

健康状態不明者

目的	健康診査や医療、介護サービスへつながっていない健康状態不明者の家庭訪問を行い、健康状態等の把握を行い必要に応じて適切なサービスへ接続する。
対象者	以下の３つの条件全てに該当する者 ①令和５年度末時点で７６～７９歳の町民 ②令和４年度から令和５年度までの２年間に於いて健康診査受診及び、入院・通院履歴なし ③要介護認定なし
実施期間	令和６年８月～令和７年２月
内容	・家庭訪問による健康状態や通院状況の把握 ・必要に応じて保健指導を実施（健康診査や医療機関の受診勧奨、介護保険サービスや福祉サービス等の紹介）

低栄養

目 的	低栄養状態者の家庭訪問を行い、低栄養の改善や重症化予防を行い、フレイル予防やQOLの向上を図る。
対 象 者	以下の4つの条件全てに該当する者 ①令和6年度に75歳以上の町民 ②BMI 18.5以下 ③6か月で2～3kg以上の体重減少 ④要介護認定なし (②、③は令和5年度後期高齢者健康診査の結果を使用)
実施期間	令和6年8月～令和7年2月
内 容	家庭訪問による栄養状態の把握と栄養指導

事業の結果

- 1 ポピュレーションアプローチは延べ9回実施し、105人の参加があった。
- 2 ハイリスクアプローチは対象者の内、7割以上の人に介入することができた。

単位：人

	訪問人数	対象者数
健康状態不明者	22	25
低栄養	3	10

事業の分析

令和6年度からの新規事業である。ポピュレーションアプローチでは参加者の8割以上がフレイルについて理解することができました。ハイリスクアプローチでは、健康状態不明者に対して医療機関受診や健康診査受診の勧奨を行いました。低栄養者に対しては、体重の変化等を確認し、食生活改善の指導を行いました。

ポピュレーションアプローチの理解度

単位：人、%

	人数	理解度
フレイルについて理解できた者	94	89.5
フレイル予防について理解できた者	91	86.7

事業の方向性

- 1 後期高齢者健康診査の結果やレセプト情報を基に後期高齢者の状態を分析し、要介護状態になる高齢者が減少するように取り組んでいきます。
- 2 KDBシステムを活用し、町の現状を分析・検討し、より事業効率が上がるよう引き続き取り組んでいく必要があります。
- 3 町民課担当係と連携し、医療費の削減につながるよう取り組んでいきます。

Ⅲ 保健事業の報告－ 2 【事業統計】

Ⅲ 保健事業の報告－2

1 母子保健事業

(1) 妊娠届

① 年度別妊娠届出

単位：人、％

年度	日 詰	古 館	水 分	志 和	赤 石	彦 部	佐比内	赤 沢	長 岡	合 計	11週以内 の届出(再掲)	
H27	33	51	5	27	53	9	5	6	5	194	178	91.8
H28	41	52	5	17	59	6	2	5	5	192	179	93.2
H29	36	50	5	10	55	5	5	6	9	181	171	94.5
H30	45	47	5	16	55	8	2	4	4	186	185	99.5
R元	37	45	6	15	56	3	3	5	5	175	165	94.3
R 2	35	41	2	9	71	4	5	4	3	174	161	92.5
R 3	36	48	3	10	83	9	2	1	8	200	185	92.5
R 4	39	47	6	6	70	4	2	1	2	177	168	94.9
R 5	30	29	2	12	63	6	1	1	2	146	140	95.9
R 6	28	27	4	5	71	4	1	1	2	143	137	95.8

② 年齢区分別・地区別・初産経産別妊娠届数

単位：人、％

年度	年齢	区分	日 詰	古 館	水 分	志 和	赤 石	彦 部	佐比内	赤 沢	長 岡	小計	合計	割合
R 4	19歳以下	初産	1	2	0	0	0	0	0	0	0	3	3	1.7
		経産	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	20～29歳	初産	9	10	0	1	13	2	1	0	0	36	70	39.5
		経産	2	10	0	1	17	0	1	1	2	34		
	30歳以上	初産	14	7	2	2	13	0	0	0	0	38	104	58.8
		経産	13	18	4	2	27	2	0	0	0	66		
	計		39	47	6	6	70	4	2	1	2	177	177	100
R 5	19歳以下	初産	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	0.7
		経産	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	20～29歳	初産	11	4	1	0	11	0	0	0	0	27	53	36.3
		経産	2	4	0	1	17	0	1	1	0	26		
	30歳以上	初産	7	4	0	3	11	1	0	0	1	27	92	63.0
		経産	10	17	1	8	24	5	0	0	0	65		
	計		30	29	2	12	64	6	1	1	1	146	146	100
R 6	19歳以下	初産	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	0.7
		経産	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	20～29歳	初産	5	8	2	0	13	0	0	0	1	29	51	35.7
		経産	3	4	0	0	13	1	0	0	1	22		
	30歳以上	初産	6	7	0	1	18	0	1	0	0	33	91	63.6
		経産	14	8	2	4	26	3	0	1	0	58		
	計		28	27	4	5	71	4	1	1	2	143	143	100

Ⅲ 保健事業の報告－2

1 母子保健事業

(2) 妊産婦一般健康診査

単位：人

	妊婦			産婦			HBs抗原検査実人数		
	一般健康診査		実精密検査受診人数	一般健康診査		実精密検査受診人数	HBs抗原検査	HBs抗原検査で陽性であった妊婦	再掲事後指導妊婦
	受診実人数	受診延人数		受診実人数	受診延人数				
実施数	246	1,851	0	162	270	0	141	0	0

令和6年度妊婦一般健康診査受診票の利用枚数と有所見状況

単位：人、枚、%

妊娠届出数	回数	受診票枚数	有所見者数	再掲			有所見率
				要指導	要精密	要治療	
143	①	141	1	0	0	1	0.7
	②	137	3	0	0	3	2.2
	③	142	3	0	0	3	2.1
	④	144	1	0	0	1	0.7
	⑤	141	3	0	0	3	2.1
	⑥	144	1	0	0	1	0.7
	⑦	147	3	0	0	3	2.0
	⑧	144	5	0	0	5	3.5
	⑨	138	3	0	0	3	2.2
	⑩	143	3	0	0	3	2.1
	⑪	143	3	0	0	3	2.1
	⑫	131	1	0	0	1	0.8
	⑬	96	0	0	0	0	0.0
	⑭	60	1	0	0	1	1.7
合計		1,851	31	0	0	31	1.7

R5	1,845	35	6	3	26	1.9
R4	2,349	35	1	2	32	10.9
R3	2,440	42	6	2	34	14.9

Ⅲ 保健事業の報告－2

1 母子保健事業

(3) 妊婦歯科健康診査

年 齢	受診者数	歯磨きの回数/日				自覚症状											
		1回	2回	3回	未記入	出血		しみる	物がはさまりやすい	かみにくい	歯が動く	口臭がある					
						常時ある	時々ある										
20歳以下	1	0	1	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0
21～25歳	11	0	5	6	0	0	4	6	55	5	45	0	0	0	0	1	9
26～30歳	22	0	15	7	0	1	7	10	45	11	50	0	0	0	0	6	27
31～35歳	30	2	14	14	0	0	10	7	23	16	53	1	3	0	0	7	23
36～40歳	14	0	10	4	0	0	6	5	36	3	21	1	7	0	0	4	29
41歳以上	3	0	1	2	0	0	2	1	33	2	67	0	0	0	0	0	0
合計	81	2	46	33	0	1	29	29		37		2		0		18	
割合		2.5	56.8	40.7		1.2	35.8	35.8		45.7		2.5		0.0		22.2	

R5年度分（参考）

合計	87	2	51	34	0	1	27	34	49	3	3	25
割合		2.3	58.6	39.1		1.1	31.0	39.1	56.3	3.4	3.4	28.7

単位：人、本、%

歯の状況 (平均本数)					歯周疾患の状況 ※新C P I 基準による判定(H29以降)										結 果					
					歯肉出血(BOP)				歯周ポケット(PD)											
現存歯数				喪失歯数	0	1	9	X	0	1	2	9	X	健康	定期健康診査の勧め	要受診	う歯あり	歯槽膿漏あり	その他	
					健全	出血あり	除外歯	該当する歯なし	健全	4〜5mmに達するポケット	6mmを越えるポケット	除外歯	該当する歯なし							
28.0	26.0	1.0	1.0	0.0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	1	0	
27.8	21.1	4.5	2.4	0.3	5	6	0	0	4	5	2	0	0	0	2	9	7	4	0	
28.3	18.2	7.5	2.5	0.05	5	17	0	0	14	8	0	0	0	1	4	17	15	3	0	
28.4	19.4	7.6	1.4	0	9	21	0	0	14	15	1	0	0	2	10	18	15	8	0	
28.4	20.1	7.4	0.9	0.3	7	7	0	0	11	3	0	0	0	0	8	6	4	2	0	
28.3	10.3	15.0	3.0	0.0	2	1	0	0	1	2	0	0	0	0	3	0	0	0	0	
28.3	19.2	7.3	1.8	0.1	28	53	0	0	44	33	4	0	0	3	27	51	42	18	0	
					34.6	65.4	0	0	54.3	40.7	4.9	0	0	3.7	33.3	63.0	51.9	22.2	0.0	

※重複あり

28.3	18.9	7.4	1.9	0.2	22	65	0	0	32	49	6	0	0	7	24	56	43	24	0
					25.3	74.7	0	0	36.8	56.3	6.9	0.0	0.0	8.0	27.6	64.4	49.4	27.6	0.0

Ⅲ 保健事業の報告－ 2

1 母子保健事業

(4) 1歳6か月児健康診査

① 内科診察

項目 地区	対象者	受診者	受診率	発育状況					健康管理上注意すべきもの									
				肥満度					身体的 発育所見	運動 発達の遅れ	眼 所見	耳 鼻 咽喉 所見	泌 尿 器 所見	循 環 器 系 所見	呼 吸 器 系 所見	整 形 外 科 所見	栄 養 所見	皮 膚 所見
				+20 % 以上	+15 ～ +20 % 未 満	-15 ～ +15 % 未 満	-15 ～ -20 % 未 満	-20 % 以下										
日 詰	42	42	100.0	0	0	38	2	2	0	0	0	0	1	3	1	0	2	1
古 館	55	51	92.7	0	0	50	1	0	2	1	0	0	0	0	1	1	1	0
水 分	8	7	87.5	0	0	7	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0
志 和	8	7	87.5	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
赤 石	84	82	97.6	0	1	76	3	2	4	0	3	2	1	0	0	1	6	1
彦 部	3	3	100.0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
佐比内	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
赤 沢	1	1	100.0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
長 岡	3	3	100.0	0	0	3	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	204	196	96.1	0	1	185	6	4	8	1	3	2	2	3	2	4	9	2
									要指導	0	0	2	0	0	0	0	0	0
									要観察	7	0	0	0	0	0	0	9	0
									要精密	0	1	1	0	0	0	4	0	1
									要医療	0	0	0	0	0	0	0	0	0
									管理中	1	0	0	2	2	3	2	0	1
R 5	235	230	97.9	6	9	213	2	0	／	8	0	0	2	2	／	2	0	1
R 4	217	209	96.3	5	14	190	0	0	／	1	3	1	0	3	／	4	2	3

単位：人、％

(身体面)						健康管理上注意すべきもの（精神面）						健康管理上注意すべきもの（その他）					
内訳 アトピー性皮膚炎	アレルギー性所見	内訳 食物アレルギー	熱性けいれん	その他（身体面）	計	精神発達面	内訳 精神発達の遅れ	言語発達の遅れ	情緒・行動面	その他（精神面）	計	生活習慣	内訳 生活リズム	電子メディア	偏食	その他	計
0	3	3	0	2	13	5	2	3	0	0	5	0	0	0	0	0	0
0	1	0	0	4	11	6	2	4	4	0	10	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	2	4	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	1	2	2	1	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0
1	2	2	0	7	27	8	4	4	2	0	10	2	0	2	0	0	2
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1
1	6	5	0	16	58	22	10	12	6	0	28	4	0	3	0	1	4
0 0 0 0 6	9 14	3 8	0 0	14 14	38 46	4 2	15 12	0 0	21 14	1 0	0 0	1 1	0 0	0 0	0 0	0 0	2 1

※実人数

※令和6年度に所見内容の見直しを行ったため、合致する実績のみ記載。

Ⅲ 保健事業の報告－2

1 母子保健事業

(5) 3歳児健康診査

① 内科診察

項目 地区	対象者数	受診者数	受診率	発育状況 (肥満度)					健康管理上注意すべきもの									
				-20 % 以下	-15 ～ -20 % 未満	-15 ～ 15 % 未満	15 ～ 20 % 未満	20 % 以上	1	2	3	4	5	6	内訳	7	8	9
									身体的 発育所見	眼 所見	耳 鼻 咽喉所見	泌 尿 器所見	循 環 器系所見	呼 吸 器系所見	ぜん そく性疾 患	整 形外科所見	栄 養所見	皮 膚所見
日 詰	40	40	100.0	0	1	38	0	1	1	3	0	0	2	1	1	1	0	0
古 館	58	53	91.4	0	0	48	5	1	2	1	1	1	0	0	0	0	0	1
水 分	3	3	100.0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
志 和	12	11	91.7	0	0	10	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
赤 石	110	106	96.4	0	0	102	2	2	1	9	0	0	0	2	2	1	2	0
彦 部	12	5	41.7	0	0	4	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
佐比内	4	3	75.0	0	0	3	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
赤 沢	5	5	100.0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
長 岡	6	6	100.0	0	0	5	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	250	232	92.8	0	1	218	9	5	4	17	1	1	2	3	3	2	3	2
									要観察	4	0	0	0	0		0	1	0
									要精密	0	17	0	0	0		0	0	0
									要治療	0	0	0	0	0		0	0	0
									治療中	0	0	1	1	2		2	0	2
									要指導	0	0	0	0	0		0	2	0
									紹介状	0	17	0	0	0		0	0	0
R 5	238	226	95	0	1	215	8	2		10	3	2	0				1	5
R 4	271	251	92.6	0	1	236	10	4		2	0	3	0				3	4

(6) 幼児歯科健康診査

月 齢	対象者数	受診者数	むし歯の 総本数	むし歯の ない人	受診結果				
					むし歯の ある人	むし歯の本 数が1本の 人	むし歯の本 数が2本の 人	むし歯の本 数が3本の 人	むし歯の本 数が4本の 人
1 歳児	204	160	0	160	0	0	0	0	0
2 歳児	237	199	14	192	7	0	7	0	0
3 歳児	250	207	42	189	18	5	9	2	0
合計	691	566	56	541	25	5	16	2	0
R 5	690	583	54	556	27	9	13	2	2
R 4	702	581	85	554	27	5	9	4	1

※むし歯の進行度、不正咬合の区分について受診票に記入されていないものは集計に含まれない

単位：人、％

(身体面)					(精神面)							(その他)	合 計
10	内訳	11	12	有所見者実数	13	内訳		14	15	有所見者実数	16		
アレルギー性所見	食物アレルギー	熱性けいれん	その他(身体的)		精神発達面	精神発達の遅れ	言語発達の遅れ	情緒・行動面	その他(精神面)		生活習慣		
1	0	0	0	9	3	1	2	3	1	7	0	16	
0	0	2	2	10	6	1	5	2	3	11	1	22	
0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1	0	2	
0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	0	2	
5	1	1	4	25	13	3	10	2	4	19	0	44	
0	0	0	0	2	1	0	1	0	0	1	0	3	
0	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	3	
0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	1	
1	0	0	0	2	1	0	1	1	0	2	0	4	
7	1	3	8	53	25	5	20	8	10	43	1	97	
0		0	1	6	24			8	10	42	0	48	
0		0	0	17	1			0	0	1	0	18	
0		0	0	0	0			0	0	0	0	0	
7		3	7	28	0			0	0	0	0	28	
0		0	0	2	0			0	0	0	1	3	
0		0	0	17	1			0	0	1	0	18	
12	5		14	47		1	5	5	15	25		72	
16	4		17	45		0	8	10	12	30		75	

※令和6年度に所見内容の見直しを行ったため、合致する実績のみ記載。

単位：人、本

むし歯の本数が5～9本の人	むし歯の本数が10本以上の人	軟組織の異常のある人	咬合異常のある人	その他の異常のある人
0	0	1	32	0
0	0	1	35	0
2	0	0	39	0
2	0	2	106	0

1	0	1	140	0
8	0	0	139	1

(7) ぴよこちゃん教室（幼児教室）

① 実施状況

実施日	会 場	内 容	参加者(人)		スタッフ(人)
			子	親	
5月15日	しわっせ	開校式・ママカフェ	4	4	4
6月5日	〃	製作	5	5	4
7月17日	〃	おもちゃ作り	3	3	4
8月21日	はつらつホール	水遊び	2	2	4
9月11日	しわっせ	ミニ運動会	5	5	4
10月9日	〃	散歩	7	7	4
11月13日	〃	製作	5	5	5
12月4日	〃	おやつ作り	2	2	4
1月29日	〃	正月遊び・節分	3	3	4
2月19日	〃	ママカフェ・自由遊び	4	4	4
3月12日	〃	製作・卒業式	3	3	4
計11回			43	43	45

- ・年間7組、延べ86人の親子が参加（令和5年度 7組 延べ92人）
- ・教室1回あたりの子どもの参加人数 3.9人（令和5年度 4.2人）

Ⅲ 保健事業の報告－２

２ 成人検診事業

（１）各種検診地区別受診状況

項目		日 詰	古 館	水 分	志 和	赤 石
特定健康診査	対象者数	671	1,176	247	568	820
	受診者数	340	606	120	271	425
	受診率（％）	50.7	51.5	48.6	47.7	51.8
	前年比（％）	104.4	99.6	95.1	95.7	106.0
若年者健康診査	対象者数	338	481	58	127	614
	受診者数	17	17	1	5	21
	受診率（％）	5.0	3.5	1.7	3.9	3.4
	前年比（％）	0.8	1.0		0.7	1.3
胃がん検診	対象者数	4,080	5,726	1,193	2,445	4,512
	受診者数	223	371	77	124	264
	受診率（％）	5.5	6.5	6.5	5.1	5.9
	前年比（％）	108.2	107.5	100.0	86.4	96.3
肺がん検診	対象者数	4,080	5,726	1,193	2,445	4,512
	受診者数	153	190	47	91	175
	受診率（％）	3.8	3.3	3.9	3.7	3.9
	前年比（％）					
結核検診	対象者数	1,688	2,689	662	1,415	1,955
	受診者数	422	780	153	302	554
	受診率（％）	25.0	29.0	23.1	21.3	28.3
	前年比（％）					
大腸がん検診	対象者数	4,080	5,726	1,193	2,445	4,512
	受診者数	541	814	174	312	602
	受診率（％）	13.3	14.2	14.6	12.8	13.3
	前年比（％）	110.4	107.0	112.9	97.6	107.6
子宮頸がん検診	対象者数	2,784	3,766	746	1,472	3,350
	受診者数	225	285	55	99	250
	受診率（％）	15.7	14.3	13.3	11.5	13.6
	前年比（％）	106.4	99.8	89.8	97.4	100.0
乳がん検診	対象者数	2,202	3,077	659	1,299	2,402
	受診者数	226	290	59	108	202
	受診率（％）	19.2	17.3	16.1	13.4	16.1
	前年比（％）	106.9	101.4	95.0	101.0	99.5

単位：人、％

彦 部	佐比内	赤 沢	長 岡	合計	備考
269	166	222	226	4,365	集団検診 2,213人 ※注) 法定報告の受診者数 ・受診率とは異なる
124	95	119	113	2,213	
46.1	57.2	53.6	50.0	50.7	
86.3	104.1	101.7	99.2	100.1	
74	24	35	55	1,806	※水分・佐比内は前年度の受 診者0人
5	0	0	5	71	
6.8	0.0	0.0	9.1	3.9	
2.2		0.0	1.0	0.9	
1,230	666	747	921	21,520	胃がん発見数 2人
74	39	37	49	1,258	
6.0	5.9	5.0	5.3	5.8	
113.9	104.5	99.8	90.2	101.5	
1,230	666	747	921	21,520	肺がん発見数 0人 ※R6年度から対象者を変更し たため、前年比は算出不能
53	20	35	40	804	
4.3	3.0	4.7	4.3	3.7	
689	415	439	539	10,491	肺がん発見数 4人
167	127	116	134	2,755	
24.2	30.6	26.4	24.9	26.3	
1,230	666	747	921	21,520	大腸がん発見数 6人
180	112	106	150	2,991	
14.6	16.8	14.2	16.3	13.9	
97.8	100.9	100.6	102.4	105.6	
736	383	430	568	14,235	子宮頸がん発見数 0人
58	26	36	41	1,075	
13.2	12.3	14.7	13.4	13.9	
103.5	110.4	106.1	117.0	101.7	
647	347	382	499	11,514	乳がん発見数 5人
62	26	34	40	1,047	
17.3	14.4	15.2	14.6	16.6	
109.7	119.6	110.8	112.2	103.4	

Ⅲ 保健事業の報告－2

2 成人検診事業

(2) 特定健康診査（年齢階級別）

単位：人、％

項目	対象者	受診者			総合判定				BMI			腹囲		血圧		
		男	女	計	A1 ％	A2 ％	B ％	C ％	正常 値	低 値	高 値	正常 値	高 値	正常 値	境界 値	高 値
40～44	250	32	37	69	10 14.5	7 10.1	25 36.2	27 39.1	35	6	28 40.6	40	29 42.0	47	13	9 13.0
45～49	272	48	35	83	6 7.2	19 22.9	30 36.1	28 33.7	45	11	27 32.5	60	23 27.7	57	13	13 15.7
50～54	286	35	45	80	5 6.3	11 13.8	37 46.3	27 33.8	45	9	26 32.5	54	26 32.5	44	15	21 26.3
55～59	320	45	61	106	5 4.7	19 17.9	46 43.4	36 34.0	64	8	34 32.1	73	33 31.1	70	17	19 17.9
60～64	565	89	129	218	4 1.8	35 16.1	110 50.5	69 31.7	136	15	67 30.7	144	74 33.9	104	51	63 28.9
65～69	1,267	235	338	573	11 1.9	58 10.1	307 53.6	197 34.4	344	38	191 33.3	365	208 36.3	245	128	200 34.9
70～74	1,834	388	541	929	12 1.3	76 8.2	458 49.3	383 41.2	580	51	298 32.1	602	327 35.2	312	213	404 43.5
75	0	71	84	155	2 1.3	11 7.1	65 41.9	77 49.7	88	8	59 38.1	89	66 42.6	54	36	65 41.9
合 計	4,794	943	1,270	2,213	55 2.5	236 10.7	1,078 48.7	844 38.1	1,337	146	730 33.0	1,427	786 35.5	933	486	794 35.9
前年度合計	5,044	1,015	1,326	2,341	54 2.3	193 8.2	1,215 51.9	879 37.5	1,424	144	773 33.0	1,521	820 35.0	954	559	828 35.4

単位：人、％

項目	血糖				尿糖			ヘモグロビンA1c				尿蛋白				HDLコレステロール				LDLコレステロール				中性脂肪			
	正常	境界値	低値	高値 %	正常	弱陽性	陽性 %	正常	境界値	高値 %	正常	弱陽性	陽性 %	判定保留	正常	境界値	低値	高値 %	正常	境界値	低値	高値 %	正常	境界値	低値	高値 %	
40～44	64	4	0	1 1.4	67	0	2 2.9	55	11	3 4.3	66	2	1 1.4	0	64	5	0 0.0	41	9	0 0.0	19 27.5	51	14	0	4 5.8		
45～49	76	5	0	2 2.4	81	0	2 2.4	64	15	4 4.8	77	4	2 2.4	0	79	1	3 3.6	46	21	0 0.0	16 19.3	61	17	0	5 6.0		
50～54	76	3	0	1 1.3	77	0	3 3.8	54	21	5 6.3	77	1	2 2.5	0	73	5	2 2.5	33	23	0 0.0	24 30.0	61	15	0	4 5.0		
55～59	94	7	0	5 4.7	98	0	8 7.5	62	37	7 6.6	105	1	0 0.0	0	105	0	1 0.9	37	32	3 2.8	34 32.1	82	21	0	3 2.8		
60～64	188	29	0	1 0.5	207	1	9 4.1	116	95	7 3.2	212	2	3 1.4	0	214	2	2 0.9	98	60	3 1.4	57 26.1	169	45	0	4 1.8		
65～69	495	67	0	11 1.9	538	5	30 5.2	238	305	30 5.2	544	17	12 2.1	0	555	15	3 0.5	286	134	8 1.4	145 25.3	453	97	2	21 3.7		
70～74	788	119	0	22 2.4	846	12	71 7.6	363	470	96 10.3	885	17	27 2.9	0	900	21	8 0.9	497	234	17 1.8	181 19.5	728	174	2	25 2.7		
75	125	23	0	7 4.5	140	1	14 9.0	50	80	25 16.1	147	2	6 3.9	0	150	5	0 0.0	93	33	1 0.6	28 18.1	129	22	0	4 2.6		
合 計	1,906	257	0	50 2.3	2,054	19	139 6.3	1,002	1,034	177 8.0	2,113	46	53 2.4	0	2,140	54	19 0.9	1,131	546	32 1.4	504 22.8	1,734	405	4	70 3.2		
前年度合計	2,032	261	0	48 2.1	2,186	22	132 5.6	1,056	1,094	191 8.2	2,224	49	67 2.9	0	2,251	69	21 0.9	1,242	537	31 1.3	531 22.7	1,755	450	4	132 5.6		

単位：人、％

項目	肝機能検査									ヘモグロビン(貧血)				心電図			眼底				クレアチニン		
	AST			ALT			γ-GTP			正常	境界 値	高 値	低 値	正常	軽度 障害	高度 障害	正常	軽度 障害	高度 障害	判定 不能	正常	境界 値	高 値
40～44	57	5	7	49	11	9	50	11	8	53	11	0	5	50	18	1	67	1	1	0	52	17	0
45～49	66	15	2	56	18	9	67	11	5	68	12	0	3	62	17	4	77	4	2	0	69	13	1
50～54	69	11	0	62	15	3	64	13	3	60	14	0	6	58	21	1	76	3	1	0	66	14	0
55～59	91	10	5	84	15	7	82	13	11	87	17	0	2	76	24	4	99	1	4	0	78	28	0
60～64	193	21	4	190	22	6	174	33	11	183	30	4	1	149	61	8	196	14	6	1	169	45	4
65～69	487	77	9	487	67	19	476	77	20	471	92	2	8	346	198	29	483	51	31	2	430	130	13
70～74	805	108	16	817	93	19	787	108	34	746	151	5	27	536	331	60	781	74	56	13	689	225	15
75	137	13	5	137	11	7	136	14	5	129	25	1	0	74	64	15	132	10	9	3	111	40	4
合 計	1,905	260	48	1,882	252	79	1,836	280	97	1,797	352	12	52	1,351	734	122	1,911	158	110	19	1,664	512	37
前年度合計	2,032	256	53	2,016	245	80	1,972	260	109	1,865	407	7	62	1,465	736	134	1,971	197	127	24	1,723	567	51

※年齢起算日：令和7年3月31日
※集団検診を受けた者の集計
※対象者は令和7年3月末現在の国保加入者
※判定基準は、岩手県予防医学協会の基準値によるもの

Ⅲ 保健事業の報告－２

２ 成人検診事業

(３) 若年者健康診査（35～39歳）

単位：人、％

単位：人																																			
項目	対象者	受診者			総合判定				BMI				腹囲		血圧			血糖				尿糖			ヘモグロビンA1c				尿蛋白						
		男	女	計	A1 %	A2 %	B %	C %	正常	低値	高値	%	正常	高値	%	正常	境界値	高値	%	正常	低値	高値	%	正常	弱陽性	陽性	%	正常	境界値	高値	%	正常	弱陽性	陽性	%
	1,806	18	53	71	17 23.9	17 23.9	22 31.0	15 21.1	41	3	27 38.0	51	20 28.2	54	10	7 9.9	69	0	0	2 2.8	69	1	1 1.4	59	10	2 2.8	69	1	1 1.4	0					
前年度合計	1,768	24	50	74	18 24.3	11 14.9	24 32.4	21 28.4	41	6	27 36.5	53	21 28.4	54	9	11 14.9	72	2	0	0 0.0	73	0	1 1.4	62	11	1 1.4	69	2	3 4.1	0					

単位：人、％

項目	HDLコレステロール				LDLコレステロール				中性脂肪				肝機能検査								
													AST			ALT			γ-GTP		
	正常 値	境界 値	低 値	高 値	正常 値	境界 値	低 値	高 値	正常 値	境界 値	低 値	高 値	正常 値	境界 値	高 値	正常 値	境界 値	高 値	正常 値	境界 値	高 値
	69	2	0	0.0	37	22	0	12 16.9	62	8	0	1 1.4	58	12	1 1.4	49	10	12 16.9	58	10	3 4.2
前年度合計	70	3	1	1.4	43	19	0	12 16.2	60	11	0	3 4.1	60	11	3 4.1	56	7	11 14.9	64	5	5 6.8

(４) 基本健康診査（生保等）（年齢階級別）

単位：人、％

単位：人、%																																					
項目	受診者			総合判定				BMI				腹囲		血圧			血糖				尿糖			ヘモグロビンA1c			尿蛋白										
	男	女	計	A1 %	A2 %	B %	C %	正常	低 値	高 値	%	正常	高 値	%	正常	境界 値	高 値	%	正常	境界 値	低 値	高 値	%	正常	弱 陽性	陽性	%	正常	境界 値	高 値	%	正常	弱 陽性	陽性	%		
40～44	0	1	1	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0	0	1 100.0	%	0	1 100.0	%	0	0	1 100.0	%	1	0	0 0.0	0	0	0.0	1	0	0 0.0	0	0	1 100.0	0	0	0 0.0	1	0	0 0.0	0
45～49	0	0	0																																		
50～54	1	2	3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 100.0	1	0	2 66.7	%	2	1 33.3	%	3	0	0 0.0	%	3	0	0 0.0	0	0	0.0	3	0	0 0.0	3	0	0 0.0	3	0	0 0.0	3	0	0 0.0	0
55～59	0	0	0																																		
60～64	2	1	3	0 0.0	0 0.0	2 66.7	1 33.3	2	0	1 33.3	%	1	2 66.7	%	0	1	2 66.7	%	2	1	0 0.0	0	0	0.0	2	0	1 33.3	1	1	2 50.0	3	0	0 0.0	0	0	0.0	0
65～69	2	2	4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 100.0	3	0	1 25.0	%	3	1 25.0	%	2	0	2 50.0	%	2	0	0 0.0	2	0	50.0	3	0	1 25.0	1	1	2 50.0	3	0	1 25.0	0	0	0.0	0
70～74	0	1	1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0	1	0 0.0	%	1	0 0.0	%	0	1	0 0.0	%	1	0	0 0.0	0	0	0.0	1	0	0 0.0	0	1	0 0.0	1	0	0 0.0	1	0	0 0.0	0
75～79	2	4	6	0 0.0	1 16.7	4 66.7	1 16.7	3	2	1 16.7	%	1	0 0.0	%	3	1	2 33.3	%	6	0	0 0.0	0	0	0.0	6	0	0 0.0	0	6	0 0.0	6	0	0 0.0	6	0	0 0.0	0
80歳以上	0	2	2	0 0.0	0 0.0	1 50.0	1 50.0	1	0	1 50.0	%	対象外		%	2	0	0 0.0	%	2	0	0 0.0	0	0	0.0	2	0	0 0.0	1	1	0 0.0	2	0	0 0.0	0	0	0.0	0
合 計	7	13	20	0 0.0	1 5.0	8 40.0	11 55.0	10	3	7 35.0	%	8	5 38.5	%	10	3	7 35.0	%	17	1	0 10.0	2	10	10.0	18	0	2 10.0	6	11	3 15.0	19	0	1 5.0	0	0	0.0	0

単位：人、％

項目	HDLコレステロール				LDLコレステロール				中性脂肪				肝 機 能 検 査												ヘモグロビン(貧血)				心電図			眼底				クレアチニン												
	正常	境界	低	値	正常	境界	低	値	正常	境界	低	値	正常	境界	高	値	正常	境界	高	値	正常	境界	高	値	正常	境界	高	値	正常	境界	高	値	正常	境界	高	値												
	値	値	値	%	値	値	値	%	値	値	値	%	値	値	値	%	値	値	値	%	値	値	値	%	値	値	値	%	値	値	値	%	値	値	値	%												
40～44	1	0	0	0.0	0	1	0	0	0	0.0	1	0	0	0	0.0	1	0	0	0	0.0	1	0	0	0	0.0	0	1	0	0	0.0	1	0	0	0.0	1	0	0	0.0	0	1	0	0	0.0					
45～49																																																
50～54	3	0	0	0.0	2	0	0	0	0.0	33.3	3	0	0	0	0.0	3	0	0	0	0.0	3	0	0	0	0.0	1	0	0	2	66.7	2	1	0	0.0	2	1	0	0.0	0	3	0	0	0.0					
55～59																																																
60～64	3	0	0	0.0	3	0	0	0	0.0	0.0	2	1	0	0	0.0	3	0	0	0	0.0	2	1	0	0	0.0	2	1	0	0	0.0	3	0	0	0.0	1	1	1	33.3	0	2	1	0	0.0					
65～69	4	0	0	0.0	3	0	0	0.0	1	25.0	3	1	0	0	0.0	3	1	0	0	0.0	3	1	0	0	0.0	1	3	0	0	0.0	2	2	0	0.0	2	1	1	25.0	0	4	0	0	0.0					
70～74	1	0	0	0.0	1	0	0	0	0.0	0.0	1	0	0	0	0.0	0	0	1	0	0.0	0	0	1	0	1	25.0	1	0	0	0	0.0	1	0	0	0.0	1	0	0	0.0	0	1	0	0	0.0				
75～79	6	0	0	0.0	3	2	0	0	1	16.7	4	2	0	0	0.0	6	0	0	0	0.0	5	1	0	0	0.0	6	0	0	0	0.0	1	0	0	0.0	0	1	0	0	0.0	1	0	0	0.0	0	1	0	0	0.0
80歳以上	1	0	1	50.0	0	0	1	50.0	1	50.0	1	1	0	0	0.0	2	0	0	0	0.0	2	0	0	0	0.0	2	0	0	0	0.0																		
合 計	19	0	1	5.0	12	3	1	5.0	4	20.0	15	5	0	0	0.0	18	1	1	5.0	17	2	1	5.0	18	1	1	5.0	6	5	0	2	15.4	9	4	0	0	8	3	2	15.4	0	12	1	0	0.0			

※年齢起算日：令和7年3月31日
※判定基準は、岩手県予防医学協会の基準値によるもの

Ⅲ 保健事業の報告－2

2 成人検診事業

(5) 成人歯科健康診査

単位：人、本、%

年 齢	受診者数	歯磨きの回数/日				歯の状況 (平均本数)				歯周疾患の状況 ※新C P I 基準による判定(H29以降の基準)										結 果							
		1 3 回 以上	2 2 回	3 1 回	4 磨 か な い	現 存 歯 数	喪 失 歯 数	歯肉出血(BOP)				歯周ポケット(PD)															
								0 健 全	1 出 血 あ り	9 除 外 歯	X 該 当 す る 歯 な し	0 健 全	1 4 ～ 5 mm に 達 す る ポ ケ ット	2 6 mm を 超 え る ポ ケ ット	9 除 外 歯	X 該 当 す る 歯 な し	健康	良好な状態 (定期的な健康診査の勧め)	要受診	う 歯 あ り	歯 槽 膿 漏 あ り	欠 損 歯 あ り	義 歯 不 調				
20	2	1	1	0	0	31.0	31.0	0.0	0.0	0.0	1	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0
30	3	0	3	0	0	29.0	15.0	13.3	0.7	0.0	2	1	0	0	1	1	1	0	0	0	0	1	2	2	1	0	0
40	6	3	3	0	0	28.0	17.0	9.5	1.5	1.3	3	3	0	0	5	1	0	0	0	0	0	4	2	2	0	0	0
50	12	5	7	0	0	27.7	13.1	13.9	0.7	1.1	6	6	0	0	10	2	0	0	0	0	0	3	9	3	8	0	0
60	3	1	2	0	0	28.3	8.3	20.0	0.0	0.7	2	1	0	0	2	1	0	0	0	0	0	1	2	0	2	0	0
70	34	12	20	2	0	22.0	7.1	13.8	1.0	6.6	9	25	0	0	8	21	5	0	0	0	0	11	23	5	19	4	0
合計	60	22	36	2	0	24.7	10.6	13.2	0.9	4.1	23	37	0	0	28	26	6	0	0	0	0	22	38	12	30	4	0
割合		36.7	60.0	3.3	0.0						38.3	61.7	0.0	0.0	46.7	43.3	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	36.7	63.3	20.0	50.0	6.7	0.0

※重複あり

R5年度分(参考)

合計	75	27	43	5	0	27.8	14.4	13.0	0.7	0.7	23	67	0	0	25	56	8	0	0	2	30	43	19	29	1	1
割合		36.0	57.3	6.7	0.0						30.7	89.3	0.0	0.0	33.3	74.7	10.7	0.0	0.0	2.7	40.0	57.3	25.3	38.7	1.3	1.3

Ⅲ 保健事業の報告－2

2 成人検診事業

(6) 胃がん検診（年齢階級別）

単位：人、％

項目	対象者	一次検診														精密検査結果						
		受診者	検診結果													精密検査受診者	精密検査受診率	診断名			精密検査未受診者	
			異常なし			要経過観察			要精密検査			その他			異常なし			胃がん	その他			
			男	女		男	女		男	女		男	女							男		女
40～44歳	1,961	45	14	31	39	13	26	6	1	5	0	0	0	0	0	0	—	—	—	—	—	—
45～49歳	2,216	54	16	38	43	13	30	11	3	8	0	0	0	0	0	0	—	—	—	—	—	—
50～54歳	2,361	72	16	56	56	14	42	15	1	14	1	1	0	0	0	0	1	100.0	1	0	0	0
55～59歳	2,183	87	28	59	72	20	52	14	8	6	1	0	1	0	0	0	1	100.0	0	0	1	0
60～64歳	2,308	128	36	92	104	28	76	20	7	13	4	1	3	0	0	0	3	75.0	0	0	3	1
65～69歳	2,308	215	99	116	160	72	88	48	23	25	7	4	3	0	0	0	6	85.7	3	0	3	1
70～74歳	2,458	327	134	193	210	92	118	105	37	68	11	5	6	1	0	1	11	100.0	2	2	7	0
75歳以上	5,725	330	188	142	233	130	103	92	56	36	5	2	3	0	0	0	5	100.0	1	0	4	0
合計	21,520	1,258	531	727	917	382	535	311	136	175	29	13	16	1	0	1	27		7	2	18	2
割合		5.8	5.3	6.3	72.9	71.9	73.6	24.7	25.6	24.1	2.3	2.4	2.2				93.1		25.9	7.4	66.7	6.9
R5年度合計	21,515	1,239	518	721	922	386	536	270	114	156	41	15	26	6	3	3	39		4	1	34	2
R5年度割合		5.8	5.2	6.3	74.4	74.5	74.3	21.8	22.0	21.6	3.3	2.9	3.6				95.1		10.3	2.6	87.2	5.1

※精密検査者は、胃内視鏡の精密に限る。その他の精密検査は含まない。

Ⅲ 保健事業の報告－2

2 成人検診事業

(7) 肺がん検診（年齢階級別）

単位：人、%

項目	対象者	一次検診（胸部X線検査）																	
		受診者		判定															
				A			B			C			D			E			
				再検査			異常なし			要精密検査不			精密検査			がんの疑い			
				男	女		男	女		男	女		男	女		男	女		男
40～44歳	1,961	108	34	74	0	0	0	103	33	70	0	0	0	1	0	1	4	1	3
45～49歳	2,216	96	41	55	0	0	0	94	40	54	0	0	0	2	1	1	0	0	0
50～54歳	2,361	108	32	76	0	0	0	99	29	70	2	0	2	1	0	1	6	3	3
55～59歳	2,183	137	41	96	0	0	0	131	36	95	2	1	1	0	0	0	4	4	0
60～64歳	2,308	252	84	168	0	0	0	239	79	160	8	4	4	2	0	2	3	1	2
65～69歳	2,308	40	29	11	0	0	0	38	28	10	1	1	0	0	0	0	1	0	1
70～74歳	2,458	34	23	11	0	0	0	33	22	11	0	0	0	1	1	0	0	0	0
75歳以上	5,725	29	21	8	0	0	0	27	19	8	1	1	0	1	1	0	0	0	0
合計	21,520	804	305	499	0	0	0	764	286	478	14	7	7	8	3	5	18	9	9
割合		3.7	3.0	4.3	0.0	0.0	0.0	95.0	93.8	95.8	1.7	2.3	1.4	1.0	1.0	1.0	2.2	3.0	1.8
R5年度合計	21,515	3,457	1,379	2,078	0	0	0	3,155	1,224	1,931	195	17	85	33	17	16	74	28	46
R5年度割合		16.1	13.8	18.0	0.0	0.0	0.0	91.3	88.8	92.9	5.6	1.2	4.1	1.0	1.2	0.8	2.1	2.0	2.2

区分	所 見	指導区分
A	読影不能	再撮影
B	異常所見を認めない	定期検診
C	異常所見を認めるが精査を必要としない	
D	異常所見を認めるが肺がん以外の疾患が考えられる	精密検査
E	肺がんの疑い	

単位：人、%

項目	一次検診（喀痰検査）																	
	受診者		判定															
			A			B			C			D			E			
男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女			
40～44歳																		
45～49歳							対象外											
50～54歳	1	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0		
55～59歳	5	4	1	1	1	0	4	3	1	0	0	0	0	0	0	0		
60～64歳	4	3	1	0	0	0	4	3	1	0	0	0	0	0	0	0		
65～69歳	13	12	1	0	0	0	13	12	1	0	0	0	0	0	0	0		
70～74歳	6	5	1	2	2	0	4	3	1	0	0	0	0	0	0	0		
75歳以上	13	13	0	0	0	0	13	13	0	0	0	0	0	0	0	0		
合計	42	37	5	3	3	0	39	34	5	0	0	0	0	0	0	0		
割合	5.2	12.1	1.0	7.1	8.1	0.0	92.9	91.9	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
R5年度合計	32	25	7	3	1	2	29	24	5	0	0	0	0	0	0	0		
R5年度割合	0.9	1.8	0.3	9.4	4.0	28.6	90.6	96.0	71.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

区分	所 見	指導区分
A	喀痰中に組織球を認めない	材料不適・再検査
B	正常上皮細胞のみ、基底細胞増生、絨毛円柱上皮増生、細胞異形軽度の扁平上皮化生	定期検診
C	細胞異形中程度の扁平上皮化生または核の増大や濃染を伴う円形上皮化生	3～6カ月後に再検査
D	細胞異形高程度の扁平上皮化生または悪性腫瘍の疑いのある細胞を認める	ただちに精密検査
E	悪性腫瘍細胞を認める	

※集団検診の集計のみ、人間ドックのデータは含まない

※65歳以上の者は肺がん検診か結核検診のどちらか一方を選択して受診するため、対象者が重複する。

単位：人、%

精密検査（対象者D、E）									
受診者	所見					未把握者	未受診者		
	異常なし	肺がん	肺がん（疑）	結核	その他				
5	3	0	0	0	2	0	0		
2	1	0	0	0	1	0	0		
6	4	0	0	0	2	1	0		
3	3	0	0	0	0	1	0		
5	2	0	0	0	3	0	0		
1	0	0	0	0	1	0	0		
1	0	0	1	0	0	0	0		
1	0	0	0	0	1	0	0		
24	13	0	1	0	10	2	0		
92.3	50.0	0.0	3.8	0.0	38.5	7.7	0.0		
93	29	4	4	0	56	11	3		
86.9	27.1	3.7	3.7	0.0	52.3	10.3	2.8		

Ⅲ 保健事業の報告－2

2 成人検診事業

(8) 大腸がん検診（年齢階級別）

単位：人、%

項目	対象者	受診者			一次検診							精密検査					
					異常なし			要精密検査			判定不能	受診者	所見			未把握	未受診者
													異常なし	大腸がん	その他		
			男	女		男	女		男	女							
40～44歳	1,961	109	31	78	103	29	74	5	2	3	1	2	0	0	2	2	1
45～49歳	2,216	97	38	59	90	36	54	7	2	5	0	4	0	1	3	2	1
50～54歳	2,361	130	34	96	126	33	93	4	1	3	0	3	0	0	3	0	1
55～59歳	2,183	154	46	108	150	45	105	3	1	2	1	3	1	0	2	0	0
60～64歳	2,308	272	87	185	260	81	179	11	5	6	1	7	2	1	4	2	2
65～69歳	2,308	411	157	254	391	141	250	20	16	4	0	16	1	1	14	3	1
70～74歳	2,458	721	273	448	676	254	422	44	18	26	1	38	11	2	24	4	3
75歳以上	5,725	1,097	512	585	1,023	463	560	74	49	25	0	59	8	1	47	16	2
合計	21,520	2,991	1,178	1,813	2,819	1,082	1,737	168	94	74	4	128	23	6	99	29	11
割合		13.9	11.8	15.7	94.2	91.9	95.8	5.6	8.0	4.1	0.1	76.2	18.0	4.7	77.3	22.7	6.5
R5年度合計	21,515	2,833	1,128	1,705	2,700	1,055	1,645	131	71	60	2	108	30	6	72	16	7
R5年度割合		13.2	11.3	14.8	95.3	93.5	96.5	4.6	6.3	3.5	0.1	82.4	27.8	5.6	66.7	14.8	5.3

※ 判定不能：便潜血検査は2日分の検便により結果が出る。判定不能者は検便一日分のみ提出した者。

※ 未把握：医療受診はしたが、本人の意思または医師の判断で精密検査を行わない場合。
又は、受診状況が確認できなかった場合。

(9) 前立腺がん検診（年齢階級別）

単位：人、%

項目	対象者	受診者	一次検診			精密検査						
			異常なし	軽度上昇	高値 (精密検査)	受診者	所見				未把握	未受診者
							異常なし	前立腺がん	前立腺肥大症	その他		
50～54歳	1,194	20	20	0	0	—	—	—	—	—	—	—
55～59歳	1,051	30	29	1	0	—	—	—	—	—	—	—
60～64歳	1,147	48	43	3	2	2	1	0	1	0	0	0
65～69歳	1,130	104	98	5	1	1	0	0	1	0	0	0
70～74歳	1,148	142	128	5	9	5	0	1	1	3	2	2
75歳以上	2,208	252	225	14	13	10	1	4	2	3	2	1
合計	7,878	596	543	28	25	18	2	5	5	6	4	3
割合		7.6	91.1	4.7	4.2	72.0	11.1	27.8	27.8	33.3	16.0	12.0
R5年度合計	7,836	616	553	34	29	21	3	6	5	7	2	6
R5年度割合		7.9	89.8	5.5	4.7	72.4	14.3	28.6	23.8	33.3	6.9	20.7

※対象者は50歳以上の男性

Ⅲ 保健事業の報告－2

2 成人検診事業

(10) 子宮頸がん検診（年齢階級別）

単位：人、％

項目	対象者	奇数歳受診者	総受診者	一次検診										精密検査							
				細胞診検査結果（ベセスダシステム）										受診者	所見				未把握	未受診者	
				異常なし	要精密検査										異常なし	がん	異形成	その他			
					①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨								
				N I L M	A S C ' U S	A S C ' H	L S I L	H S I L	S C C	A G C	A I S	A d e n o c a	O t h e r	計							
20～24歳	533	19	19	18			1							1	0				1	0	
25～29歳	550	40	40	39			1							1	1			1	0	0	
30～34歳	773	42	43	42				1						1	1			1	0	0	
35～39歳	865	105	105	103	1		1							2	2	1			1	0	0
40～44歳	939	70	72	71				1						1	1	1				0	0
45～49歳	1,110	115	115	112			3							3	3	2		1		0	0
50～54歳	1,167	94	97	96			1							1	1			1		0	0
55～59歳	1,132	131	133	131	1					1				2	2	1		1		0	0
60～64歳	1,161	118	119	119										0	-	-	-	-	-	-	-
65～69歳	1,178	137	139	138	1									1	1				1	0	0
70～74歳	1,310	98	101	101										0	-	-	-	-	-	-	-
75歳以上	3,517	90	92	92										0	-	-	-	-	-	-	-
合計	14,235	1,059	1,075	1,062	3	0	7	2	0	1	0	0	0	13	12	5	0	5	2	1	0
割合			13.9	98.8										1.2	92.3	41.7	0.0	41.7	16.7	7.7	0.0

R5年度合計	14,316	899	908	895	5	0	4	3	0	1	0	0	0	13	10	2	1	6	1	3	0
R5年度割合			13.7	98.6										1.4	76.9	20.0	10.0	60.0	10.0	23.1	0.0

(11) 乳がん検診（年齢階級別）

単位：人、％

単位：人、%

項目	対象者	奇数歳受診者	総受診者	一次検診			精密検査					
				異常なし	要経過観察	要精密検査	受診者	所見			未把握	未受診者
								異常なし	乳がん	その他		
40～44歳	939	87	89	87	0	2	1			1	1	0
45～49歳	1,110	145	145	143	0	2	1			1	1	0
50～54歳	1,167	109	113	111	0	2	2			2	0	0
55～59歳	1,132	160	164	162	0	2	2		1	1	0	0
60～64歳	1,161	122	124	120	0	4	3		2	1	1	0
65～69歳	1,178	162	164	163	0	1	1	1			0	0
70～74歳	1,310	130	134	134	0	0	－	－	－	－	－	－
75歳以上	3,517	111	114	112	0	2	2		1	1	0	0
合計	11,514	1,026	1,047	1,032	0	15	12	1	4	7	3	0
割合			16.6	98.6	0.0	1.4	80.0	8.3	33.3	58.3	20.0	0.0

R5年度合計	11,521	857	866	853	0	13	12	2	3	7	1	0
R5年度割合			16.1	98.5	0.0	1.5	92.3	16.7	25.0	58.3	7.7	0.0

※対象者数はその年齢階級全人口を計上。子宮頸がん検診・乳がん検診は2年に1回の受診間隔のため、受診率は前年度総受診者数と当該年度総受診者数の合計から計算。（町では奇数歳の人に案内）

Ⅲ 保健事業の報告－ 2

2 成人検診事業

(12) 結核検診（年齢階級別）

単位：人、%

項目	対象者	一次検診（胸部X線検査）											精密検査						
		受診者			判定									受診者	所見			未把握	未受診者
					異常なし			要経過観察			要精密検査				異常なし	肺がん	その他		
男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	受診者	異常なし	肺がん	その他	未把握	未受診者				
65～69歳	2,308	555	199	356	540	193	347	0	0	0	15	6	9	12	2	2	8	1	2
70～74歳	2,458	908	354	554	893	344	549	1	0	1	14	10	4	12	1	1	10	1	1
75歳以上	5,725	1,292	581	711	1,263	565	698	1	1	0	28	15	13	25	6	1	18	2	1
合計	10,491	2,755	1,134	1,621	2,696	1,102	1,594	2	1	1	57	31	26	49	9	4	36	4	4
割合		26.3	25.3	27.0	97.9	97.2	98.3	0.1	0.1	0.1	2.1	2.7	1.6	86.0	18.4	8.2	73.5	7.0	7.0

※R5年度は40歳以上全員を肺がん検診として実施。R6年度から65歳以上は肺がん検診か結核検診のどちらか一方を選択して受診する。このため、本年度結核検診の対象者は、肺がん検診の65歳以上対象者と重複する。

Ⅲ 保健事業の報告－2

2 成人検診事業

(13) 骨粗鬆症検診（年齢階級別）

単位：人、％

項目	対象者	奇数歳受診者	一次検診				精密検査（※1）						
			総受診者	判定			精密検査受診者	所見				未把握	未受診
				a 異常なし	b 日常生活に注意	c 要受診		異常なし	骨粗鬆症	骨粗鬆症疑い	その他		
40～44歳	939	21	21	17	4	0	－	－	－	－	－	－	－
45～49歳	1,110	34	35	28	7	0	－	－	－	－	－	－	－
50～54歳	1,167	27	28	15	13	0	－	－	－	－	－	－	－
55～59歳	1,132	55	58	26	20	12	11	2	7	2	0	1	0
60～64歳	1,161	41	42	11	24	7	3	0	2	1	0	1	1
65～69歳	1,178	60	60	15	33	12	8	1	6	1	0	1	2
70歳以上	4,827	85	88	19	43	26	11	0	6	5	0	4	3
合計	11,514	323	332	131	144	57	33	3	21	9	0	7	6
割合			5.7	39.5	43.4	17.2	57.9	9.1	63.6	27.3	0.0	12.3	10.5
R5年度合計	11,521	317	322	173	131	18	6	0	6	2	0	2	1
R5年度割合			5.6	53.7	40.7	5.6	33.3	0.0	100.0	33.3	0.0	11.1	5.6

※1 精密検査人数は、紹介状が出た人のみ計上。（紹介状は初回のみしか出ず、今まで紹介状が出た人は、要受診者の対象だとしても紹介状は出ない。）

(14) 肝炎ウイルス検査実施状況

単位：人、％

年度	受診者数	C 型			B 型		
		陽性者数	感染者率		陽性者数	感染者率	
			紫波町	全国		紫波町	全国
H27	225	0	0.0	0.3	1	0.4	0.7
H28	242	0	0.0	0.3	0	0.0	0.6
H29	197	0	0.0	0.3	1	0.5	0.6
H30	230	2	0.9	0.3	2	0.8	0.6
R元	206	1	0.5	0.3	3	1.5	0.5
R2	57	0	0.0	0.3	0	0.0	0.5
R3	194	1	0.5	0.2	1	0.5	0.5
R4	99	0	0.0	0.2	1	1.0	0.5
R5	137	0	0.0	0.2	0	0.0	0.5
R6	149	0	0.0		2	1.3	
合計	1,736	4	0.2		11	0.6	

Ⅲ 保健事業の報告－2

3 栄養改善事業

(1) 食生活改善事業

① 栄養教室（食生活改善推進員養成講座）

場所：水分公民館

実施日	参加人数	内 容
7月24日（水）	4	①講義「紫波町における健康づくり実践」 「食生活改善推進員と地区組織活動」 ②調理実習「減塩の基本」
8月21日（水）	4	①講義「食生活の現状・栄養の基礎知識・調理の基本」 ②調理実習「主食・主菜・副菜をそろえたバランス食」
9月25日（水）	4	①講義「食品衛生と食中毒予防」 ②調理実習「旬の食材を使った食事」
10月17日（木）	4	①運動実技「筋力維持・向上に効果的な運動」 ②調理実習「フレイル予防の食事」
11月21日（木）	4	①講義「生活習慣病予防」 ②調理実習「紫波町の郷土料理」
12月18日（水）	4	①講義「食事バランスガイド・年代別の食育・生活習慣病予防」 ②調理実習「ハレの食事」
計	24	

② 地区普及講習会

〈年度毎の比較〉

年度	回数	参加者数
H27	29	524
H28	26	486
H29	25	461
H30	15	289
R元	17	295
R2	0	0
R3	6	103
R4	5	93
R5	7	110
R6	11	144

〈令和6年度地区別実施状況〉

地区	回数	参加者数
日 詰	2	26
古 館	0	0
水 分	2	28
志 和	4	54
赤 石	2	24
彦 部	0	0
佐比内	1	12
赤 沢	0	0
長 岡	0	0
合 計	11	144

③ 食べ方相談会（栄養相談）

実施日	参加者
令和6年7月19日	0
令和6年10月1日	3
令和6年12月6日	2



Ⅲ 保健事業の報告－2

3 栄養改善事業

(1) 食生活改善事業

④ 食育支援教室

ア 学童期の食教育（日詰小学校3年生）

実施日	内容	場所	参加人数
10月28日	資料提供 ①「卵の栄養について」 ②「調理上の注意点と衛生面について」 (橋本善太と卵に関することは授業で学ぶ機会を設けた)	日詰小学校	68

イ 離乳食教室

実施日	内容	場所	参加人数
年12回 (月1回)	1 月齢に合った離乳食について説明 ①7～8ヵ月頃の進め方 ②発達に合わせた食材（固さ、大きさ等） 2 試食 かつおだし、野菜だし、減塩味噌汁 3 離乳食実物展示 4 離乳食相談・情報交換	役場 はつらつ ホール	延19

ウ おやこの食育（幼児教室）

実施日	内容	場所	参加人数
12月4日	おやこで簡単おやつ作り ～トライフル～	しわっせ	2組

エ 食育講座（子育て応援センターしわっせ）

実施日	内容	場所	参加人数
6月6日	離乳食の進め方の講話、試食、相談	しわっせ	6組
11月26日	対象：8ヵ月～1歳6ヵ月のお子さんと保護者		9組

オ 子育て支援講座（ファミリーサポートセンター）

実施日	内容	場所	参加人数
7月12日	講話「子どもの栄養と食生活」	情報交流館 大スタジオ	6
2月14日	試食「だし汁、味噌汁の飲み比べ」		8

カ 学んで実践！かいご講座（長寿介護課）

実施日	内容	場所	参加人数
12月17日	講話「高齢者の栄養について」	情報交流館 大スタジオ	9

キ 紫波町母子寡婦福祉協会会員研修会

実施日	内容	場所	参加人数
2月17日	講話「いきいき食生活と簡単レシピ」	紫波町総合 福祉センター	12

ク 佐比内産地形成促進施設組合総会

実施日	内容	場所	参加人数
2月19日	講話「低栄養予防の食事」	ふる里レストラン ぶどうの樹	35

Ⅲ 保健事業の報告－2

3 栄養改善事業

(2) 地区組織活動支援事業

① 食生活改善推進員の活動支援

ア 健康食の普及（町広報誌、ホームページに掲載）

月	地区	献立	月	地区	献立
4	健康福祉課	春野菜スープ	10	古 館	里芋の和え物
5	長 岡	身欠きにしんと山菜の煮物	11	日 詰	鶏肉と高野豆腐のつくね
6	健康福祉課	夏野菜の焼き浸し	12	赤 石	野菜どっさり！おかずけんちん汁
7	赤 沢	彩り野菜とそうめんのさっぱりサラダ	1	水 分	鮭粕煮
8	佐比内	ずんだ白玉だんご	2	彦 部	切り干し大根の炊きこみご飯
9	志 和	芋ようかん	3	長 岡	春の香り♪ばっけピザ

イ いわて減塩・適塩の日キャンペーン事業

	内 容	場 所	配布数
10月19日 10月20日	①塩分クイズ ②減塩のポイント、減塩レシピ、啓発ティッシュの配布	サン・ビレッジ紫波	639

ウ 見える化で野菜摂取量70 g アップ促進事業

実施日	内 容	場 所	参加者
10月15日	測定体験学習	役場	13
10月17日	野菜摂取量測定、測定結果説明	水分公民館	8
10月19日 10月20日	野菜摂取量測定 測定結果説明 簡単野菜料理レシピと減塩調味料サンプルの配布	サン・ビレッジ紫波	639

エ ヘルスサポーター養成事業（高齢世代）

実施日	内 容	場 所	参加者
1 月 30 日	①講話「フレイル予防について」 ②家庭の汁物塩分測定 ③試食「低栄養予防、便秘予防、免疫力アップの食事」	赤沢公民館	19
2 月 3 日	①講話「フレイル予防」 ②家庭の汁物塩分測定	水分 南伝法寺公民館	10

Ⅲ 保健事業の報告-2

3 栄養改善事業

(2) 地区組織活動支援事業

② 食生活改善推進員の研修

ア 町

実施日	事業名	内容	場所	出席者
4月26日	会員研修会①	軽体操「楽しく動いて らくらく筋力アップ！」 講師 紫波町スポーツ推進委員 高橋 厚子 氏	役場 はつらつ ホール	36
9月12日 9月27日 10月3日	会員研修会②	調理実習「薬膳料理」 講師 紫波町食生活改善推進員協議会 会長 小澤 由香里 氏	古館公民館	10 16 14
年間	地区会員研修	・広報掲載レシピのメニュー検討会 ・ウォーキング ・料理講習会 など	各地区	203

イ 盛岡支部

実施日	事業名	内容	場所	出席者
6月11日	リーダー研修会	1 報告「能登半島地震支援を振り返って」 講師 岩手県県央保健所 上席栄養士 金谷明美 氏 2 講演「口腔ケアとフレイル対策について」 講師 岩手県保健福祉部健康国保課 医務主幹 柄内圭子 氏	盛岡地区 合同庁舎	5

ウ 岩手県

実施日	事業名	内容	場所	出席者
6月7日	市町村協議会 長等研修会	1 事業報告「『“見える化”で野菜摂取量70gアップ 促進事業』令和5年度実績報告」 講師 岩手県保健福祉部健康国保課 主任 坂下藤子 氏 2 講話「きのこで毎日を健康に!!きのこで菌活」 講師 ホクト株式会社宮城営業課 管理栄養士 有賀日南子 氏	プラザ おでって	2

エ 全国

8月27日 8月28日	令和7年度食生活改善推進員 リーダー 北海道・東北 ブロック研修会	1 講演「岩手県の健康づくりの取組について ～いつまでも笑って健康 手を取り合って～」 講師 岩手県健康国保課参事兼総括課長 日向秀樹 氏 2 講演「食生活改善推進員は“W二刀流” ～のばそう健康寿命 つなごう郷土の食～」 講師 一般社団法人日本食生活協会主幹 遠藤里子 氏 3 講演「よく噛んで楽しく食べて人生100年 地域ぐるみの食生活改善」 講師 岩手医科大学非常勤講師 歯科医師 田沢光正 氏 4 講演「食生活改善推進員に期待すること」 講師 一般社団法人日本食生活協会代表理事 宇都宮 啓 氏 5 事例発表 「私たちの地区組織活動」 岩手県田野畑村・北海道函館市・青森県平内町・山形県山形市 6 グループ討議	いわて県民 情報交流 センター (アイーナ)	2
----------------	--	--	---------------------------------	---

Ⅲ 保健事業の報告－ 2

5 予防接種事業

(1) 定期予防接種

種 別		R6年度対象者(人)		接種者(人)		接種率(%)	
結核 (BCG)		154		161		104.5	
麻しん・風しん	第1期	171		160(1)		93.6	
	第2期	286		276		96.5	
百日咳、ジフテリア、 破傷風、急性灰白髄炎、ヒブ (五種混合)	1回目	169		151		89.3	
	2回目			131		77.5	
	3回目			120		71.0	
	追加	188		35		18.6	
百日咳、ジフテリア、 破傷風、急性灰白髄炎 (四種混合)	第1期初回	0		1回目	1		
				2回目	11		
				3回目	33		
	追加	188		190		101.1	
ジフテリア、破傷風 (二種混合)		第2期	280		223		79.6
日本脳炎 (※1)	第1期初回	252		1回目	232	92.1	
				2回目	216	85.7	
	追加	224		217		96.9	
	第2期	小4	301	449		75.1	
		高3	297				
子宮頸がん (※2)	1回目	中1～高1：537 キャッチアップ：931 合計1,468		326		22.2	
	2回目			302		20.6	
	3回目			244		16.6	
ヒブ	初回	0		1回目	1		
				2回目	11		
				3回目	31		
	追加	188		127		67.6	
小児用肺炎球菌	初回	169		1回目	151	89.3	
				2回目	149	88.2	
				3回目	152	89.9	
	追加	188		168		89.4	
水痘	初回	171		159		93.0	
	追加	171		187		109.4	
B型肝炎	1回目	169		151		89.3	
	2回目			149		88.2	
	3回目			158(1)		93.5	
ロタ	ロタリックス	1回目	169		12	7.1	
		2回目			14	8.3	
	ロタテック	1回目			138	81.7	
		2回目			133	78.7	
		3回目			133	78.7	
高齢者インフルエンザ		10,488		5,649		53.9	
高齢者用肺炎球菌		459		111		24.2	
成人男性風しん第5期 (※3)	抗体検査	1,942		64		3.3	
	予防接種	106		15		14.2	

※1 日本脳炎2期：平成29年度から小学校4年生と高校3年生相当年齢の者に積極的勧奨通知している。
接種者数は2期として接種した人数の合計とする。

※2 子宮頸がん：平成25年6月14日より積極的勧奨を控えていたが、令和4年度から積極的勧奨を再開した。また、令和4年度から令和6年度までをキャッチアップ接種期間とし、積極的勧奨を控えていた期間に接種対象年齢を迎えていた対象者に対し、接種期間を再開し、接種を行っている。

※3 成人男性風しん第5期：抗体検査対象者は、令和元年度～令和5年度の未検査者合計。また、予防接種対象者数は、令和元年度～令和5年度に検査し要接種者と判定され未接種者だった者と、令和6年度に検査し要接種者と判定された者の合計（二重計上の者は除く）。

※4 () は長期に渡り療養を必要とする疾病に罹った者の接種者数である。

Ⅲ 保健事業の報告－ 2

5 予防接種事業

(2) 任意予防接種

事業名	対象者	接種者(人)
小児インフルエンザワクチン予防接種事業	0歳～中学3年生相当年齢	延3,570
おたふくかぜワクチン予防接種事業	1歳以上2歳未満	154
带状疱疹ワクチン予防接種事業 ※1	接種時に50歳以上	生ワクチン： 60 不活化1回目：232 不活化2回目： 303

※1 令和5年11月からの新規事業である。助成は一生に一度限りとする。

Ⅲ 保健事業の報告－２

７ 後期高齢者保健事業

（１）後期高齢者健康診査事業（年齢階級別）

単位：人、％

項目	対象者	受診者				総合判定				BMI				血圧				血糖				尿糖			ヘモグロビンA1c				尿蛋白									
		男	女	計		A1 %	A2 %	B %	C %	正常	低 値	高 値	%	正常	境界 値	高 値	%	正常	境界 値	低 値	高 値	%	正常	弱 陽性	陽性	%	正常	境界 値	高 値	%	正常	弱 陽性	陽性	%	判定 保留			
65～69	18	4	2	6	0	0.0	0	0.0	3	50.0	3	50.0	5	0	1	16.7	2	2	2	33.3	5	0	0	1	16.7	4	0	1	20.0	3	1	2	33.3	4	0	1	20.0	0
70～74	43	3	2	5	0	0.0	0	0.0	3	60.0	2	40.0	1	0	4	80.0	1	2	2	40.0	4	1	0	0	0.0	4	0	1	20.0	2	2	1	20.0	5	0	0	0.0	0
75～79	2,218	329	395	724	11	1.5	112	15.5	372	51.4	229	31.6	458	47	219	30.2	222	179	323	44.6	617	87	0	20	2.8	658	15	48	6.7	249	402	73	10.1	658	28	35	4.9	0
80歳以上	3,442	278	312	590	19	3.2	81	13.7	301	51.0	189	32.0	392	35	163	27.6	165	153	272	46.1	490	78	0	22	3.7	531	8	46	7.9	201	331	58	9.8	525	25	35	6.0	0
合計	5,721	614	711	1,325	30	2.3	193	14.6	679	51.2	423	31.9	856	82	387	29.2	390	336	599	45.2	1,116	166	0	43	3.2	1,197	23	96	7.3	455	736	134	10.1	1,192	53	71	5.4	0
前年度合計	5,609	562	634	1,196	33	2.8	180	15.1	625	52.3	358	29.9	768	58	370	30.9	408	299	489	40.9	997	166	1	31	2.6	1,098	14	80	6.7	424	646	125	10.5	1,074	59	59	4.9	0

単位：人、％

項目	HDLコレステロール				LDLコレステロール				中性脂肪				肝機能検査														
													AST				ALT				γ-GTP						
	正常	境界値	低値	%	正常	境界値	低値	%	高値	%	正常	境界値	低値	高値	%	正常	境界値	高値	%	正常	境界値	高値	%				
65～69	5	1	0	0.0	4	1	0	0.0	16.7		4	2	0	0	0.0	4	2	0	0.0	4	2	0	0.0	5	1	0	0.0
70～74	5	0	0	0.0	1	2	0	0.0	20.0		4	0	0	1	20.0	5	0	0	0.0	5	0	0	0.0	4	0	1	20.0
75～79	701	17	6	0.8	428	162	11	1.5	17.0		573	134	0	17	2.3	613	103	8	1.1	656	59	9	1.2	630	76	18	2.5
80歳以上	572	14	4	0.7	357	127	11	1.9	16.1		490	93	0	7	1.2	502	78	10	1.7	550	35	5	0.8	531	43	16	2.7
合計	1,283	32	10	0.8	790	292	22	1.7	16.7		1,071	229	0	25	1.9	1,124	183	18	1.4	1,215	96	14	1.1	1,170	120	35	2.6
前年度合計	1,151	30	14	1.2	726	267	18	1.5	15.4		951	196	0	48	4.0	1,059	118	18	1.5	1,107	73	15	1.3	1,074	86	35	2.9

※年齢起算日：令和7年3月31日

※判定基準は、岩手県予防医学協会の基準値によるもの

※対象者は令和7年4月1日現在の被保険者数（岩手県後期高齢者医療広域連合保健事業の概要（令和6年度実績）より）

(2) 後期高齢者歯科健康診査

対象者数 501 人 受診者数 58 人 (受診率11.6%)

項目	内 容	人数(人)	割合(%)
問 診	半年前の比べて固いものが食べにくい	20	34.5
	お茶や汁物でむせることがある	11	19.0
	口の渴きが気になる	16	27.6
	1日2回以上歯をみがいている	47	81.0
	歯間ブラシ又は糸ようじ(フロス)を使っている	40	69.0
	入れ歯を使っている	25	43.1
	左右の奥歯をしっかり噛みしめられる	38	65.5
	かかりつけ歯科医院がある	55	94.8
	年に1回は歯科健診を受けている	41	70.7
	現在、歯や口の状態で気になることがある	30	51.7
	(内容)複数回答		
	噛み具合	9	30.0
健 診 結 果	歯ぐきや歯の痛み	8	26.7
	口臭	4	13.3
	入れ歯の具合	5	16.7
	その他	5	16.7
	歯の本数	0本	2 3.4
		1～10本	5 8.6
		11～20本	12 20.7
		21本以上	39 67.2
		平均本数	20.7
	口腔清掃の状況	良好	15 25.9
		普通	38 65.5
		不良	5 8.6
	歯ぐきの状況	良好	25 43.1
		不良	33 56.9
		(内容)複数回答	
		歯 石	24 72.7
		腫 脹	11 33.3
	粘膜の状況	動 揺	10 30.3
		良好	55 94.8
		不良	2 3.4
		未記入	1 1.7
	入れ歯の状況	使用なし	37 63.8
		使用	21 36.2
		(使用状態)	
		良 好	11 52.4
		不 良	8 38.1
	総合判定(複数回答)	未記入	2 9.5
		飲み込みに問題あり	2 3.4
		所見あり	3 5.2
		(内容)	
	その他の所見	歯列咬合	0 0.0
		顎関節	2 3.4
		その他	1 1.7
	総合判定(複数回答)	良好	21 36.2
		要検査	5 8.6
		むし歯・歯ぐきの治療必要	24 41.4
		入れ歯・ブリッジの治療必要	12 20.7

※ 対象者は、年度内に76歳になる方

IV 保健活動の参考資料【事業資料】

【資料】

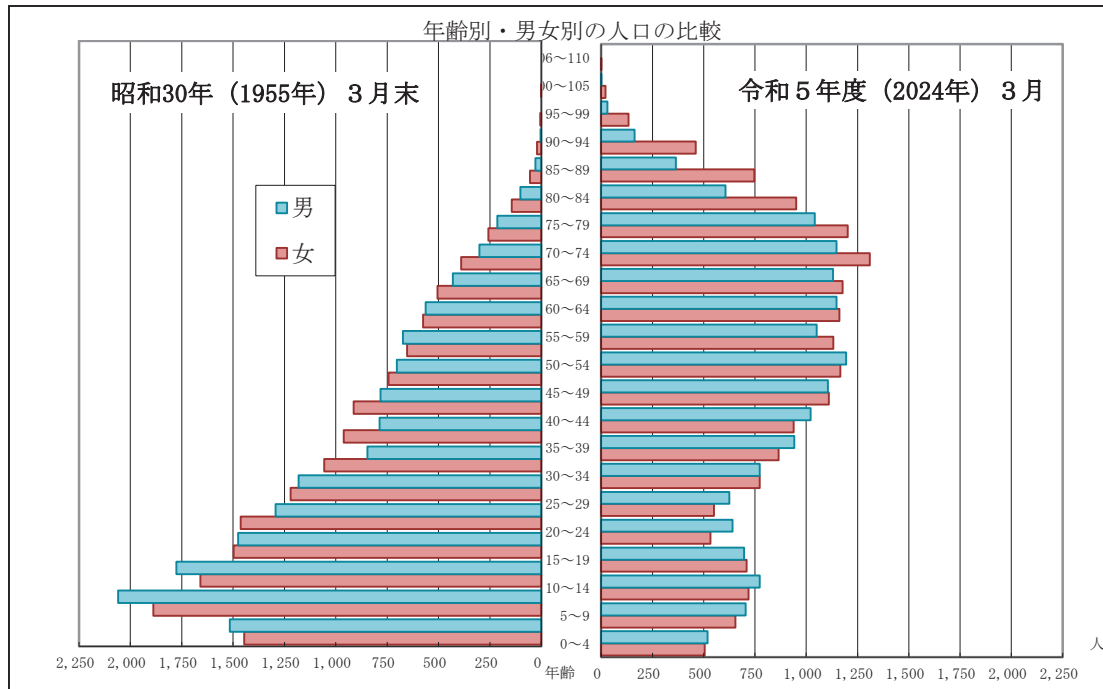
1 人口動態

(1) 人口

① 人口の推移（各年度3月末）

単位：人

	昭和				平成		令和
	30	40	50	60	7	17	6
0～14歳	10,346	6,042	5,581	5,582	5,587	5,159	3,876
15～64歳	18,328	18,422	18,476	19,092	20,586	22,096	18,136
65歳～	1,525	1,968	2,663	3,750	5,439	7,397	10,491
計	30,199	26,432	26,720	28,424	31,612	34,652	32,503
高齢化率（%）	5.05	7.45	9.97	13.19	17.21	21.35	32.28



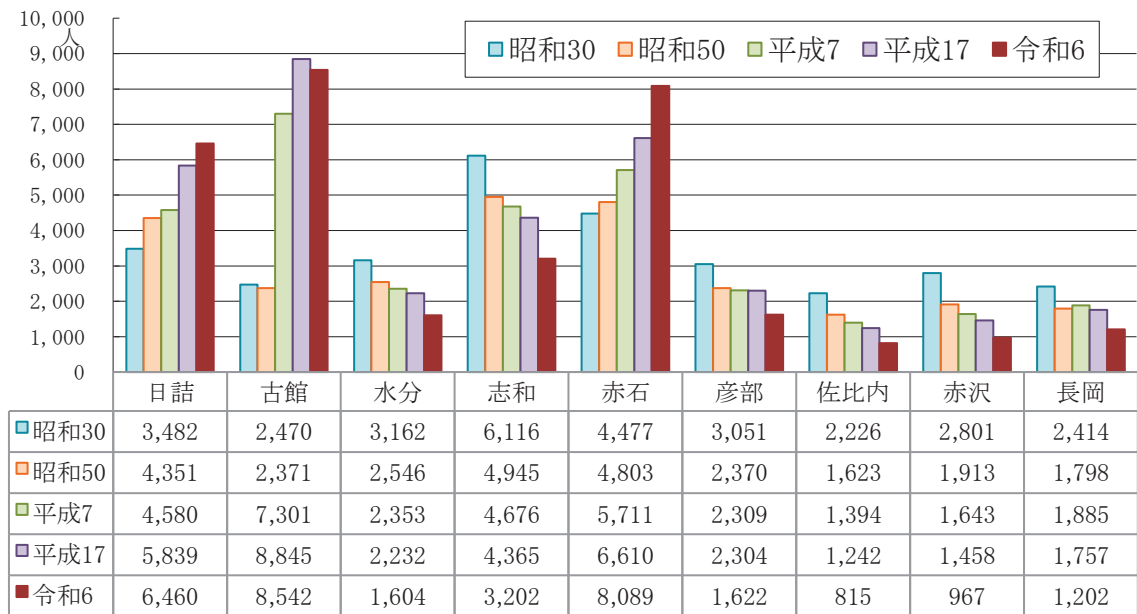
（紫波町住民基本台帳）

② 地区別・年齢区分別人口（令和7年3月末）

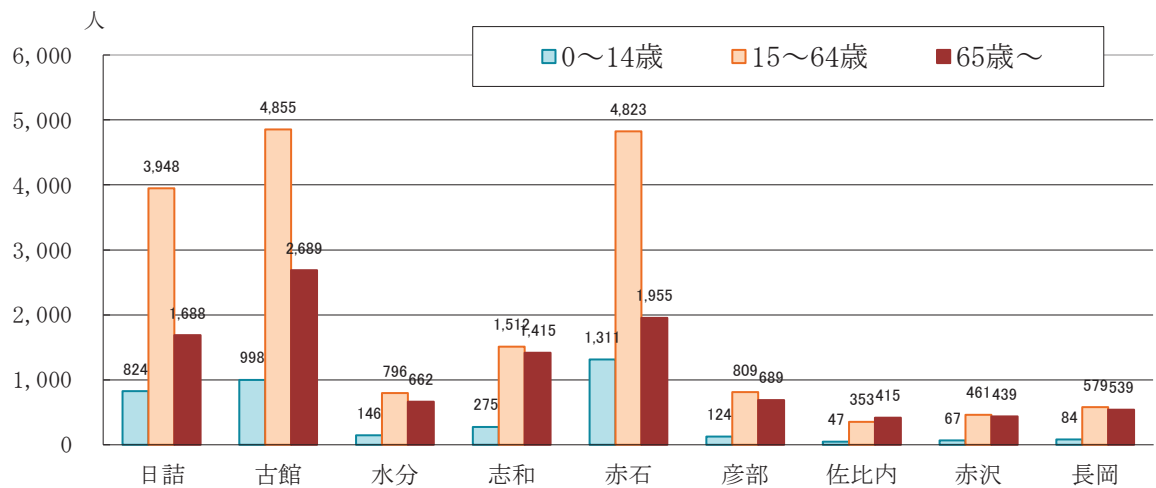
単位：人

	日詰	古館	水分	志和	赤石	彦部	佐比内	赤沢	長岡	計		
										男	女	区分計
0～4	191	240	28	51	445	29	8	11	21	1,024	519	505
5～9	287	336	53	88	483	39	20	26	27	1,359	704	655
10～14	346	422	65	136	383	56	19	30	36	1,493	774	719
15～19	355	363	65	95	363	60	23	33	49	1,406	697	709
20～24	297	306	54	87	291	48	21	29	40	1,173	640	533
25～29	284	276	30	77	400	38	16	30	24	1,175	625	550
30～34	282	392	58	96	598	48	18	26	29	1,547	774	773
35～39	338	481	58	127	614	74	24	35	55	1,806	941	865
40～44	401	501	88	183	570	72	46	48	52	1,961	1022	939
45～49	517	540	108	217	545	104	47	53	85	2,216	1106	1110
50～54	551	646	115	219	540	94	47	68	81	2,361	1194	1167
55～59	501	625	103	186	448	129	47	70	74	2,183	1051	1132
60～64	422	725	117	225	454	142	64	69	90	2,308	1147	1161
65～69	354	702	119	290	448	129	80	97	89	2,308	1130	1178
70～74	362	675	155	305	453	167	99	109	133	2,458	1148	1310
75～79	364	555	144	298	431	141	99	88	124	2,244	1042	1202
80～84	312	370	97	218	257	111	54	65	74	1,558	607	951
85～89	171	249	79	170	209	73	48	50	61	1,110	364	746
90～94	100	115	61	94	112	52	23	19	49	625	163	462
95～99	17	20	7	35	41	14	12	11	8	165	31	134
100～105	7	3		5	4	2			1	22	1	21
106～	1									1	0	1
計	6,460	8,542	1,576	3,202	8,089	1,622	815	967	1,202	32,503	15,680	16,823
高齢化率	20.65%	23.26%	34.45%	35.13%	18.63%	34.53%	41.10%	35.37%	37.44%	25.18%	21.40%	28.69%

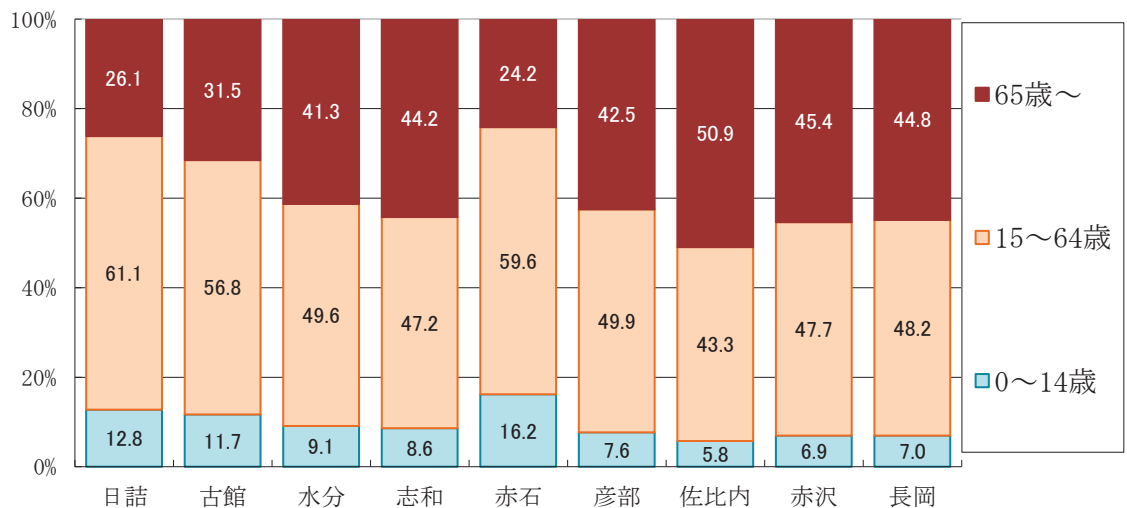
③ 地区別人口の推移（各年度3月末）



④ 地区別・年齢3区分別人口（令和7年3月末）



⑤ 地区別・年齢3区分別人口の構成比（令和7年3月末）



【資料】

1 人口動態

(2) 出生

① 年次別出生数

年	出生数 (人)	乳児死亡		低出生体重児※1		合計特殊 出生率 ※2
		死亡数(人)	死亡率(%) 千人当たり死亡数	出生数(人)	率(%)	
S30	574	34	59.2	—	—	—
S35	424	15	35.4	25	5.9	—
S40	370	7	18.9	7	1.9	—
S45	351	5	14.2	12	3.4	—
S50	389	6	15.4	25	6.4	—
S55	372	5	13.4	17	4.6	—
S60	353	1	2.8	18	5.1	2.06
H 7	240	0	0.0	8	3.3	1.55
H12	267	2	7.5	25	9.4	1.32
H19	227	0	0.0	17	7.5	1.40
H20	245	2	8.2	11	4.5	1.39
H21	228	0	0.0	19	8.3	1.41
H22	229	0	0.0	25	10.9	1.36
H23	227	2	8.8	15	6.6	1.36
H24	218	1	4.6	16	7.3	1.37
H25	225	1	4.4	16	7.1	1.39
H26	217	0	0.0	15	6.9	1.43
H27	212	2	9.4	18	8.5	1.44
H28	198	0	0.0	16	8.1	1.46
H29	210	0	0.0	15	7.1	1.51
H30	188	0	0.0	19	10.1	1.48
R元	178	0	0.0	17	9.6	1.47
R 2	181	0	0.0	14	7.7	1.35
R 3	194	3	15.5	11	5.7	1.37
R 4	193	0	0.0	18	9.3	1.38
R 5	188	0	0.0	9	4.8	1.42
R 6	155	0	0.0	11	7.1	

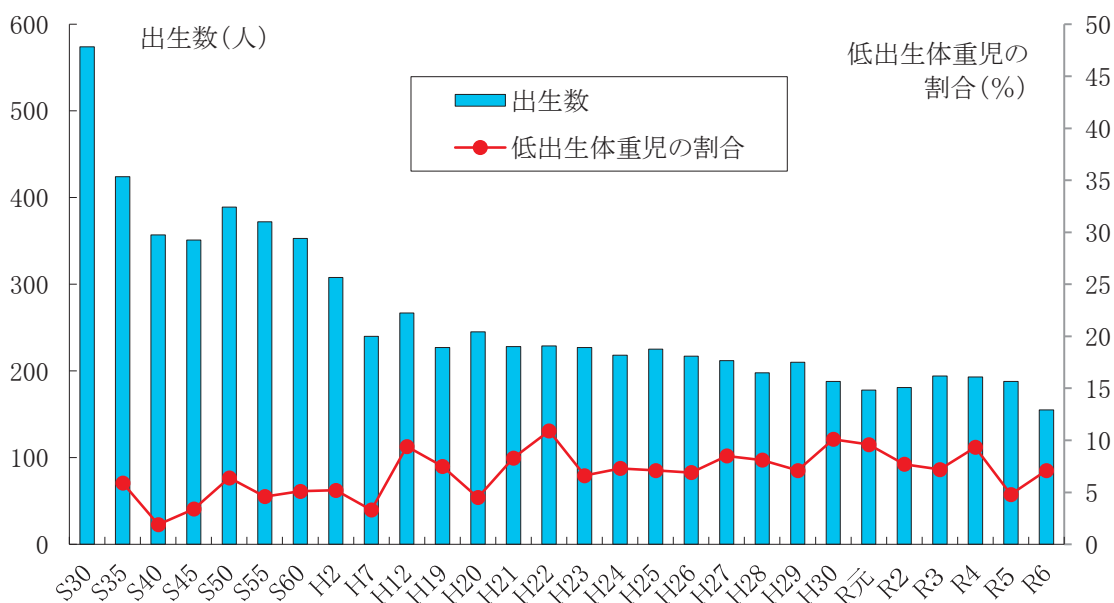
(資料 出生数：紫波町住民基本台帳)

※1 低出生体重児＝出生時体重が2,500g未満の乳児

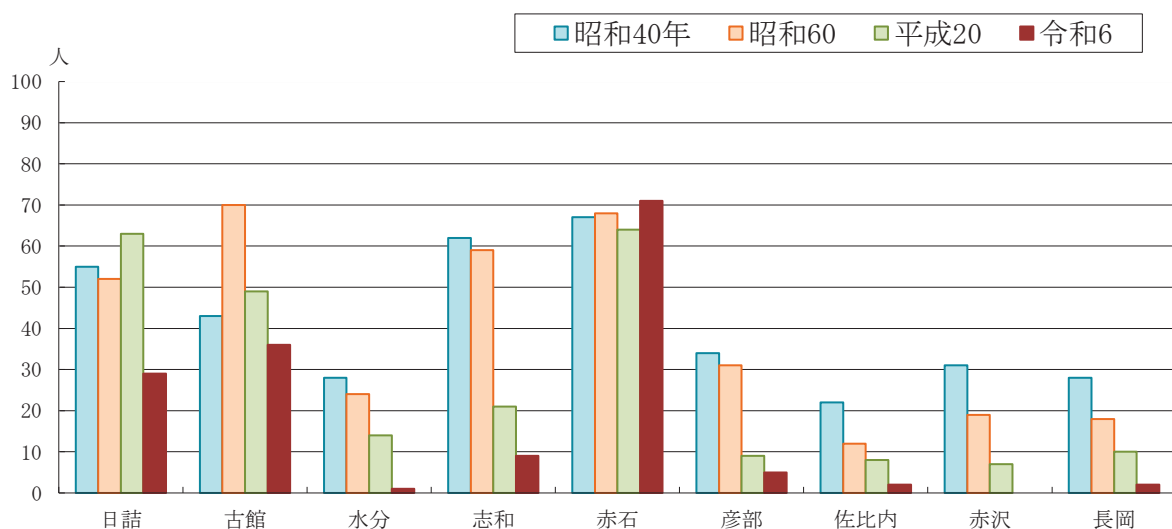
※2 合計特殊出生率＝15歳から49歳までの女性の各歳における出生率を合計した数字。

1人の女性が一生の間に産む子供の数に相当する (資料 岩手県保健福祉年報)

② 出生数と低出生体重児の割合の推移



③ 年次別地区別出生数の推移



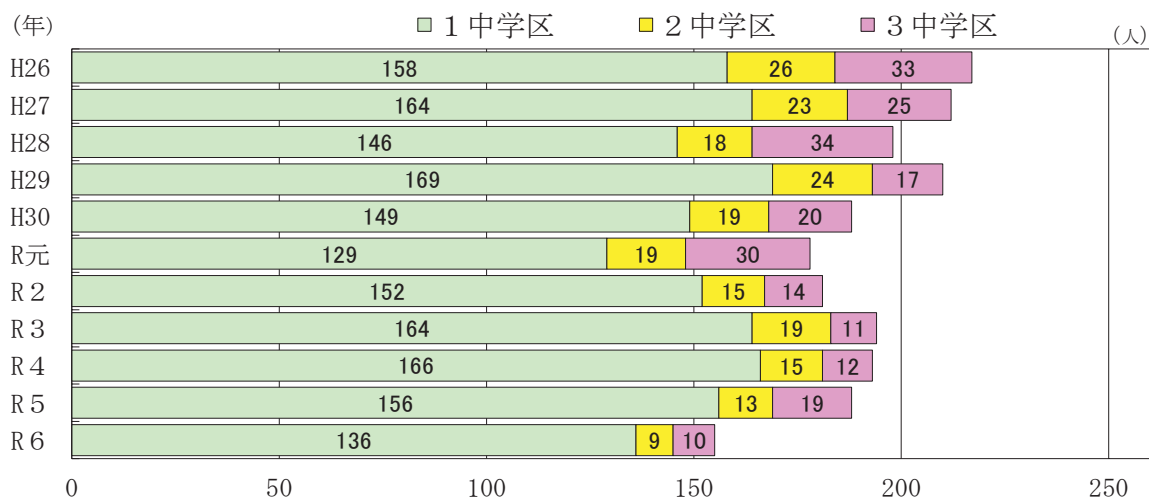
(紫波町出生死亡調査)

④ 年次別地区別出生数

単位：人/()乳児死亡数

年	日詰	古館	水分	志和	赤石	彦部	佐比内	赤沢	長岡	合計
H24	52	58	8	19	49	11	5(1)	9	7	218(1)
H25	51	58	12	19	63	5	4	4(1)	9	225(1)
H26	46	59	9	24	53	10	3	7	6	217
H27	40	67(1)	8	17(1)	57	5	6	3	9	212(2)
H28	33	53	6	28	60	7	5	3	3	198
H29	48	59	7	10	62	7	3	5	9	210
H30	42	54	8	12	53	4	5	6	4	188
R元	39	34	10	20	56	7	2	4	6	178
R 2	36	45	5	9	71	3	3	4	5	181
R 3	36(1)	46	3	8(1)	82(1)	8	4	2	5	194(3)
R 4	30	48	1	11	88	5	2	2	6	193
R 5	44	41	7	12	71	5	2	2	4	188
R 6	29	36	1	9	71	5	2	0	2	155

⑤ 年次別中学校区別出生数



【資料】

1 人口動態

(3) 死亡

① 年次別・地区別死亡数

単位：人

年	日 詰	古 館	水 分	志 和	赤 石	彦 部	佐比内	赤 沢	長 岡	合計
H23	51	58	25	62	85	27	19	22	24	373
H24	60	73	33	64	67	33	26	21	32	409
H25	47	62	29	76	66	27	14	22	28	371
H26	46	66	28	66	89	19	17	19	17	367
H27	55	58	32	51	87	21	19	24	20	367
H28	47	76	31	66	73	25	19	26	22	385
H29	55	86	27	66	58	26	15	22	19	374
H30	58	78	36	61	75	28	13	19	24	392
R元	56	67	38	42	86	30	9	17	26	371
R 2	73	58	26	73	74	37	12	23	26	402
R 3	56	87	31	71	78	24	15	24	22	408
R 4	68	85	27	64	100	31	29	20	26	450
R 5	64	114	36	61	80	28	17	17	33	450
R 6	86	93	41	66	77	32	14	27	33	469

(紫波町住民基本台帳)

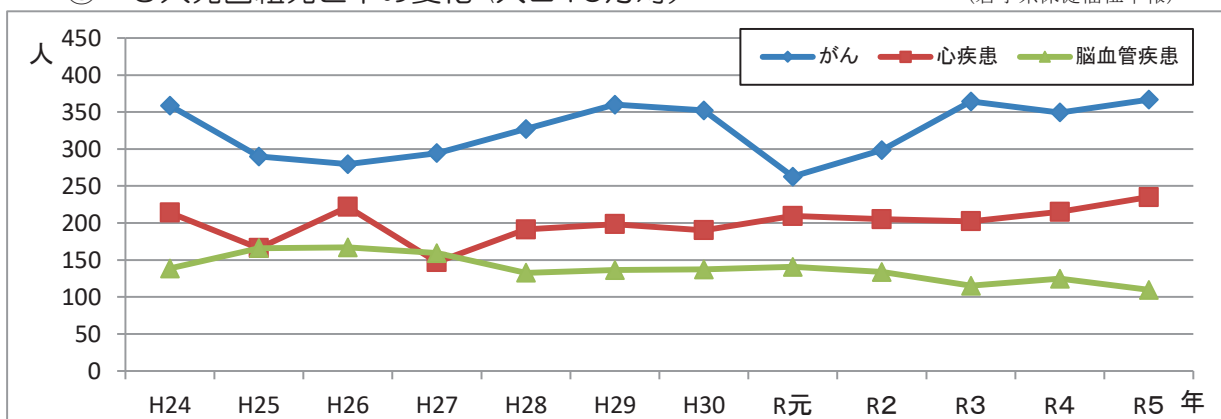
② 年次別・死因別死亡数

単位：人

年	総数	結核	がん（悪性新生物）										糖尿病	高血圧性疾患	心疾患	脳血管疾患					肺炎	慢性閉塞性肺疾患	肝疾患	腎不全	老衰	不慮の事故		自殺	その他全死因
			全体	胃	気管・気管支・肺	肝及び肝内管	胆のう及び胆道	大腸	乳房	子宮	その他	全体				くも膜下出血	脳内出血	脳梗塞	その他	交通事故						その他			
H25	370	0	96	8	20	12	2	11	1	2	40	6	4	55	55	7	14	32	2	32	1	8	8	21	2	4	11	67	
H26	367	0	92	15	11	9	5	17	1	2	32	2	3	73	55	5	21	27	2	27	2	6	7	18	3	10	9	60	
H27	366	0	96	18	12	9	1	13	2	1	39	6	3	48	52	6	15	27	4	27	3	3	10	21	1	8	9	79	
H28	385	0	106	16	23	7	10	11	3	1	35	5	7	62	43	5	14	22	2	27	4	4	4	33	2	13	11	64	
H29	373	1	116	13	12	12	9	15	2	2	51	3	4	64	44	3	18	23	0	12	8	3	3	19	1	11	5	79	
H30	392	0	113	13	17	14	8	18	3	2	38	6	3	61	44	7	11	25	1	26	1	8	7	20	1	14	9	79	
R元	371	0	84	10	7	9	4	14	4	4	32	5	1	67	45	5	10	28	2	16	3	3	10	25	0	13	7	92	
R 2	403	0	96	10	17	5	9	13	2	4	36	12	7	66	43	4	13	24	2	10	4	8	7	35	1	13	8	93	
R 3	408	0	117	10	22	7	4	22	6	3	43	5	9	65	37	3	9	25	0	11	9	2	8	23	1	14	6	101	
R 4	449	0	112	14	15	8	5	5	3	2	60	3	13	69	40	3	9	28	0	19	3	4	10	26	1	15	6	128	
R 5	450	0	117	12	15	11	10	18	3	4	44	7	19	75	35	2	13	15	5	15	6	7	8	40	0	13	6	102	

③ 3大死因粗死亡率の変化（人口10万対）

(岩手県保健福祉年報)



(岩手県保健福祉年報)



令和 7 度版 元気はつらつ白書

紫波町 生活部 健康福祉課
健康係・母子保健係・成人保健係
令和 7 年 9 月